

【資料集 8】

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

森 章司
金子芳夫

目次

- 【1】はじめに
- 【2】本資料集編集の基本方針
- 【3】六事のタイプと歡喜文を含めたタイプ
- 【4】一覧についての凡例
- 【5】DN.の六事と仏在処一覧
- 【6】MN.の六事と仏在処一覧
- 【7】SN.の六事と仏在処一覧
- 【8】AN.の六事と仏在処一覧
- 【9】後書きに代えて――データの統計と上記統計による若干の分析

【1】はじめに

[1] 本資料集を作成しようとした目的と動機は次のとおりである。

[1-1] 本資料集が用いている「六事」という用語は必ずしも仏教術語として定着しているわけではない⁽¹⁾。むしろこの言葉をここに取り上げるような意味で独立させて用いるのは本資料集が初めてであるといってよいであろう。

ここに「六事」というのは、たとえば漢訳『長阿含経』の第1経「大本経」の経頭の「如是我聞。一時仏在舍衛国祇樹花林窟与大比丘衆千二百五十人俱」という文章中の、「如是」「我聞」「一時」「仏」「在舍衛国祇樹花林窟」「与大比丘衆千二百五十人俱」という6つの要素である。

釈元照述『阿弥陀経義疏』⁽²⁾などがこれを「六成就」と呼び、そのそれぞれを「信成就」「聞成就」「時成就」「主成就」「処成就」「衆成就」と称し、『仏教大辞彙』⁽³⁾が「六事成就」という項目を建ててこれを解説しているのに倣ったものである。

上記『阿弥陀経義疏』がこれを「六成就」とよぶのは、この6つの要素が満たされていないならば仏説たる「経」とはいえないという認識に立っているものと思われるが、実は後に紹介するように、パーリの「経蔵」ではこの6つの要素を具備する経はきわめて稀であって、これを成就するのはすべての経の1%に満たない。したがってもしこの6つの要素が具備しなければ「経」と呼べないということになれば、パーリの「経蔵」に含まれるその99%以上は「経」と称することができないということになる。

(1) 『仏教語大辞典』(中村元著 東京書籍 昭和50年2月)、『岩波 仏教辞典』(中村元等編 岩波書店1989年12月)、『新版 仏教学辞典』(多屋頼俊等編著 法蔵館 1995年1月)、『望月仏教大辞典』(世界聖典刊行協会 第1巻は昭和8年12月)などの項目にも建てられていないし、巻末の語句索引にもでてこない。

(2) 大正37 p.357下

(3) 『仏教大辞彙』(龍谷大学編 富山房 第1巻は大正3年5月)第6巻 p.4595

[1-2] 筆者たちは、これほどまでに極端な結果になろうとは想像していなかったが、それなりの予想はしていた。そしてその予想の範囲内でのことであるが、これを調査することは、仏教界が一般的に有していると思われる「経」に対する認識を変えることを要請することにもなるであろうし、原始仏教経典がどのように形成され、そしてどのようにして今日まで伝わったのかという、いまだに充分には解決されていない基本的な問題を解く鍵にもなりうるのではないかと考えた。

そこでこれを徹底的に調査してみようということになった。本「資料集」はこの「六事」の1つ1つの要素が、パーリ「経蔵」に収められているすべての経の中の1つ1つの経に具わっているか(あるか)、いないか(ないか)を調査して一覧表にしたものである。

[1-3] また併せて本資料集では「歓喜文」あるいは「結」と呼んでいる経の末尾の文章が存在するかしないかも調査した。ここに「歓喜文」というのは、上記「大本経」でいえば「仏説此大因縁経已。諸比丘聞仏所説歓喜奉行」とする部分のことである。この対応のパーリは *DN.014 Mhāpadāna-suttanta* であるが、これでは *‘idaṃ avoca Bhagavā. attamaṇā te bhikkhū Bhagavato bhāsitaṃ abhinandun’* (世尊はこのように説かれた。比丘らは満足して世尊の所説を歓喜した) となっている。

大乘の『涅槃経』には十二部経のなかの修多羅の定義であるが、「何等名為修多羅經。從如是我聞乃至歡喜奉行。如是一切名修多羅」(1) とされているように、経であるための必要条件としては、「六事」とともにこの部分も含まれるという認識があるのではないかと考えたからである。

また経を序分・正宗分・流通分の3分に分けるのは伝統的な分け方であり、経に説かれる本文を「正宗分」とすれば、原始仏教経典の場合は六事を記す部分は「序分」に相当し、歓喜文を記す部分は「流通分」に相当するであろう。とするならば序分のみを調査して流通分を調査しなければ首尾が整わないとも考えた。

そこで本資料集では、この部分も併せて調査することになった。

(1) 曇無讖訳 大正12 p.451中、慧嚴等加之 p.693中

[1-4] ところで本資料集の作成動機のそもそもはもっと現実的なところにあった。

われわれ釈尊伝研究会ではいま、平成4年から今日まで25年間続けてきた「原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究」の総まとめ作業を行っている。総まとめ作業というのは具体的にいえば、「釈尊および釈尊教団史年表」と「釈尊年齢にしたがって配列した原始仏教聖典目録」を刊行することである。

後者はパ・漢の「経蔵」と「律蔵」に含まれるすべての聖典の、「経蔵」ならその1つ1つの経が説かれた時（われわれはこれを「説時」とよんでおり、端的に言えば六事の中の「一時」が釈尊の教化活動のいつの時点であるかということ）、「律蔵」ならその1つ1つの律の条文が制定された時（われわれはこれを「制定時」とよんでいる）にしたがって配列した目録を作成しようとするものである。

そしてその説時ないしは制定時を推定する手がかりとなる情報の1つが、そのとき釈尊がどこにおられたかということである。われわれはこれを「仏在処」とよんでいるが、これは上記の「処成就」に相当し、パーリ聖典ではこの部分が記されていないものが多く、それがもし省略されたものであるとすれば、これをどのように復元すべきか、その処理方針を立てるために調査を始めたのがきっかけであった。本資料集の題目を「パーリ『経蔵』の六事と仏在処一覧」とするのはこのような動機があったからである。

【9】「後書きに代えて――データの統計と上記統計による若干の分析」に書いたように、六事のうち「信」「聞」「時」「主」「衆」はいわば形式的・抽象的な要素であって、「如是」も「我聞」も「一時」も「仏」も「与大比丘衆千二百五十人俱」も1つ1つの経にとってそれほど重要な情報ではないといってよいであろう。しかし「処」はまさしく歴史的事実を知るための実質的・具体的な情報であるということもある。

[2] 次に本資料集の基本的編集方針について述べる。

[2-1] 本資料集は「経蔵」のみを対象とし「律蔵」を除外する。いまさらいうまでもないが「六事」のような形式をとるのは経蔵のみであるからである。

「経蔵」の中ではパーリのみを対象とし漢訳は除外する。漢訳の「経蔵」は後に【9】「後書きに代えて――データの統計と上記統計による若干の分析」で紹介するように、そのほとんどすべては「如是我聞」で始まり「歡喜奉行」で終わる、まさしく首尾が整った経の形式を有しており、1つ1つの経を隅々まで調査する必要性がないからである。おそらく漢訳された際に整備されたものと想像されるが、これについては次の機会に検討したい。

また「経」の概念そのものまで問題意識にのぼせ、かつこれらが結集された時にはどのような形態であって、それが文字化された時にはどうであったかという原始仏教経典の形成史を論議するためには、まずパーリを第1資料にしなければならぬことは論をまたない。翻訳されるのはその後のことであるとするならば、ここでは漢訳を対象とする必要はないということになる。このような理由から、ここではパーリの経蔵のみを対象として調査することにする。

[2-2] ここにパーリの「経蔵」というのは、*Dīgha-nikāya* (DN.、長部)、*Majjhima-nikāya* (MN.、中部)、

Samyutta-nikāya (SN.、相応部)、**Aṅguttara-nikāya** (AN.、増支部) の4ニカーヤであって、**Khuddaka-nikāya** (KN.、小部) を含めない。われわれの聖典観ではKN.に収められているさまざまな形態を有する経は、DN.,MN.,SN.,AN.の4ニカーヤに含まれる情報にもとづいて、それぞれの編集目的に応じて形式を改め、再編集したものであって、これらははじめから序分・正宗分・流通分の三分という經典形態や仏説であることにはこだわっていない。したがって六事や仏在処や歡喜文や「主」が誰であるかを調査する対象とはなりえないからである。

[2-3] また本資料集が調査の材料とするパーリの「経蔵」は **Pali Text Society** によって刊行されたテキストである。刊本としてはもっとも権威があり、またもっとも厳密に校訂されていて、世界中でもっともよく使われているものだからである。

とはいえ本来はたと一部でも写本にまで立ち戻って調査すべきであり、また他の刊本も調査の対象とすべきであろうが、われわれは写本を手にする環境にも置かれていないし、他の刊本も併せて調査するとなればたいへん複雑な作業となつてとても手に負えない。そこでここではもっぱらPTS版テキストを利用させていただくこととする。

[2-4] われわれが利用させていただいたPTSテキストは、次のような校訂者によって、次のような年度に校訂出版されたものである。

Dīghanikāya vol.1 T.W.Rhys Davids, J.Estlin Carpenter, 1890年
vol.2 T.W.Rhys Davids, J.Estlin Carpenter, 1903年
vol.3 J.Estlin Carpenter, 1976年

Majjhimanikāya vol.1 V.Trenkner, 1888年
vol.2 Robert Chalmers, 1898年
vol.3 Robert Chalmers, 1899年

Samyuttanikāya Part 1 M. Léon Feer, 1884年
Part 2 M. Léon Feer, 1888年
Part 3 M. Leon Feer, 1890年
Part 4 M. Leon Feer, 1894年
Part 5 M. Leon Feer, 1898年

Aṅguttaranikāya Part 1 Richard Morris, 1885年
Part 2 Richard Morris, 1888年
Part 3 E. Hardy, 1896年
Part 4 E. Hardy, 1899年
Part 5 E. Hardy, 1900年

これはあくまでも印象判断であるが、これらPTSテキストには校訂編集する前に細かなところまで、予めどのような

方針に基づいて編集校訂するかという基本方針が定められていたようには感じられない。編集方針はそれぞれの二カーヤによって、あるいは校訂編集者によってバラバラであって、端的に言えば経の本文の段落ごとに番号を付すものもあれば付さないものもあり、また段落の区切り方もまちまちであるからである。

そこでこれら校訂編集者たちが使った写本にまで遡って、あるいはその一部でも調査したいところであり、刊本のみを調査対象とするのでは隔靴搔痒のもどかしさを感じざるをえないが、現時点ではPTS刊本を対象とするほかなかった。

【2】本資料集編集の基本方針

上記のように本資料集はPTS刊本をもとにした形式的な調査であって、経の内容にまで立ち入るものではない。ただし「主」が仏とされるに拘わらず本文中に仏が登場しない場合や、本文中にでる記述のなかに「処」と矛盾する地名の記述がある場合があるので、これについては調査した。

次にこのような調査と資料集編集についての基礎的方針を記す。

[1] 経の単位について

前述したように、経というものが「如是我聞」で始まって「歓喜奉行」で終わるとすれば、経がどこで始まりどこで終わるかを簡単に判断することができる。要するに経をどこで区切るか、経の単位をどのように考えるかを議論する必要はないわけである。

しかしながらパーリの経は、DN.（長部）やMN.（中部）には問題はないが、SN.（相応部）やAN.（増支部）など短い経が集められた二カーヤの大部分は、「如是我聞」で始まらないし「歓喜奉行」で終わらない。したがって1つの経をどこからどこまでとするかという、経の単位についての奇妙な問題が生じることになる。

例えばAN.の第1集、第2集は集の冒頭だけに「信」「聞」「時」「主」「処」が記されるだけで、どこにも「歓喜奉行」に相当する文章は見あたらず突然ぶつんと終わる。その中間は、「比丘らよ」と呼びかけて文章が羅列されるだけである。したがって第1集、第2集などはその全体を1つの経と見ることもできる。しかし1つ1つの段落を1つ1つの経と見ることも可能であって、事実 *Chaṭṭha-saṅgāyana* 版や *Nālandā* 版などはそのような形式をとっている。

またSN.にしても、PTS版テキスト上では一応経番が細かくつけられているが、数経をひとまとめにした方がよいのではないかと考えられる場合も多い。例えば眼・耳・鼻・舌・身・意、色・声・香・身・触・法の12処の1つ1つについて無常を説くようなものを12経としてあるような場合である。

先述のように本資料集はPTS版テキストによることを大前提とするのであるから、経の単位もPTS版の編集形態を

そのまま採用すればよいのであるが⁽¹⁾、しかしこれを「六事」情報とか「歓喜文」、あるいは仏在処という視点で見ると事情が異なってくる。ほんの数行の短い経に「序文」や「流通分」があるはずはなく、また「正宗分」さえ要点がかいつまんで示されているに過ぎない場合もあり、これらをすべて独立した経として扱くと統計的にはいびつな数字とならざるをえない。

経の形成史的な視点から見れば、その発達段階のいずれかの段階で首尾の整った長い経のなかのその一部が取り出され、主題別あるいは法数別に編集しかえられたという可能性や、あるいは後世に付加増広されたと考えられる可能性もあり⁽²⁾、これらを見かけ上のみから判断するとかえって実態を見誤るおそれがある。

そこで本資料集では、経の区切り方についてはまるごとPTS版テキストにしたがうのではなく、例えばテキストでは第1経から第10経までに細分されているものを1つの経として扱った場合がある⁽³⁾。このような場合は一覧表の上では1~10などと示したので、その処理の結果は一目して判らなっているが、ただ後に統計的処理をする場合は、この全体を1経として扱うのでPTSテキストの経数と本資料集の経数に相違が生じる。

というよりもパーリのSN.とAN.は、そもそも「如是我聞」に始まって「歓喜奉行」に終わるといふ、われわれが先入観的にもっている「経(sutta)」という概念を有していなかったというべきかもしれない。実態としては、「如是我聞」で始まり「歓喜奉行」で終わる1つのまとまりをもつDN.やMN.などのような長い経の中に含まれる「教え」の部分、数個の「データ」として抜き出して編集したのかもしれない、もしそうならばSN.やAN.に含まれる1つ1つの単位は「経」とよぶよりは「データ」とよんだ方がよいのかもしれない。

そのような意味では「経数」というよりは「データ数」と呼んだ方がよいかも知れないが、今いう1つ1つのデータが漢訳阿含経の場合は1経に対応するケースも多く、また統計的に漢訳阿含の対比を行わなければならない場合もあるから、今後も本資料集では1つの区切りとして扱った単位を「経」とよぶことにする。ともかく本資料集上の「経数」はPTS刊本の経数とは一致しない。

(1) 経の単位についてはテキストによって区々であり、PTSの経の区切り方にも疑義が出されている。三枝充憲「相応部の経の数について」(『宗教研究』第41巻1、1967.9)

(2) 例えば次の経はそれぞれ右に記した経の1句のみを改編したもので、明らかに後世に編集されたものと考えられる。

AN.011-001-001 ← AN.010-001-001

AN.011-001-002 ← AN.010-001-002

AN.011-001-003 ← AN.010-001-003

AN.011-001-004 ← AN.010-001-004

AN.011-001-005 ← AN.010-001-005

(3) 例えばSN.の有偈篇「1 天相応」中に21~30、41~50、51~60、61~70、71~80などと表示したのがそれである。上記のそれぞれはテキストでは次のようになっている。

21~30 : Satti-vaggo で、品名の次に Sāvatti nidānaṃ// Ekam antaṃ ṭhitā kho sā devatā Bhagavato santike imaṃ gāṭhaṃ abhāsi//とされ、その後に21から30までの番号がふられて、偈文のみがあげられる。

41~50 : Āditta-vaggo で、品名の次に Evam me sutam ekam samayaṃ Bhagavā Sāvattiyam viharati Jetavane

Anāthapiṇḍikassa ārāme// Atha kho aññatarā devatā abhikkantāya rattiyā abhikkantavaṇṇā kevalakappaṃ Jetavanam obhāsetvā yena Bhagavā ten-upasaṅkami/ upasaṅkamitvā Bhagavantam abhivādetvā ekam antam aṭṭhāsi/ Ekam antam ʾhitā kho sā devatā Bhagavato santike imā gāthāyo abhāsi.//とされ、その後に41から50までの番号がふられて、偈文のみがあげられる。

51～60 : Jarā-vaggo で、51から60までの番号がふられて偈文のみがあげられる。

61～70 : Addha-vaggo で、61から70までの番号がふられて偈文のみがあげられる。

71～80 : Chetvā-vaggo で、品名の次に Ekam antam ʾhitā kho sā devatā Bhagavataṃ gāthāya ajjhabhāsi//とされ、その後に71から80までの番号がふられて、偈文のみがあげられる。

ちなみに Chaṭṭha-saṅgāyana 版では、それぞれが1つの独立した経として扱われ、例えば21には Sattisuttaṃ、22には Phusatisuttaṃ などという経名がつけられている。またここでは21経の偈の始まる前に、Sāvatti nidānaṃ. Ekam antam ʾhitā kho sā devatā Bhagavato santike imaṃ gātham abhāsi.という文章が記され、22経にはこの文章はない。

[2] 六事について

「六事」というのは、漢訳でいえば経の冒頭の「如是我聞。一時仏在舍衛国祇樹花林窟与大比丘衆千二百五十人俱」という文章に盛り込まれている6つの情報のことである。

しかしパーリの「経蔵」の場合、このように分かりやすい文章で経が始まるのはむしろ稀である。したがってその経に「六事」情報が記されているかどうかを判断するのは必ずしもそう簡単ではない。その記述のし方にはさまざまなヴァリエーションがあり、実は六事「情報」は多様な形で示されているということである。

そこでここでは「六事」とは、経の冒頭部分で漢訳の「如是我聞。一時仏在舍衛国祇樹花林窟与大比丘衆千二百五十人俱」という文章に相応する個所の文章に含まれる六事に関する情報のみを「六事」とすることとしたい。「経の冒頭部分」というのは、言い方を変えれば「あるとき仏（仏弟子）はどこそこに住された（住した）」の後に、「さてそのとき」仏（仏弟子）はどうこうしたという、「さてそのとき」というようなことばで本文が始まる前の部分ということである。

したがって経の冒頭部分に記述はなくとも、たとえば経の本文中に仏が登場したり、あるいは「比丘らよ (bhikkhave)」と語りかける文章がある場合は、その経の「主」は**仏**であることは明らかであるし、「衆」が**諸比丘**であることも明らかである。また本文中に仏が所在される地名が記される場合もあるから「処」も推定することはできる。しかし上記のような経の冒頭部分の文章中に「仏（世尊）」や「衆」や「仏在処」が記されないものは「主」も「処」も「衆」も記されていないと判断するということである。

それでもなお判断に苦しむ場合があるので、そういう時にはどのように処理したかを表中の「備考欄」に記す。

[3] 原写本そのものが六事情報記載部分を省略していると考えられる場合の処理について

写本を見ていないので推測の域にとどまるが、おそらくは原写本の段階から六事情報記載部分が省略されていたので

はないかと考えられる場合がある。例えば次のような場合である。

- ① PTSテキスト上で経の最初に「段落番号1」として、‘Sāvatti’とか‘Sāvattihinidānaṃ’とのみ記される場合である。編集校訂者が冒頭部分の文章をこのようにモディファイしたとは考えられない。

なおこの表現の背後には‘evam me sutāṃ. ekaṃ samayaṃ Bhagavā ……」というような文章が存在するとも推測される⁽¹⁾が、勝手な推測は許されないので、このようなケースは「処」のみが記される特異なタイプとして処理する。

例：SN.因縁篇「12 因縁相応」第63経 (vol.II p.097) に：‘1 Sāvatti // 2 Cattāro me bhikkhave ……」とか、SN.六処篇「35 六処相応」第63経 (vol.IV p.035) に‘1 Sāvattihinidānaṃ // 2 Atha kho āyasmā Migajālo yena Bhagavā // la // ’とある場合、‘Sāvatti’ ‘Sāvattihinidānaṃ’として処理する。

(1) 現に片山一良氏は‘Sāvattihinidānaṃ’を、「このように私は聞いた— (改行して) あるとき、世尊は、サーヴァッティに近いジェータ林のアナータピンディカ僧院に住んでおられた」と訳されている。『パーリ仏典 第3期1 相応部・有偈篇』(2011年6月 大蔵出版) p.081の本文および注

- ②品に含まれる経が始まる前に、品名に続けて例えば‘Sāvatti’とされるような場合である。これはこの品に含まれるすべての経に適用されるべきことを意味していると考えて、経のすべてに「処」情報が記されているものとして処理する。

例：SN.の六処篇「35 六処相応」第43経～第52経 (vol.IV p.028) の品冒頭に、Sāvatti/ tatra kho//とあって、つぎに行替えして

43(1) Aniccaṃ

Sabbāṃ bhikkhave aniccaṃ //

44(2) Dukkhaṃ

Sabbāṃ bhikkhave dukkhaṃ //

45(3) Anattā

Sabbāṃ bhikkhave anattā //

46(4) Abhiññeyyaṃ

Sabbāṃ bhikkhave abhiññeyyaṃ //

と、以下同様に第52経まで続くような場合、品冒頭の処‘Sāvatti’が第43経～第52経のすべてに適用されると考えて、「処」を‘Sāvatti’と処理する。

- ③品の最初の経に経文のすべてが示され、次の経以下は最初の経とディテールの異なる箇所から始まる「略説 (peyyāla)」(SN.因縁篇「19 ラッカナ相応」第1経～第10経)とか、同じく品の最初の経に経文のすべてが示され、それ以降は経番のみがあって「同様に広説すべし (vitthāretabba)」(SN.鞞度篇「24 見相応」第45経以下)とか、品の最初と最後の経には経文があるもののその間の経には経文がなく経番のみが付されて「～(と同様

に) 広説」(SN. 韃度篇「24 見相応」第19 経以下) などと記されているような場合、最初の経文にある六事情報記載部分に倣って処理する。

例: SN.の韃度篇「24 見相応」(vol.III p.218) の品最初の第19 経「風」に、

19(1) Vātā

1-2 Sāvatti/ tatra — voca//

3 kismiṃ nu kho bhikkhave ……

6-9

16 iti kho bhikkhave ……

とあって、段落番号16の経文の後、改行して

20-35(2-17)

初重説に於ける十八記別の広説 (purima-gamanāhi aṭṭhārasa-veyyākaraṇāni vitthārāni ti)

とあり、第20 経(「我所」)から第35 経(「如来有無」)に亙る16 経全体が省略されている。そして品最後の第36 経に、

36(18) Neva hoti na na hoti

1-3 Sāvatti/ kismiṃ nu kho bhikkhave ……

6-9 vedanāya sati/ saññāya sati/ saṅkhāresu sati/ …… // pe//

とある場合、品最初の第19 経「風」の経文にならうとの文意にとり、第19 経の処‘Sāvatti’に準じて第20 経~第35 経の「処」を‘Sāvatti’と処理する。

[4] パーリテキストの校訂編集者が六事情報記載部分を省略したと判断される場合の処理について

PTS テキストでは、校訂編集者がテキストを校訂するに際してこの六事情報が記されている部分を省略したと考えられるケースが頻繁に出てくる。例えば次のようなケースである。

- ① PTS テキストには経の冒頭部分から段落ごとに1、2、3、……という番号(以下にはこれを「段落番号」と呼ぶ)が付されているテキストがある。おそらくこの段落番号は校訂者が付したものと推測されるが、この段落番号が2ないしは3などから始まる場合、これは段落1あるいは段落2が省略されたと考えるほかないであろう。このような場合は直近前経の1ないし2などの部分が省略されていると判断して復元処理し、表においては○の代りに△をもって示す。

例: SN. 六処篇「35 六処相応」第1 経 (vol.IV p.001) に ‘1 evaṃ me sutam/ ekaṃ samayaṃ Bhagavā Sāvattiyam viharati Jnetavane Anātha- piṇḍikassa ārāme // 2 tatra kho Bhagavā …… // 3 Bhagavā etad avoca // cakkhuṃ bhikkave aniccaṃ/ …… ’ とあり、次の第2 経 (vol.IV p.002) には段落番号1、2が

なく、‘3 cakkhum bhikkave dukkham/ …… ’とある場合、後者の経は前者の経の段落番号1と2が省略されていると判断して復元処理し、表においては六事情報の「信」「聞」「時」「主」を‘△’、「処」を‘△祇園精舎」と記す。

- ②段落の整理のし方は校訂編集者によって区々であり、状況からして明らかに冒頭部分が省略されていると考えられるに拘わらず、段落番号1から始まる場合もある。例えば、段落番号1が「そこで」とか「さてそのとき」などを意味する‘atha kho’とか‘tena kho pana samayena’で始まる場合や、唐突に「そこに」「そこで」「そのとき」を意味する‘tatra kho’とか、「一方に立って」を意味する‘ekaṃ antaṃ ʔhitā’などという語句で始まる場合である。これはこれに先立つ前経の前の部分が省略されていると考えざるをえない。このような場合はその前の部分が省略されていると判断し、復元処理の△とする。

例：SN.有偈篇「3 コーサラ相応」第10経 (vol. I p.076) に ‘1. tena kho pana samayena raññā Pasenadinā kosalena mahājanakāyo bandhāpito hoti/ …… ’とあるが、これに先立つ前経の第9経 (vol. I p.075) に ‘1. Sāvatthi// 2. tena kho pana samayena rañño Pasenadi-kosalassa mahāyañño paccupaṭ- ʔhito hoti/ …… ’とあるので、‘△Sāvatthi’ と復元処理する。あるいはまた有偈篇「3 コーサラ相応」第20経 (vol. I p.091) に ‘1. atha kho rājā Pasenadi-kosalo divādivassa yena Bhagavā ten-upasāṅkami/ …… ’とあるが、前経の第19経 (vol. I p.089) には ‘1. Sāvatthi nidānam// 2. atha kho rājā Pasenadi-kosalo divādivassa yena Bhagavā ten-upasāṅkami/ …… ’とあるので、‘△Sāvatthi’ と復元処理する。

- ③その他形式上校訂者が省略したと明白に判断される場合は復元処理して、表においては△で示した。

例：SN.韃度篇「34 禪定相応」第21～第27 (SN.034-021～027 vol.III p.273) のように

21-27 (ʔhiti-ārammaṇa—)

[21] ……諸比丘よ、修定者に4あり ([21] cattāro me bhikkhave jhāyī//)。何を4とするか (katame cattāro// ……)。諸比丘よ、ここに一類の修定者は三昧において止住善にして三昧において安樂善にあらず、広説 (idha bhikkhave ekacco jhāyī samādhismiṃ ʔhitikusalo hoti na samādhismiṃ kallinakusalo// vitthā retabbam//)

[22] 三昧において止住善にして三昧において所縁善にあらず ([22] samādhismiṃ ʔhitikusalo hoti na samādhismim ārammaṇakusalo//)

以下、[23]「行境善」、[24]「引発善」、[25]「恭敬作」、[26]「常作」と続いて

[27] 三昧において止住善にして三昧において隨応作にあらず… ([27] 1-4 samādhismiṃ ʔhitikusalo hoti na samādhismiṃ sappāyakārī// ……)

とある場合、前経の第20 (vol.III p.272) : 1-3 Sāvatthi// cattāro me bhikkhave jhāyī// katame cattāro// ……の省略と判断し、‘△Sāvatthi’ と処理する。

[5] 歓喜文について

典型的な歓喜文は、*DN.014 Mhāpadāna-suttanta* の ‘*idaṃ avoca Bhagavā. attamanā te bhikkhū Bhagavato bhāsitaṃ abhinandum*’ (世尊はこのように説かれた。比丘らは満足して世尊の所説を歓喜した) というような文章であるが、実は経の結末部分の文章もすこぶるヴァリエーションが多い。

試みに DN. に含まれる全部で 34 経のすべてのこの部分を調べてみると、上記のような文章 (単数の場合も、比丘らの部分が他の語句に置き換えられる場合も、主が仏弟子である場合も、その他の語句がつけ加えられるものも含む) で表現されるのは、

- 001 *Brahmajāla-sutta*
- 002 *Sāmaññaphala-sutta*
- 006 *Mahāli-sutta*
- 007 *Jāliya-sutta*
- 011 *Kevaddha-sutta*
- 014 *Mahāpadāna-suttanta*
- 015 *Mahānidāna-suttanta*
- 019 *Mahāgovinda-suttanta*
- 022 *Mahāsatipaṭṭhāna-suttanta*
- 024 *Pāṭika-suttanta*
- 026 *Cakkavatti sihanāda-suttanta*
- 027 *Aggañña-suttanta*
- 029 *Pāsādika-suttanta*
- 032 *Āṭānāṭiya-suttanta*
- 033 *Saṅgīti-suttanta*
- 034 *Dasuttara-suttanta*

の 16 経のみである。

他の 18 経は次のようになっている。

- 003 *Ambaṭṭha-sutta* : ‘*kalyānaṃ vuccati brāhmaṇa*’ (婆羅門よ、よく説いた)
- 004 *Soṇadaṇḍa-sutta*、005 *Kūṭadanta-sutta* : ‘*atha kho Bhagavā ○○ dhammiyā kathāya sandassetvā samādapetvā samuttejetvā sampahaṃsetvā uṭṭhāyāsanā pakkāmi*’ (そのとき世尊は○○に法説をもって教え、訓戒し、激励し、喜ばしめて座を起って去られた)

008 *Kassapa sihanāda-sutta*, 009 *Poṭṭhapāda-sutta* : ○○は世尊のもとで出家し、具足戒を受けた。

010 *Subha-sutta*, 012 *Lohicca-sutta*, 013 *Tevijja-sutta*, 031 *Siṅgālovāda-suttanta* : ○○は世尊ゴータマに帰依し、法に帰依し、比丘サンガに帰依し、生涯優婆塞となることを許してほしいといった。

016 *Mahāparinibbāna-suttanta* : 舍利八分記事

017 *Mahāsudassana-suttanta*, 020 *Mahāsamaya-suttanta*, 023 *Pāyāsi-suttanta*, 030 *Lakkhaṇa-suttanta* : 偈で終わるなど結末部分がない

例 : DN.017 経では経末に

世尊はこのように説かれた。善逝はこのように説かれた。そしてまたつぎのように師は説かれた。

諸行は無常なり、生滅の法なり。

生じてはまた滅す、その寂滅は樂なり。

という世尊の無常偈で終ったり、あるいは DN.023 経では、尊者ガヴァンパティ (*Gavampati*) が人間世界に戻って来て「あなた方は尊敬して布施を行いなさい。手ずから布施を行いなさい……」と告げたと、仏弟子ガヴァンパティのことばで経を終えている。

018 *Janavasabha-suttanta* : その故に梵行は起り榮え、敷延され、多くのものに付属され、広まり、人間によく説かれた。

021 *Sakkapañha-suttanta* : 028 *Sampasādaniya-suttanta* : その故にこの教えは「○○経」と名づけれる。

025 *Udumbarika sihanāda-suttanta* : このように仏は△△において師子吼をなされ、虚空に乗じて□□に帰られた。

○○も直ちに◇◇に帰った。

このようにこれら 18 経の結末部分の文章は多様であるが、これらは経の内容を記す本文の最後尾と見て、このようなものは歡喜文と見做さない。換言すればこれらは正宗分の 1 部と理解するということである (1)。

なお例えば *MN.024 Rathavinīta-s.* (2) は、世尊が登場するに拘わらず本文のほとんどは舍利弗とブンナの対話であり、したがってその結部も「このように彼ら兩大龍は互いに善説を讚嘆しあった」となっている。このようなものも「歡喜文」と見做す。

要するにここに「歡喜文」というのは、経の結部（末尾部）において当該経の締めくくりのような形で、「この経に説かれたことを喜んだ、讚嘆した」などという言葉がおかれているものをいう。逆に世尊が法を説かれた相手が悪魔波旬であるような場合には、逆に「この経の説かれたことに怒って去った」というような表現となる。これも 1 経の締めくくり方ではあるが、これはもちろん歡喜文とはみなさない。

(1) 例えば MN.010、012、013 などに対応する漢訳阿含経では、「梵志はこの教えを聞き、三宝に帰依して優婆塞となり、算数目鍵連と比丘らは世尊の所説を歡喜奉行した」などとされている。漢訳によれば「歡喜文あり」と判断すべきであろうが、パーリでは「なし」と判断するということである。

(2) 伝車経 vol.I p.145、南伝 9 p.266、片山・中部 1 p.383

【3】 六事のタイプと歓喜文を含めたタイプ

本資料集でいうタイプには2種がある。第1は「六事」のみのタイプであり、第2は「六事」と「歓喜文」を併せたタイプである。

[1] 「六事」のみのタイプというのは、六事情報記載の有・無について基づいてタイプ分けしたものである。AタイプからKタイプまでの11タイプとなったが、これを表にまとめると次のようになる。

○は記載の「有」を示したものであるが、表における○のみでなく△も含んでいる。－は記載の「無」である。

また「主」の欄には主が「仏」であるものと「仏弟子」であるものの両方が含まれている。

タイプ	信	聞	時	主	処	衆
A	○	○	○	○	○	○
B	○	○	○	○	○	-
C	○	○	○	-	○	-
D	○	○	-	-	○	-
E	○	○	-	-	-	-
F	-	-	○	○	○	○
G	-	-	○	○	○	-
H	-	-	○	-	○	-
I	-	-	-	○	○	-
J	-	-	-	-	○	-
K	-	-	-	-	-	-

[2] 六事と歓喜文を併せたタイプは、「主」が仏であるか仏弟子であるか、六事タイプはどれであるか、六事情報が○で

示されているか△で示されているか、歓喜文があるかどうかを表したものである。

例えば次のように示されている。

仏A○有

弟B△無

—C×無

仏K×無

このうち最初（上1桁目）の「仏」あるいは「弟」は、「主」の欄が仏であるか仏弟子であるかを示したものであり、—はその記載がないものである。

第2番目（上2桁目）の「A」「B」……「K」は上記の六事情報の有無によって分類したタイプである。

第3番目（上3桁目）の「○」「△」「×」は、当該情報が明記されている場合は○、復元処理した場合は△、不記載の場合は×とした。

最後（下1桁目）の「有」「無」は、歓喜文がある場合は「有」、ない場合は「無」とした。

【4】一覧表についての凡例

以下に「一覧表」に掲げた項目（欄）について説明する。

[1] 「経名」欄

(1) 経番のみを記し、経名は省略した。これでは‘Sāmaññaphala-s.’（沙門果経）がどれで、‘Mahāparinibbāna-s.’（大般涅槃経）がどれかわかりにくいであろうが、紙幅に制限があったからである。ご理解いただきたい。

(2) DN.とMN.には篇名を示した。

SN.には篇名と相応名を示した。相応番号は通し番号を採用した。品名は示さなかったが品の最初の経は**太字**としたのでどこから品が始まるかはわかる。

AN.には1集から11集までとそのなかの品名を示した。

(3) PTS 版テキストにおいてはMN.のいくつかの経はそのままSuttanipātaに再録されていることから全文が省略されているが、本資料集はそれを元の形に戻してMN.に含まれる経として処理した。

(4) 先述のようにSN.やAN.は数経を1つの経として扱い、これを1行に記した場合がある。その場合は1~10などと記入した。

[2] 「vol.」欄

(1) PTS 版テキストの巻数をローマ数字で記入した。

- [3] 「p.」欄
 (1)PTS 版テキストの当該経の冒頭のページ数のみをアラビア数字で記した。1つの経が p.101 から p.110 まで続くような場合、pp.101~110 という形ではなくただ p.101 と示したということである。
- [4] 「タイプ」欄
 (1)2種のタイプのうち、六事と歓喜文を併せた第2のタイプを記した。タイプについては上記【3】の[2]を参照されたい。
- [5] 「信」「聞」欄
 (1)経が‘*evaṃ me sutaṃ*’で始まるときには、「信」「聞」それぞれに○を記入した。省略されているものを復元した場合には△を記した。記載されていない場合は空欄とした。以下「時」「主」「処」「衆」欄も同様である。
 (2)省略されていると判断した基準と復元した基準については上記【2】の[4]を参照されたい。
- [6] 「時」欄
 (1)経の六事情報記載場所に‘*ekaṃ samayaṃ* (一時)’という言葉のある場合に記入した。
 (2)‘*ekaṃ samayaṃ*’に代えて、例えば‘*acira-parinibbute* (入滅後久しからざる時に)’などとこの「時」がいつのことであるかを限定する記述がある場合には◎を記入し、備考欄にその文章を記した。
- [7] 「主」欄
 (1)「仏」と「仏弟子」の2つの欄に分けた。仏が「主」の場合は「仏」の欄に○ないしは△を記入し、仏弟子が「主」の場合にはその人名をパーリ語で記入した。なお仏弟子名を復元した場合には人名の前に△を付した。
 (2)経の六事情報記載場所に主が「仏」であるとされているに拘わらず経の本文中に仏が登場しない場合は○に代えて●を記した。なお仏弟子が「主」である場合は本文中に仏が登場するケースはない。
 (3)SN.の六処篇「41 質多相応」(vol.IV p.281 以下)の第8~10経は段落番号2から始まっている。したがって前述の復元基準からすれば、前経の段落番号1が省略されているものと解して、「時」を△とし、「主」を仏弟子の△*Godatta*とすべきであるが、この場合は経中の登場人物と齟齬するので、「時」と「主」欄を空欄とし、ただ「処」だけに△*Macchikāsaṇḍa*と記した。
 (4)なおタイプの冒頭に「仏」あるいは「弟」としたのは、主が「仏」であるか「仏弟子」であるかを示したものであって、これによっても「主」がどちらであるかわかる。
- [8] 「処」欄
 (1)経の六事情報記載場所に仏あるいは仏弟子の住処が記載されている場合にその地名を記入した。記入に際しては次のような方針をとった。
 ①復元した場合には地名の前に△を付した。
 ②地名は原則として都市名であるが、国名しか記されていない場合は国名を記した。

③ ‘Sāvatti’ や ‘Rājagaha’ には複数の園林・精舎があるので、園林・精舎名が記されている場合は都市名ではなく精舎・園林名を記入した。この際、精舎・園林名が ‘Jetavana Anātapinḍikassa ārāma’ のように長い場合は「祇園精舎」というように漢訳名を記入した。竹林精舎、重閣講堂、鹿母講堂なども同じである。ただし「Rājagaha の Maddakucchi の migadāya」などあまり知られていない園林名である場合は、都市名の ‘Rājagaha’ とした (SN.有偈篇「1 天相応」第38経 vol.I p.027)

④ 国名、精舎・園林名の表記はパーリ語の語基を用いた。

⑤ その他 SN.には次のような場合があり、以下のように処理した。

‘Sāvattiyam Jetavane’ とする場合は「祇園精舎」をさすのであろうが、テキストそのままの ‘Sāvatti Jetavana’ とした。

‘Sāvattiyam // la // ārāme //’ ‘Sāvattiyam viharati // la //’ などのように ‘la’ あるいは ‘pe’ などの省略符がついているものは、当該部分が省略されているものとして「祇園精舎」とした (有偈篇「11 帝釈相応」第24経 vol. I p.239 など)。ただし ‘Sāvattiyam ārāme’ や ‘Sāvattiyam viharati’ など省略符がついていない場合はそのままを記した (有偈篇「3 コーサラ相応」第2経 vol. I p.070 など)。

⑥ 地名と地名の道中である場合には「地名～地名」と記した。例えば DN.001 経では ‘antarā Rājagaham antarā ca Nālandam addhāna-magga-paṭipanno’ とあるので、‘Rājagaha～Nālanda’ と記した。

(3) 「処」には、① 滞在型 (Sāvatti nidānam のようなものを含む)、② 路上型、③ 遊行型、④ 遊行+滞在型の4種類に分けられ、‘viharati’ ‘hoti’ という言葉が指標になりそうに思われるが、ここではこの区別を注意しなかった。

(4) 上記「主」欄の(3)に記したように、Saṃyutta-nikāya の六処篇「41 質多相応」は在家信者が説主であるため「主」欄は空欄とした。これに倣うならば「処」も空欄とすべきところであり、多少の矛盾を感じざるをえないが、このような経もあり得ることを示すのも1つの問題提起だと考えて「処」欄にその住処である ‘Macchikāsaṇḍa’ を記した。

[9] 「衆」欄

(1) 経の六事情報記載場所に「主」の対告衆が記されている場合に○あるいは△を記した。

(2) 衆には「500人の大比丘サンガ」「1250人の大比丘サンガ」「大比丘サンガ」などがあるので、これを備考欄に註記した。

[10] 「テキスト冒頭」欄

(1) 段落番号とともにパーリテキストの経冒頭の文章の一部を記した。これをご覧いただければ○処理をした根拠、△処理をした根拠などを明確にご理解いただけると思う。

(2) 【品冒頭】として示したのは、品の最初の経が始まる前に品全体にかかる形で文章が記されている場合、その文

章の冒頭部分である。

(3) 「偈文」としたのは経の本文が偈だけのものである。

[11] 「結」欄

(1) 「歓喜文」と呼んできた文章の有・無を記入した。「歓喜文」についての具体的なことは【2】の[5]を参照されたい。これには△はない。

(2) 「歓喜文」は原則として「主」が仏である場合は仏の所説を歓喜信受したという意となり、「仏弟子」が主である場合は当該の仏弟子の所説を歓喜信受したという意となる。しかしごく稀には「主」が仏であるに拘わらず、歓喜文が仏弟子の誰その所の説を歓喜信受したという文章の場合がある。これは主に仏が仏弟子に説法を委ねたような場合である。このような場合は備考欄にその旨を記しておいた。

[12] 「備考」欄

(1) 本表は上記のような原則によって記入されているが、このような大まかな原則では適用できないさまざまなケースがある。そのような場合はケース・バイ・ケースで判断し、どのように判断したかを註記した。

(2) 各欄において註記番号を付したものの註記内容を記入した。

この際どの欄の註記かわかるように以下のような符号を用いた。

〔経〕：「経名」欄の註記

〔時〕：六事の「時」欄の註記

〔主〕：六事の「主」欄の註記

〔処〕：六事の「処」欄の註記

〔衆〕：六事の「衆」欄の註記

〔テ〕：「テキスト冒頭」欄の註記

〔結〕：「結」欄の註記

例えば、備考欄に「(1)〔衆〕500人の比丘サンガ」とあれば、註の(1)は「衆」の欄にあり、六事情報の衆が‘500人の比丘サンガ’であることを示す。

(3) その他テキストの誤植などさまざまな事項を註記した。

【5】DN.の六事と仏在処一覧

経名	vol.	p.	タイプ	六 事						処	衆	テキスト冒頭	結	備 考
				信	聞	時	主		衆					
							仏	仏弟子						
戒蘊篇														
1	I	1	仏A○有	○	○	○	○		Rājagaha~Nālandā	○(1)	evam me sutaṃ	○	(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
2	I	47	仏A○有	○	○	○	○		Rājagaha	○(1)	evam me sutaṃ	○	(1) [衆] 1250人の比丘サンガ	
3	I	87	仏A○無	○	○	○	○		Icchānaṅkala	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
4	I	111	仏A○無	○	○	○	○		Campā	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
5	I	127	仏A○無	○	○	○	○		Khāṇumata	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
6	I	150	仏B○有	○	○	○	○		重閣講堂		evam me sutaṃ	○		
7	I	159	仏B○有	○	○	○	○		Kosambī		evam me sutaṃ	○		
8	I	161	仏B○無	○	○	○	○		Ujuññā		evam me sutaṃ			
9	I	178	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ			
10	I	204	弟B○無	○	○	◎(1)		Ānanda	祇園精舎		evam me sutaṃ		(1) [時] (仏の) 般涅槃されて間もなく (acira-parinibbute)	
11	I	211	仏B○有	○	○	○	○		Nālandā		evam me sutaṃ	○		
12	I	224	仏A○無	○	○	○	○		Sālavatikā	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
13	I	235	仏A○無	○	○	○	○		Manasākaṭṭha	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
大篇														
14	II	1	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
15	II	55	仏B○有	○	○	○	○		Kammāssadhamma		evam me sutaṃ	○		
16	II	72	仏B○無	○	○	○	○		靈鷲山		evam me sutaṃ			
17	II	169	仏B○無	○	○	◎(1)	○		Kusinārā		evam me sutaṃ		(1) [時] (仏の) 般涅槃時に (parinibbānasamaye)	
18	II	200	仏B○無	○	○	○	○		Nādika		evam me sutaṃ			
19	II	220	仏B○有	○	○	○	○		靈鷲山		evam me sutaṃ	○		
20	II	253	仏A○無	○	○	○	○		Kapilavatthu	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 500人の比丘サンガ	
21	II	263	仏B○無	○	○	○	○		Ambasaṅḍā		evam me sutaṃ			
22	II	290	仏B○有	○	○	○	○		Kammāssadhamma		evam me sutaṃ	○		
23	II	316	弟A○無	○	○	○		Kumārakassapa	Setavyā ⁽¹⁾	○(2)	evam me sutaṃ		(1) [処] PTSテキストには、Setabyā. (2) [衆] 500人の比丘サンガ	

パーティカ篇													
24	Ⅲ	1	仏B○有	○	○	○	○		Anupiya		evam me sutam	○	
25	Ⅲ	36	仏B○無	○	○	○	○		靈鷲山		evam me sutam		
26	Ⅲ	58	仏B○有	○	○	○	○		Mātulā		evam me sutam	○	
27	Ⅲ	80	仏B○有	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutam	○	
28	Ⅲ	99	仏B○無	○	○	○	○		Nālandā		evam me sutam		
29	Ⅲ	117	仏B○有	○	○	○	○		Vedhaññā		evam me sutam	○	
30	Ⅲ	142	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
31	Ⅲ	180	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam		
32	Ⅲ	194	仏B○有	○	○	○	○		靈鷲山		evam me sutam	○	
33	Ⅲ	207	仏A○有	○	○	○	○		Pāvā	○(1)	evam me sutam	○(2)	(1) [衆] 500人の比丘サンガ。(2) [結] 舍利弗の所説に歡喜。
34	Ⅲ	272	仏A○有	○	○	○	●(1)		Campā	○(2)	evam me sutam	○(3)	(1) [主] 本文に世尊は登場せず。(2) [衆] 500人の比丘サンガ。(3) [結] 舍利弗の所説に歡喜。

【6】 MN.の六事と仏在処一覧

経名	vol.	p.	タイプ	六 事						処	衆	テキスト冒頭	結	備 考
				信	聞	時	主							
							仏	仏弟子						
根本50経篇														
1	I	1	仏B○有	○	○	○	○		Ukkaṭṭhā		evam me sutaṃ	○		
2	I	6	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
3	I	12	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○(1)	(1) 〔結〕 舍利弗の所説に欢喜。	
4	I	16	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ			
5	I	24	仏B○有	○	○	○	●(1)		祇園精舎		evam me sutaṃ	○(2)	(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。(2) 〔結〕 兩大龍(舍利弗・目連)が相互に善説を讃歎。	
6	I	33	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
7	I	36	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ			
8	I	40	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
9	I	46	仏B○有	○	○	○	●(1)		祇園精舎		evam me sutaṃ	○(2)	(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。(2) 〔結〕 舍利弗の所説に欢喜。	
10	I	55	仏B○有	○	○	○	○		Kammāssadhamma		evam me sutaṃ	○		
11	I	63	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
12	I	68	仏B○有	○	○	○	○		Vesāli		evam me sutaṃ	○		
13	I	83	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
14	I	91	仏B○有	○	○	○	○		Kapilavatthu		evam me sutaṃ	○		
15	I	95	弟B○有	○	○	○		Mahāmoggallāna	Suṃsumāragira		evam me sutaṃ	○(1)	(1) 〔結〕 目連の所説に欢喜。	
16	I	101	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
17	I	104	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
18	I	108	仏B○有	○	○	○	○		Kapilavatthu		evam me sutaṃ	○		
19	I	114	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
20	I	118	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
21	I	122	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
22	I	130	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
23	I	142	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		
24	I	145	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutaṃ	○(1)	(1) 〔結〕 兩大龍(舍利弗・ブンナマンターニブッタ)が相互に善説を讃歎。	
25	I	151	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○		

26	I	160	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
27	I	175	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
28	I	184	仏B○有	○	○	○	●(1)		祇園精舎		evam me sutam	○(2)	(1)〔主〕本文に世尊は登場せず。(2)〔結〕舍利弗の所説に欢喜。
29	I	192	仏B○有	○	○	◎(1)	○		靈鷲山		evam me sutam	○	(1)〔時〕提婆達多が去って間もなくして(acirapakkante Devadatte)
30	I	198	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
31	I	205	仏B○有	○	○	○	○		Nādika		evam me sutam	○	
32	I	212	仏A○有	○	○	○	○		Gosiṅgasālvanaḍāya	○(1)	evam me sutam	○	(1)〔衆〕舍利弗・目連などの長老比丘等
33	I	220	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
34	I	225	仏B○無	○	○	○	○		Ukkacelā		evam me sutam		
35	I	227	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂		evam me sutam		
36	I	237	仏B○有	○	○	○	○		重閣講堂		evam me sutam	○	
37	I	251	仏B○有	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutam	○	
38	I	256	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
39	I	271	仏B○有	○	○	○	○		Assapura		evam me sutam	○	
40	I	281	仏B○有	○	○	○	○		Assapura		evam me sutam	○	
41	I	285	仏A○無	○	○	○	○		Sālā	○(1)	evam me sutam		(1)〔衆〕大比丘サンガ
42	I	290	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
43	I	292	仏B○有	○	○	○	●(1)		祇園精舎		evam me sutam	○(2)	(1)〔主〕本文に世尊は登場せず。(2)〔結〕舍利弗の所説に欢喜。
44	I	299	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
45	I	305	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
46	I	309	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
47	I	317	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
48	I	320	仏B○有	○	○	○	○		Kosambī		evam me sutam	○	
49	I	326	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
50	I	332	弟B○無	○	○	○		Mahāmoggallāna	Suṃsumāragira		evam me sutam		
中分50経篇													
51	I	339	仏A○有	○	○	○	○		Campā	○(1)	evam me sutam	○	(1)〔衆〕大比丘サンガ
52	I	349	弟B○無	○	○	○		Ānanda	Beluvagāma		evam me sutam		
53	I	353	仏B○有	○	○	○	○		Kapilavatthu		evam me sutam	○(1)	(1)〔結〕阿難の所説に欢喜。
54	I	359	仏B○無	○	○	○	○		Āpaṇa		evam me sutam		
55	I	368	仏B○無	○	○	○	○		Rājagaha		evam me sutam		

56	I	371	仏B○無	○	○	○	○	Nālandā		evam me sutam		
57	I	387	仏B○無	○	○	○	○	Haliddavasana		evam me sutam		
58	I	392	仏B○無	○	○	○	○	竹林精舎		evam me sutam		
59	I	396	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
60	I	400	仏A○無	○	○	○	○	Sālā	○(1)	evam me sutam		(1)〔衆〕大比丘サンガ
61	I	414	仏B○有	○	○	○	○	竹林精舎		evam me sutam	○	
62	I	420	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
63	I	426	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
64	I	432	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
65	I	437	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
66	I	447	仏B○有	○	○	○	○	Āpaṇa		evam me sutam	○	
67	I	456	仏B○有	○	○	○	○	Cātumā		evam me sutam	○	
68	I	462	仏B○有	○	○	○	○	Naḷakapāna		evam me sutam	○	
69	I	469	仏B○無	○	○	○	●(1)	竹林精舎		evam me sutam		(1)〔主〕本文に世尊は登場せず。
70	I	473	仏A○有	○	○	○	○	Kāsi	○(1)	evam me sutam	○	(1)〔衆〕大比丘サンガ
71	I	481	仏B○有	○	○	○	○	重閣講堂		evam me sutam	○	
72	I	483	仏B○無	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam		
73	I	489	仏B○有	○	○	○	○	竹林精舎		evam me sutam	○	
74	I	497	仏B○無	○	○	○	○	靈鷲山		evam me sutam		
75	I	501	仏B○無	○	○	○	○	Kammāssadhamma		evam me sutam		
76	I	513	仏B○無	○	○	○	○	Kosambī		evam me sutam		
77	II	1	仏B○有	○	○	○	○	竹林精舎		evam me sutam	○	
78	II	22	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
79	II	29	仏B○無	○	○	○	○	竹林精舎		evam me sutam		
80	II	40	仏B○無	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam		
81	II	45	仏A○有	○	○	○	○	Kosala	○(1)	evam me sutam	○	(1)〔衆〕大比丘サンガ
82	II	54	仏A○無	○	○	○	○	Thullakoṭṭhita	○(1)	evam me sutam		(1)〔衆〕大比丘サンガ
83	II	74	仏B○有	○	○	○	○	Mithilā		evam me sutam	○	
84	II	83	弟B○無	○	○	○		Mahākaccāyana		Madhurā		
85	II	91	仏B○無	○	○	○	○	Suṃsumāragira		evam me sutam		
86	II	97	仏B○無	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam		
87	II	106	仏B○無	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam		
88	II	112	仏B○有	○	○	○	○	祇園精舎		evam me sutam	○	
89	II	118	仏B○有	○	○	○	○	Medajumpa		evam me sutam	○	

90	II	125	仏B○有	○	○	○	○		Ujūñā		evam me sutaṃ	○	
91	II	133	仏A○有	○	○	○	○		Videha	○(1)	evam me sutaṃ	○	(1) [衆] 500人の比丘サンガ
92	II	146	仏A○無	○	○	○	○		Āpaṇa	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 1250人の比丘サンガ
93	II	147	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ		
94	II	157	弟B○無	○	○	○		Udena	Bārāṇasī		evam me sutaṃ		
95	II	164	仏A○無	○	○	○	○		Opasāda	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 大比丘サンガ
96	II	177	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ		
97	II	184	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutaṃ		
98	II	196	仏B○無	○	○	○	○		Icchānaṅkala		evam me sutaṃ		
99	II	196	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ		
100	II	209	仏A○無	○	○	○	○		Kosala	○(1)	evam me sutaṃ		(1) [衆] 大比丘サンガ
後分50経篇													
101	II	214	仏B○有	○	○	○	○		Devadaha		evam me sutaṃ	○	
102	II	228	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
103	II	238	仏B○有	○	○	○	○		Kusinārā		evam me sutaṃ	○	
104	II	243	仏B○有	○	○	○	○		Sāmagāma		evam me sutaṃ	○	
105	II	252	仏B○有	○	○	○	○		重閣講堂		evam me sutaṃ	○	
106	II	261	仏B○有	○	○	○	○		Kammāssadhamma		evam me sutaṃ	○	
107	III	1	仏B○無	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutaṃ		
108	III	7	弟B○有	○	○	◎(1)		Ānanda	竹林精舎		evam me sutaṃ	○	(1) [時] (仏の) 般涅槃されて間もなく (acira-parinibbute)
109	III	15	仏B○有	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutaṃ	○	
110	III	20	仏B○有	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutaṃ	○	
111	III	25	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
112	III	29	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
113	III	37	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
114	III	45	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
115	III	61	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
116	III	68	仏B○無	○	○	○	○		Rājagaha		evam me sutaṃ		
117	III	71	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
118	III	78	仏A○有	○	○	○	○		鹿母講堂	○(1)	evam me sutaṃ	○	(1) [衆] 舍利弗・目連などの長老比丘等
119	III	88	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	
120	III	99	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutaṃ	○	

121	Ⅲ	104	仏B○有	○	○	○	○		鹿母講堂		evam me sutam	○	
122	Ⅲ	109	仏B○有	○	○	○	○		Kapilavatthu		evam me sutam	○	
123	Ⅲ	118	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
124	Ⅲ	124	弟B○無	○	○	○		Bakkula	竹林精舎		evam me sutam		
125	Ⅲ	128	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
126	Ⅲ	138	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
127	Ⅲ	144	仏B○無	○	○	○	● ⁽¹⁾		祇園精舎		evam me sutam		(1)〔主〕本文に世尊は登場せず。
128	Ⅲ	152	仏B○有	○	○	○	○		Kosambī		evam me sutam	○	
129	Ⅲ	163	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
130	Ⅲ	178	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
131	Ⅲ	187	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
132	Ⅲ	189	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
133	Ⅲ	192	仏B○有	○	○	○	○		Rājagaha		evam me sutam	○	
134	Ⅲ	199	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
135	Ⅲ	202	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam		
136	Ⅲ	207	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
137	Ⅲ	215	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
138	Ⅲ	223	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
139	Ⅲ	230	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
140	Ⅲ	237	仏B○有	○	○	○	○		Rājagaha		evam me sutam	○	
141	Ⅲ	248	仏B○有	○	○	○	○		Bārāṇasī		evam me sutam	○	
142	Ⅲ	253	仏B○無	○	○	○	○		Kapilavatthu		evam me sutam		
143	Ⅲ	258	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
144	Ⅲ	263	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
145	Ⅲ	267	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
146	Ⅲ	270	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
147	Ⅲ	277	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
148	Ⅲ	280	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
149	Ⅲ	287	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎		evam me sutam	○	
150	Ⅲ	290	仏A○無	○	○	○	○		Nagaravinda	○ ⁽¹⁾	evam me sutam		(1)〔衆〕大比丘サンガ
151	Ⅲ	293	仏B○有	○	○	○	○		竹林精舎		evam me sutam	○	
152	Ⅲ	298	仏B○有	○	○	○	○		Kajaṅgala		evam me sutam	○	

【7】 SN.の六事と仏在処一覧

経名	vol.	p.	タイプ	六 事						テキスト冒頭	結	備 考	
				信	聞	時	主		処				衆
							仏	仏弟子					
有偈篇													
1 天相応													
1	I	1	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	evam me sutam			
2	I	2	- J○無						Sāvatti	Sāvattiyam			
3	I	2	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
4	I	3	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
5	I	3	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
6	I	3	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
7	I	4	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
8	I	4	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
9	I	4	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
10	I	5	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
11	I	5	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	evam me sutam			
12	I	6	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
13	I	6	- J△無						△Sāvatti	ekam antam ðhitā kho			
14	I	6	- J△無						△Sāvatti	偈文			
15	I	7	- J△無						△Sāvatti	偈文			
16	I	7	- J△無						△Sāvatti	偈文			
17	I	7	- J△無						△Sāvatti	偈文			
18	I	7	- J△無						△Sāvatti	偈文			
19	I	8	- J△無						△Sāvatti	偈文			
20	I	8	仏B○無	○	○	○	○		Rājagaha	1. evam me sutam			
21~30	I	13	- J○無						Sāvatti nidānam	[品冒頭] Sāvatti nidānam偈文			
31	I	16	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam			
32	I	18	仏G○無			○	○		祇園精舎	1. ekam samayam Bhagavā			

33	I	20	- J ○ 無						祇園精舎		1. Sāvatti ārāme	
34	I	22	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
35	I	23	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
36	I	25	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
37	I	26	仏 A ○ 無	○	○	○	○		Kapilavatthu	○ ⁽¹⁾	1. evam me sutam	(1) [衆] 500人の比丘サンガ
38	I	27	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Rājagaha		1. evam me sutam	
39	I	29	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evam me sutam	
40	I	30	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evam me sutam	
41~50 ⁽¹⁾	I	31	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎		[品冒頭] evam me sutam 偈文	(1) [経] 41経~70経まで偈のみ。
51~60 ⁽¹⁾	I	36	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎		偈文	(1) [経] 本Vaggaも前Vaggaの五事を受継ぐものと推定。
61~70 ⁽¹⁾	I	39	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎		偈文	(1) [経] 本Vaggaも前Vagga同様五事を受継ぐものと推定。
71~81	I	41	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎		[品冒頭] ekam antaṃ t̥hitā kho 偈文	
2 天子相応												
1	I	46	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎		1. evam me sutam	
2	I	46	- J ○ 無						Sāvatti ārāma		1. Sāvattiyaṃ ārāme	
3	I	47	- J ○ 無						Sāvatti ārāma		1. Sāvattiyaṃ ārāme	
4	I	47	- J △ 無						△Sāvatti ārāma		1. ekam antaṃ t̥hitā kho	
5	I	47	- J ○ 無						Sāvatti ārāma		1. Sāvattiyaṃ ārāme	
6	I	48	- J △ 無						△Sāvatti ārāma		1. ekam antaṃ t̥hitā kho	
7	I	48	- J △ 無						△Sāvatti ārāma		1. ekam antaṃ t̥hitā kho	
8 ⁽¹⁾	I	49	- J △ 無						△Sāvatti ārāma		1. atha kho Tayano devaput-to	(1) [経] 本文中にJetavanaという園林名がある。
9	I	50	- J ○ 無						Sāvatti		1. Sāvattiyaṃ viharati	
10	I	51	- J △ 無						△Sāvatti		1. tena kho pana samayena	
11	I	51	- J ○ 無						Sāvatti ārāma		Sāvattiyaṃ ārāme	

12	I	52	－ J △ 無						△Sāvatti ārama	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
13	I	52	仏 B ○ 無	○	○	○	○		竹林精舎	1. evam me sutam		
14	I	52	仏 B △ 無	△	△	△	△		△竹林精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
15	I	53	仏 B △ 無	△	△	△	△		△竹林精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
16	I	53	仏 B △ 無	△	△	△	△		△竹林精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
17	I	53	仏 B △ 無	△	△	△	△		△竹林精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
18	I	54	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Saketa	1. evam me sutam		
19	I	54	－ J ○ 無						Rājagaha nidānaṃ	1. Rājagaha nidānaṃ		
20(1)	I	55	－ J △ 無						△Rājagaha	1. ekam antaṃ ʘhito kho		(1) 〔経〕本文中にJetavanaという園林名がある。
21	I	56	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
22	I	57	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
23	I	57	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
24	I	60	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
25	I	61	弟 B ○ 無	○	○	○		sambahulā bhikkhū	Kosala	1. evam me sutam		
26	I	61	－ J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyam viharati		
27	I	62	－ J △ 無						△Sāvatti	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
28	I	63	－ J △ 無						△Sāvatti	1. ekam antaṃ ʘhito kho		
29	I	63	－ J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
30	I	65	仏 B ○ 無	○	○	○	○		竹林精舎	1. evam me sutam		
3 コーサラ相 応												
1	I	68	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
2	I	70	－ J ○ 無						Sāvatti ārama	1. Sāvattiyam ārame		
3	I	71	－ J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyam		
4	I	71	－ J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyam		

5	I	72	- J △ 無						△Sāvatti	1. ekam antaṃ nissinno kho	
6	I	73	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ	
7	I	74	- J △ 無						△Sāvatti	1. ekam antaṃ nissinno kho	
8	I	75	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti	
9	I	75	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti	
10	I	76	- J △ 無						△Sāvatti	1. tena kho pana samayena	
11	I	77	仏 G ○ 無			○	○		鹿母講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
12	I	79	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ viharati	
13	I	81	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ viharati	
14(1)	I	82	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ viharati(2)	(1) [経] 14経は PTSテキストの段落1~7。 (2) [テ] 14経と15経の冒頭にある。
15(1)	I	83	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ viharati(2)	(1) [経] 15経はPTSテキストの段落8~16。 (2) [テ] 14経と15経の冒頭にある。
16	I	86	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti nidānaṃ	
17	I	86	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ	
18	I	87	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ viharati	
19	I	89	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	
20	I	91	- J △ 無						△Sāvatti	1. atha kho rājā Pasenadi Kosalo	
21	I	93	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti	
22	I	96	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	
23	I	98	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ	
24	I	98	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ	
25	I	100	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	
4 悪魔相応											
1	I	103	仏 B ○ 無	○	○	◎(1)	○		Uruvelā	1. evam me sutāṃ	(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
2	I	103	仏 B ○ 無	○	○	◎(1)	○		Uruvelā	1. evam me sutāṃ	(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
3	I	104	- J ○ 無						Uruvelā	1. Uruvelāyaṃ viharati	
4	I	105	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Bārāṇasī	1. evam me sutāṃ	

5	I	105	仏G○無			○	○		Bārāṇasī		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
6	I	106	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1. evaṃ me sutaṃ		
7	I	107	仏G○無			○	○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
8	I	107	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		1. evaṃ me sutaṃ		
9	I	108	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1. evaṃ me sutaṃ		
10	I	108	- J○無						Rājagaha		1. Rājagahe		
11	I	109	仏G○無			○	○		靈鷲山		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
12	I	109	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
13	I	110	仏B○無	○	○	○	○		Rājagaha		1. evaṃ me sutaṃ		
14	I	111	仏G○無			○	○		Ekasālā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
15	I	111	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		1. evaṃ me sutaṃ		
16	I	112	- J○無						Sāvatti		1. Sāvattiyaṃ viharati		
17	I	112	仏G○無			○	○		重閣講堂		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
18	I	113	仏G○無			○	○		Pañcasālā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
19	I	114	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
20	I	116	仏G○無			○	○		Kosala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
21	I	117	仏B○無	○	○	○	○		Silāvati		1. evaṃ me sutaṃ		
22	I	119	仏G○無			○	○		Silāvati		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
23	I	120	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1. evaṃ me sutaṃ		
24	I	122	仏B○無	○	○	○	○		Uruvelā		1. evaṃ me sutaṃ		
25	I	124	- K×無								1 atha kho Taṇhā ca Arati ca Ragā māra- dhītarō		
5 比丘尼相応													
1	I	128	仏B○無	○	○	○	●(1)		祇園精舎		1. evaṃ me sutaṃ		(1) [主] 本文に世尊は登場せず。
2	I	129	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		

3	I	129	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
4	I	130	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
5	I	131	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
6	I	132	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
7	I	133	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
8	I	133	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
9	I	134	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
10	I	134	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
6 梵天相応												
1	I	136	仏 B ○ 無	○	○	◎(1)	○		Uruvelā	1. evam me sutāṃ		(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
2	I	138	仏 B ○ 無	○	○	◎(1)	○		Uruvelā	1. evam me sutāṃ		(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
3	I	140	仏 B ○ 無	○	○	○	○(1)		祇園精舎	1. evam me sutāṃ		(1) [主] 本文中に「世尊のもとで出家」とあるだけで、それ以外に世尊は登場しない。
4	I	142	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutāṃ		
5	I	144	- J ○ 有						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	○(1)	(1) [結] 梵天が梵衆天の所説に歡喜。
6	I	146	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
7	I	148	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
8	I	148	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
9	I	149	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
10	I	149	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
11	I	153	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Rājagaha	1. evam me sutāṃ		
12	I	153	仏 G ○ 無			◎(1)	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] 提婆達多が去って間もなく (acirapakkante Devadatte)。
13	I	154	仏 G ○ 無			○	○		Andhakavinda	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
14	I	155	仏 B ○ 有	○	○	○	○		Sāvatti	1. evam me sutāṃ	○	
15	I	157	仏 G ○ 無			◎(1)	○		Kusinārā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] (仏の) 般涅槃時に (parinibbānasamaye)。
7 婆羅門相応												
1	I	160	仏 B ○ 無	○	○	○	○		竹林精舎	1. evam me sutāṃ		
2	I	161	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		

3	I	163	仏G○無			○	○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
4	I	164	仏G○無			○	○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
5	I	164	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
6	I	165	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
7	I	165	- J○無						Sāvatti Jetavana		1. Sāvatti Jetavane		
8	I	166	仏G○無			○	○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
9	I	167	仏G○無			○	○		Kosala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
10	I	170	仏G○無			○	○		Kosala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
11	I	172	仏B○無	○	○	○	○		Ekanālā		1. evam me suttaṃ		
12	I	173	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
13	I	174	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
14	I	175	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
15	I	177	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
16	I	179	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
17	I	179	仏G○無			○	○		Kosala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
18	I	180	仏G○無			○	○		Kosala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
19	I	181	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
20	I	182	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
21	I	182	- J○無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
22	I	184	仏B○無	○	○	○	○		Khomadussa		1. evam me suttaṃ		
8 婆耆沙長老 相応													
1	I	185	弟A○無	○	○	○		Vaṅḡisa	Aḷavi	○ ⁽¹⁾	1. evam me suttaṃ		(1) [衆] ヴァンギーサが師のニグローダ・カッパ (Nigrodha-Kappa) と共に
2	I	186	弟F○無			○		Vaṅḡisa	Aḷavi	○ ⁽¹⁾	1. ekaṃ samayaṃ/ la/ 2. āyasmā Vaṅḡiso Aḷaviyaṃ viharati Aggāḷave cetiye		(1) [衆] ヴァンギーサが師のニグローダ・カッパ (Nigrodha-Kappa) と共に

3	I	187	弟 F ○ 無			○		Vaṅgīsa	Aḷavī	○(1)	1. ekaṃ samayam āyasmā	(1) [衆] ヴァンギーサが師のニグローダ・カッパ (Nigrodha-Kappa) と共に
4	I	188	弟 G ○ 無			○		Ānanda	祇園精舎		1. ekaṃ samayam āyasmā	
5	I	188	- J ○ 無						Sāvatti Jetavana		1. Sāvattiyaṃ Jetavane	
6	I	189	弟 G ○ 無			○		Sāriputta	祇園精舎		1. ekaṃ samayam āyasmā	
7	I	190	仏 F ○ 無			○	○		鹿母講堂	○(1)	1. ekaṃ samayam Bhagavā	(1) [衆] 500人の比丘サンガ
8	I	192	仏 F ○ 無			○	○		祇園精舎	○(1)	1. ekaṃ samayam Bhagavā	(1) [衆] 1250人の比丘サンガ
9	I	193	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎		1. ekaṃ samayam Bhagavā	
10	I	194	仏 F ○ 無			○	○		Rājagaha	○(1)	1. ekaṃ samayam Bhagavā	(1) [衆] 500人の比丘サンガ
11	I	195	仏 F ○ 無			○	○		Campā	○(1)	1. ekaṃ samayam Bhagavā	(1) [衆] 500人の比丘と700人の優婆塞と700人の優婆塞と幾千の神々
12	I	196	仏 G ○ 無			○	●(1)		祇園精舎		1. ekaṃ samayam Bhagavā	(1) [主] 本文に世尊は登場せず。
9 森相応												
1	I	197	弟 B ○ 無	○	○	○		aññatara bhikkhu	Kosala		1. evam me sutam	
2	I	197	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala		1. ekaṃ samayam aññatara bhikkhu	
3	I	198	弟 G ○ 無			○		Kassapagotta	Kosala		1. ekaṃ samayam āyasmā	
4	I	199	弟 G ○ 無			○		sambahulā bhikkhū	Kosala		1. ekaṃ samayam sambahulā bhikkhū	
5	I	199	弟 G ○ 無			○		Ānanda	Kosala		1. ekaṃ samayam āyasmā	
6	I	200	弟 G ○ 無			○		Anuruddha	Kosala		1. ekaṃ samayam āyasmā	
7	I	200	弟 G ○ 無			○		Nāgadatta	Kosala		1. ekaṃ samayam āyasmā	
8	I	201	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala		1. ekaṃ samayam aññatara bhikkhu	

9	I	201	弟 G ○ 無			○		Vajjiputtaka	Vesālī	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
10	I	202	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala	1. ekaṃ samayaṃ aññatara bhikkhu		
11	I	203	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala	1. ekaṃ samayaṃ aññatara bhikkhu		
12	I	203	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala	1. ekaṃ samayaṃ aññatara bhikkhu		
13	I	203	弟 G ○ 無			○		sambahulā bhikkhū	Kosala	1. ekaṃ samayaṃ sambahulā bhikkhū		
14	I	204	弟 G ○ 無			○		aññatara bhikkhu	Kosala	1. ekaṃ samayaṃ aññatara bhikkhu		
10 夜叉相応												
1	I	206	仏 G ○ 無			○	○		Rājagaha	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
2	I	206	仏 G ○ 無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
3	I	207	仏 G ○ 無			○	○		Gayā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
4	I	208	仏 G ○ 無			○	○		Magadha	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
5	I	208	仏 G ○ 無			○	● ⁽¹⁾		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。
6	I	209	弟 G ○ 無			○		Anuruddha	祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
7	I	209	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
8	I	210	仏 G ○ 無			○	○		Rājagaha	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
9	I	212	仏 G ○ 無			○	● ⁽¹⁾		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。
10	I	212	仏 G ○ 無			○	● ⁽¹⁾		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。
11	I	213	仏 B ○ 無	○	○	○	● ⁽¹⁾		竹林精舎	1. evam me sutaṃ		(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。
12	I	213	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Ālavī	1. evam me sutaṃ		
11 帝釈相応												

1	I	216	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
2	I	217	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam viharati Jetavane		
3	I	218	- J○無						祇園精舎	1. Sāvattiyam viharati Jetavane Anāthapiṇḍikassa ārāme		
4	I	220	- J○無						祇園精舎	1. Sāvattiyam Jetavane/ pa		
5	I	222	- J○無						Sāvatti nidānam	1. Sāvatti nidānam		
6	I	224	- J○無						Sāvatti nidānam	1. Sāvatti nidānam		
7	I	225	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
8	I	225	- J○無						Sāvatti nidānam	1. Sāvatti nidānam		
9	I	226	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
10	I	227	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
11	I	228	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
12	I	229	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvatti Jetavane		
13	I	230	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂	1. evam me sutam/ 2. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
14	I	231	仏G○無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
15	I	232	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		
16	I	233	仏G○無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
17	I	233	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		
18	I	234	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvatti Jetavane		
19	I	235	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		
20	I	235	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		
21	I	237	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		

22	I	237	- J○無						Sāvatti Jetavana	1. Sāvattiyam Jetavane		
23	I	238	- J○無						祇園精舎	1. Sāvattiyam/ pa		
24	I	239	- J○無						祇園精舎	1. Sāvattiyam/ la/ ārame		
25	I	240	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
因縁篇												
12 因縁相応												
1	II	1	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam	○	
2	II	2	- J○無						祇園精舎	1 Sāvattiyam viharati/ la		
3	II	4	- J○無						祇園精舎	1 Sāvattiyam viharati/ la		
4(1)	II	5	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		(1) 〔経〕 経末に「七仏（毘婆尸仏～釈迦牟尼仏）の略説もまた是の如し（sattan-nam pi buddhānam evam vitthāretab-bo）」とある。
5	II	9	- J○無						Sāvatti	Sikkhissa bhikkhave bhagavato --		
6	II	9	- J○無						Sāvatti	Vessabhussa bhikkhave bhagavato --		
7	II	9	- J○無						Sāvatti	Kakusandhassa bhikkhave bhagavato --		
8	II	9	- J○無						Sāvatti	Koṇāgamanassa bhikkhave bhagavato --		
9	II	9	- J○無						Sāvatti	Kassapassa bhikkhave bhagavato --		
10	II	10	- J○無						Sāvatti	2 pubbe va me bhikkhave sambodhā anabhisambud-dhassa bodhisattassa --		
11	II	11	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 ekam samayaṃ Bhagavā		
12	II	12	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
13	II	14	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
14	II	15	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		

15	II	16	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
16	II	18	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ		
17	II	18	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 evam me sutam		
18	II	22	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
19	II	23	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
20	II	25	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
21	II	27	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
22	II	28	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
23	II	29	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
24	II	32	- J○無						竹林精舎	1 Rājagahe viharati Veḷuvane		
25	II	37	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
26	II	41	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
27	II	42	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
28	II	43	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
29	II	45	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
30	II	46	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
31	II	47	仏G○無			○	○		Sāvatti	1.ekaṃ samayaṃ Bhagavā Sāvattiyaṃ viharati		
32	II	50	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
33	II	56	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
34	II	59	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
35	II	60	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
36	II	63	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
37	II	64	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
38	II	65	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
39	II	66	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
40	II	66	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
41	II	68	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
42	II	70	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
43	II	71	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
44	II	73	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
45	II	74	仏B○無	○	○	○	○		Ñātika	1 evam me sutam		

46	II	75	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
47	II	76	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
48	II	77	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
49	II	77	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
50	II	79	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
51	II	80	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
52	II	84	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
53	II	86	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
54	II	87	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
55	II	87	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
56	II	88	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
57	II	89	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
58	II	90	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
59	II	91	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
60	II	92	仏G○無			○	○		Kammāsadamma	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
61	II	94	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
62	II	95	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
63	II	97	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
64	II	101	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
65	II	104	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
66	II	107	仏B○無	○	○	○	○		Kammāsadamma	1 evam me sutam		
67	II	112	弟G○無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhita	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
68	II	115	弟G○無			○		Musīla, Saviṭṭha, Nārada, Ānanda	Kosambī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
69	II	118	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
70	II	119	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 evam me sutam		
71	II	129	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
72~81(1)	II	129	- J○無						Sāvatti	Savatti		(1) [経] 72経~81経(生、有、取、愛、受、触、六処、名色、識、行)の前に Sāvattiとある。
82~93(1)	II	130	- J○無						Sāvatti	[品冒頭] Sāvattiyam viharati		(1) [経] 本Vaggaは本来12(師、学、瑜伽、欲、努力、不退転、熱心、精進、不拔、正念、正心、不放逸)×11項目(老死~行)=132経となる。

13 現観相応												
1	II	133	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1.evam me sutam		
2	II	134	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
3	II	134	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
4	II	135	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
5	II	135	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
6	II	136	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
7	II	136	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
8	II	137	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
9	II	137	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
10	II	138	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
11	II	138	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
14 界相応												
1	II	140	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
2	II	140	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
3	II	141	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
4	II	141	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
5	II	142	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
6	II	143	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
7	II	143	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
8	II	144	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
9	II	146	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
10	II	147	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
11	II	149	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
12	II	151	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
13	II	153	仏G○無			○	○		Ñātika	1 ekam samayam Bhagavā		
14	II	154	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
15	II	155	仏G○無			○	○		靈鷲山	1 ekam samayam Bhagavā		
16	II	157	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
17	II	159	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
18	II	160	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
19	II	162	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		

20	II	163	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
21	II	164	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
22	II	165	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
23	II	166	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
24	II	166	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
25	II	167	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
26	II	167	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
27	II	168	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
28	II	168	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
29	II	168	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
30	II	169	仏G○無			○	○	祇園精舎	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
31	II	169	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
32	II	171	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
33	II	172	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
34	II	173	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
35	II	174	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
36	II	175	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
37	II	175	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
38	II	176	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
39	II	176	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
15 無始相応											
1	II	178	仏B○無	○	○	○	○	祇園精舎	1 evaṃ me sutāṃ		
2	II	179	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
3	II	179	- J○無					祇園精舎	1 Sāvatti/ pe/		
4	II	180	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
5	II	181	- J○無					祇園精舎	1 Sāvatti/ pe/ ārāme/		
6	II	182	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
7	II	182	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
8	II	183	- J○無					竹林精舎	1 Rājagahe Veḷuvane/		
9	II	184	- J○無					Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
10	II	185	仏I○無				○	靈鷲山	1 Bhagavā Rāgahe Gijjhakūṭe pabbate/		

11	II	186	仏G○無			○	○		Sāvatti	1 ekam samayaṃ Bhagavā		
12	II	186	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
13	II	187	- J○有						竹林精舎	1 Rājagahe viharati Veḷuvane /	○	
14	II	189	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
15	II	189	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
16	II	189	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
17	II	189	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
18	II	190	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
19	II	190	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
20	II	190	仏G○無			○	○		靈鷲山	1 ekam samayaṃ Bhagavā		
16 迦葉相応												
1	II	194	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
2	II	195	弟B○無	○	○	○		Mahākassapa, Sāriputta	Bārāṇasī	1 evam me sutam		
3	II	197	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
4	II	200	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
5	II	202	- D○無	○	○				竹林精舎	evam me sutam/ Rājagahe Veḷuvane		
6	II	203	- J○無						竹林精舎	1 Rājagahe Veḷuvane		
7	II	205	- J○無						竹林精舎	1 Rājagahe viharati Veḷuvane		
8	II	208	- J○無						迦蘭哆園	1 Rājagahe Kalandakanivāpe		
9	II	210	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati		
10	II	214	弟B○無	○	○	○		Kassapa ⁽¹⁾	祇園精舎	1 evam me sutam		(1) [主] Mahākassapa
11	II	217	弟G○無			○		Mahākassapa	竹林精舎	1 ekam samayaṃ āyasmā		
12	II	222	弟G○無			○		Mahākassapa, Sāriputta	Bārāṇasī	1 ekam samayaṃ āyasmā		
13	II	223	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
17 利得と供養相応												

1	II	225	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎 ⁽¹⁾		1 evaṃ me sutaṃ		(1) [処] -- Sāvattiyāṃ viharati/ pe/ ārāmeとある。
2	II	226	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
3	II	226	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
4	II	228	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
5	II	228	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
6	II	229	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
7	II	229	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
8	II	230	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
9	II	231	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
10	II	231	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
11	II	233	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
12	II	233	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
13~20 ⁽¹⁾	II	233	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		(1) [経] 13経~20経まで一括。
21	II	234	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
22	II	235	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
23	II	235	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
24	II	236	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
25	II	236	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
26	II	237	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
27	II	237	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
28	II	237	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
29	II	238	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
30	II	238	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
31	II	239	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
32	II	240	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
33	II	240	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
34	II	240	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
35	II	241	仏G○無			◎ ⁽¹⁾	○		靈鷲山		1.ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] 提婆達多が去って間もなくして (acirapakkante Devadatte)
36	II	242	- J○無						竹林精舎		1 Rājagahe viharati Veļuvane Kalandakanivāpe		
37	II	242	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		

38~43(1)	II	243	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		(1) [経] 38経~43経まで一括。
18 ラーフラ 相応													
1(1)	II	244	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		1 evam me sutam		(1) [経] 経末に「これらの略説により、10経はなされるべきである (etena peyyālena dasasuttantā kātabbā)」とある。
2	II	245	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
3	II	246	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
4	II	246	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
5	II	247	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
6	II	247	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
7	II	247	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
8	II	248	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
9	II	248	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
10	II	249	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
11(1)	II	249	仏B○無	○	○	○	○		Sāvatti(2)		1 evam me sutam		(1) [経] 経末に「これらの略説により、10経はなされるべきである (etena peyyālena dasasuttantā kātabbā)」とある。(2) [処] - Sāvattiyam viharati/
12~20(1)	II	250	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		(1) [経] 12経~20経まで、一部フレーズをあげて略されている。
21	II	252	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
22	II	253	- J○無						Sāvatti		1 Sāvatti		
19 ラッカナ 相応													
1(1)	II	254	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 evam me sutam		(1) [経] 経末に「経のすべての略説なり (sabbesaṃ suttantānam eseva peyyālo)」とあり、この文を本経の六事情報が1経から10経までのすべてに亙ると理解する。
2(1)	II	256	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 idhāham āvuso		(1) [経] PTSテキストには '1 idhāham āvuso' ではじまるが、上記1経の註1により六事情報を左記のように処理した。以下10経まで同。
3	II	256	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 idhāham āvuso		
4	II	256	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 idhāham āvuso		
5	II	257	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 idhāham āvuso		
6	II	257	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 idhāham āvuso		

7	II	257	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 idhāham āvuso		
8	II	257	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 idhāham āvuso		
9	II	257	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 idhāham āvuso		
10	II	258	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎	1 idhāham āvuso		
11	II	259	-C○無	○	○	○			竹林精舎	1 evam me sutam/ ekaṃ samayaṃ Rājagahe Veļuvane		
12	II	259	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
13	II	259	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
14	II	260	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
15	II	260	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
16	II	260	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
17	II	260	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
18	II	261	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 addasaṃ		
19	II	261	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 addasaṃ		
20	II	261	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 addasaṃ		
21	II	261	-C△無	△	△	△			△竹林精舎	1 idhāham āvuso		
20 譬喩相応												
1	II	262	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1 evam me sutam		
2	II	263	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
3	II	263	-J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
4	II	264	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
5	II	265	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
6	II	265	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
7	II	266	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		
8	II	267	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂	1 evam me sutam		
9	II	268	-J○無						Sāvatti ārāma	1 Sāvattiyam ārāme		
10	II	270	-J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyam viharati		

11	II	271	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
12	II	272	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
21 比丘相応											
1	II	273	仏B○無	○	○	○	●(1)		祇園精舎	1 evam me sutam	(1) [主] 本文に世尊は登場せず。
2	II	274	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1 Sāvatti nidānaṃ	
3	II	275	仏B○有	○	○	○	●(1)		祇園精舎	1 evam me sutam	○(2) (1) [主] 本文に世尊は登場せず。(2) [結] 兩大龍(舍利弗・目連)が相互に善説をし讃歎しあう。
4	II	277	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
5	II	278	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
6	II	279	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
7	II	280	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂	1 evam me sutam	
8	II	281	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
9	II	281	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
10	II	282	仏G○無			○	○		竹林精舎	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
11	II	284	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
12	II	285	- J○無						Sāvatti	1 Sāvattiyaṃ viharati	
健度篇											
22 蘊相応											
1	III	1	仏B○有	○	○	○	○		Suṃsumāragira	1 evam me sutam	○(1) (1) [結] ナクラ父居士が世尊の所説に歡喜し、さらに舍利弗のもとを訪れて彼の所説にも歡喜する。
2	III	5	仏B○有	○	○	○	○		Devadaha	1 evam me sutam	○(1) (1) [結] 諸比丘が世尊の所説に歡喜し、さらに舍利弗のもとを訪れて彼の所説に歡喜する。
3	III	9	弟B○無	○	○	○		Mahākaccāna	Avanti	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
4	III	12	弟B○無	○	○	○		Mahākaccāna	Avanti	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
5	III	13	仏B△無	○	○	△	△		Sāvatti	1 evam me sutam/ la/ Sāvattiyaṃ	
6	III	15	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti	
7	III	15	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti	
8	III	18	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti	

9	III	19	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
10	III	19	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
11	III	20	- J○無						Sāvatti	1 Sāvatti		
12	III	21	- D○無	○	○				Sāvatti	1 evam me sutam/ Sāvattiyam		
13	III	21	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
14	III	21	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
15	III	22	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
16	III	22	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
17	III	22	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
18	III	23	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
19	III	23	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
20	III	24	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
21	III	24	- J○無						Sāvatti ārāma	1 Sāvattiyam ārāma		
22	III	25	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvattiyam		
23	III	26	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
24	III	26	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
25	III	27	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
26	III	27	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
27	III	29	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
28	III	29	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
29	III	31	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
30	III	31	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
31	III	32	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
32	III	32	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
33	III	33	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
34	III	34	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
35	III	34	- J○有						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāma	○(1)	(1)〔結〕世尊の所説に歡喜した後、阿羅漢となる。
36	III	36	- J○有						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāma	○(1)	(1)〔結〕世尊の所説に歡喜した後、阿羅漢となる。
37	III	37	- J○無						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāma		
38	III	38	- J○無						祇園精舎	1-2 Sāvatti/ ārāma		
39	III	40	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
40	III	41	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
41	III	41	- J○無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		

42	III	41	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
43	III	42	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
44	III	43	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
45	III	44	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
46	III	45	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
47	III	46	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
48	III	47	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
49	III	48	仏 B ○ 無	○	○	○	○		竹林精舎	1 evam me sutam		
50	III	50	仏 B ○ 無	○	○	○	○		竹林精舎	1 evam me sutam		
51	III	51	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
52	III	51	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
53	III	53	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
54	III	54	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
55	III	55	- J ○ 無						Sāvattiyam	1 Sāvatti		
56	III	58	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
57	III	61	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
58	III	65	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
59	III	66	- J ○ 有						Bārāṇasī Migadāya	1 Bārāṇasiyam nidānam Migadāye	○	
60	III	68	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂	1 evam me sutam		
61	III	71	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
62	III	71	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
63	III	73	- J ○ 有						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme	○(1)	(1) [結] 世尊の所説に歓喜した後、阿羅漢となる。以下73経まで同じ。
64	III	74	- J ○ 有						Sāvatti	1 Sāvatti	○	
65	III	75	- J ○ 有						Sāvatti	1-2 Sāvatti	○	
66	III	76	- J ○ 有						Sāvatti	1-3 Sāvatti	○	
67	III	77	- J ○ 有						Sāvatti	1-3 Sāvatti	○	
68	III	77	- J ○ 有						Sāvatti	1-3 Sāvatti	○	
69	III	78	- J ○ 有						Sāvatti	1-3 Sāvatti	○	
70	III	79	- J ○ 有						祇園精舎	1-2 Sāvatti/ ārāme	○	
71	III	79	- J ○ 有						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme	○	
72	III	80	- J ○ 有						祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme	○	
73	III	81	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		

74	Ⅲ	82	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
75	Ⅲ	82	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
76	Ⅲ	82	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
77	Ⅲ	84	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
78	Ⅲ	84	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
79	Ⅲ	86	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
80	Ⅲ	91	仏G○無			○	○		Kapilavatthu		1 ekam samayaṃ Bhagavā		
81	Ⅲ	94	仏G○無			○	○		Kosambī		1 ekam samayaṃ Bhagavā		
82	Ⅲ	100	仏F○無			○	○		鹿母講堂	○ ⁽¹⁾	1 ekam samayaṃ Bhagavā		(1) [衆] 大比丘サンガ
83	Ⅲ	105	弟B○無	○	○	○		Ānanda	祇園精舎		1 evam me sutam āyasmā		
84	Ⅲ	106	- J○有						祇園精舎		1 Sāvatti/ ārāme	○	
85	Ⅲ	109	弟G○有			○		Sāriputta	祇園精舎		1 ekam samayaṃ āyasmā	○	
86	Ⅲ	116	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂		1 evam me sutam		
87	Ⅲ	119	仏B○無	○	○	○	○		竹林精舎		1 evam me sutam		
88	Ⅲ	124	仏G○無			○	○		竹林精舎		1 ekam samayaṃ Bhagavā		
89	Ⅲ	126	弟G○有			○		therā bhikkhū	Kosambī		1 ekam samayaṃ sambahulā therā bhikkhū	○	
90	Ⅲ	132	弟G○無			○		therā bhikkhū	Bārāṇasī		1 ekam samayaṃ sambahulā therā bhikkhū		
91	Ⅲ	135	- J○無						祇園精舎		1 Sāvatti/ ārāme		
92	Ⅲ	136	- J○無						祇園精舎		1-2 Sāvatti/ ārāme		
93	Ⅲ	137	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
94	Ⅲ	138	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
95	Ⅲ	140	仏G○無			○	○		Ayojjhā		1 ekam samayaṃ Bhagavā		
96	Ⅲ	143	- J○無						祇園精舎		1-2 Sāvatti/ ārāme		
97	Ⅲ	147	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		

98	Ⅲ	149	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
99	Ⅲ	149	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
100	Ⅲ	151	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
101	Ⅲ	152	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
102	Ⅲ	155	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
103	Ⅲ	157	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
104	Ⅲ	158	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
105	Ⅲ	159	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
106	Ⅲ	159	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
107	Ⅲ	160	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
108	Ⅲ	160	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
109	Ⅲ	160	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
110	Ⅲ	161	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
111	Ⅲ	161	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
112	Ⅲ	161	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
113	Ⅲ	162	- J○無					祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme		
114	Ⅲ	163	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
115	Ⅲ	163	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
116	Ⅲ	164	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
117	Ⅲ	164	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
118	Ⅲ	165	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
119	Ⅲ	166	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
120	Ⅲ	166	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
121	Ⅲ	167	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
122	Ⅲ	167	弟G○無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhita	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayam āyasmā	
123 ⁽¹⁾	Ⅲ	169	弟G○無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhita	Bārāṇasī-nidānaṃ	1 Bārāṇasī-nidānaṃ	(1) 〔経〕テキストの脚注4によれば、this sutta is exactly the same as the precedingとある。
124	Ⅲ	169	- J○無					祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme		
125	Ⅲ	170	- J○無					Sāvatti	1 Sāvatti		
126	Ⅲ	170	- J○無					祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme		
127	Ⅲ	172	弟G○無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhita	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayam āyasmā	

128	III	173	- J ○ 無						Bārāṇasī nidāmaṃ	1-2 Bārāṇasī nidānaṃ		
129	III	173	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1-2 Bārāṇasiyaṃ viharanti Isipatane Migadāye		
130	III	173	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1-2 Bārāṇasiyaṃ Isipatane Migadāye		
131	III	174	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1-2 Bārāṇasiyaṃ viharanti Isipatane Migadāye/ pe/		
132	III	174	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1-2 Bārāṇasiyaṃ viharanti Isipatane Migadāye		
133	III	175	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1 Bārāṇasiyaṃ viharanti Isipatane Migadāye		
134	III	175	- J ○ 無						Bārāṇasī Migadāya	1-2 Bārāṇasiyaṃ viharanti Isipatane Migadāye		
135	III	176	- J ○ 無						Bārāṇasī	1-2 taññeva nidānaṃ		
136	III	177	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
137	III	177	- J ○ 無						Sāvatti	1 Sāvatti		
138	III	178	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
139	III	178	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
140~142	III	178	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
143~145	III	178	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
146	III	179	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
147	III	179	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
148	III	180	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
149	III	180	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
150	III	181	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
151	III	182	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
152	III	183	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
153	III	184	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
154	III	185	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
155	III	185	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		

156	III	186	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
157	III	187	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
158	III	187	- J ○ 無					祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme		
23 羅陀相応											
1	III	188	- J ○ 無					祇園精舎	1 Sāvatti/ ārāme		
2	III	189	- J ○ 無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
3	III	190	- J ○ 無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
4	III	191	- J ○ 無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
5	III	191	- J ○ 無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
6	III	192	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
7	III	192	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
8	III	193	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
9	III	193	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
10	III	194	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
11	III	195	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
12	III	195	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
13	III	195	- J △ 無					△Sāvatti(1)	1-3 aniccam aniccan ti bhante vuccati	(1) [処] 内容は上記11経、12経と関連する。	
14	III	195	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
15	III	196	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
16	III	196	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
17	III	196	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
18	III	196	- J △ 無					△Sāvatti(1)	1-3 ekam antaṃ nisinno kho	(1) [処] 内容はVaggaにわたり関連する。	
19	III	197	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
20	III	197	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
21	III	197	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
22	III	197	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
23	III	198	- J ○ 無					Sāvatti	[品冒頭] 1-3 Sāvatti		
24	III	198	- J ○ 無					Sāvatti	4 yo kho Radha		
25	III	199	- J ○ 無					Sāvatti	4 yo kho Radha		
26	III	199	- J ○ 無					Sāvatti	4 yo kho Radha		
27	III	199	- J ○ 無					Sāvatti	4 yo kho Radha		
28	III	199	- J ○ 無					Sāvatti	4 yo kho Radha		

29	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	4 yo kho Radha		
30	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	4 yo kho Radha		
31	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	4 yo kho Radha		
32	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	4 yo kho Radha		
33	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	4 yo kho Radha		
34	III	199	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
35	III	200	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
36	III	200	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
37	III	200	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
38	III	200	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
39	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
40	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
41	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
42	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
43	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
44	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
45	III	201	- J △ 無						△Sāvatti	4 yo kho Rādha		
46	III	201	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti		
24 見相応												
1	III	202	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
2	III	203	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
3	III	204	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
4	III	205	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
5	III	206	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
6	III	208	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
7	III	210	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
8	III	211	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
9	III	213	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
10	III	214	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
11	III	214	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
12	III	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
13	III	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
14	III	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		
15	III	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti		

16	Ⅲ	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti	
17	Ⅲ	215	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti	
18	Ⅲ	216	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti	
19	Ⅲ	217	- J ○ 無						Sāvatti	1-2 Sāvatti	
20~35(1)	Ⅲ	218	- J ○ 無						Sāvatti	purima-gamanāhi aṭṭhārasa- veyyākaraṇāni vitthārāni ti	(1) 〔経〕 テキストには本20経（我所）～35経（如来有無）まで経番のみをあげる。
36	Ⅲ	218	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
37	Ⅲ	218	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
38	Ⅲ	219	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
39(1)	Ⅲ	219	- J △ 無						△Sāvatti	3 rūpi ca arūpi ca	(1) 〔経〕 本39経（有色無色）～44経（非苦非楽）まで一部のフレーズのみ。
40	Ⅲ	219	- J △ 無						△Sāvatti	3 neva rūpi nārūpi attā	
41	Ⅲ	219	- J △ 無						△Sāvatti	3 ekantasukhī attā	
42	Ⅲ	220	- J △ 無						△Sāvatti	3 ekantadukkhī attā	
43	Ⅲ	220	- J △ 無						△Sāvatti	3 sukhadukkhī attā	
44	Ⅲ	220	- J △ 無						△Sāvatti	3 adukkhāmasukhī attā	
45	Ⅲ	221	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
46~69(1)	Ⅲ	221	- J ○ 無						Sāvatti	evaṃ vitthāretabbaṃ	(1) 〔経〕 テキストに46経～69経を経番のみをあげる。
70	Ⅲ	222	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
71	Ⅲ	222	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
72~95	Ⅲ	222	- J ○ 無						Sāvatti	(evaṃ vitthāretabbaṃ) (1)	(1) 〔テ〕 テキストには72経～95経までの経番が欠落しているが、南伝訳者にならい経番を補い、上記46経～69経と同様に「上の如く広説すべし」と理解する。南伝14巻p.359参照
96	Ⅲ	223	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
25 入相応											
1	Ⅲ	225	- J ○ 無						祇園精舎	1-2 Sāvatti/ pe	
2	Ⅲ	225	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
3	Ⅲ	226	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
4	Ⅲ	226	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
5	Ⅲ	226	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	
6	Ⅲ	227	- J ○ 無						Sāvatti	1-3 Sāvatti	

7	III	227	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
8	III	227	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
9	III	227	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
10	III	227	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
26 生相応											
1	III	228	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
2	III	229	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
3	III	229	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
4	III	230	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
5	III	230	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
6	III	230	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
7	III	230	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
8	III	230	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
9	III	231	- J○無					Sāvatti	1-8 Sāvatti		
10	III	231	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
27 煩惱相応											
1	III	232	- J○無					Sāvatti	1-2 Sāvatti		
2	III	232	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
3	III	232	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
4	III	233	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
5	III	233	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
6	III	233	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
7	III	233	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
8	III	234	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
9	III	234	- J○無					Sāvatti	1-3 Sāvatti		
10	III	234	- J○無					Sāvatti	1-7 Sāvatti		
28 舍利弗相応											
1	III	235	弟 G○無			○	Sāriputta	祇園精舎	1 ekam samayam āyasmā		
2	III	236	- J○無					Sāvatti	1-5 Sāvatti/ taṃ yeva nidānaṃ		
3	III	236	- J○無					Sāvatti	1-6 Sāvatti		
4	III	237	- J○無					Sāvatti	1-6 Sāvatti		

5	III	237	- J ○ 無						Sāvatti		1-6 Sāvatti		
6	III	237	- J ○ 無						Sāvatti		1-6 Sāvatti		
7	III	237	- J ○ 無						Sāvatti		1-6 Sāvatti		
8	III	238	- J ○ 無						Sāvatti		1-6 Sāvatti		
9	III	238	- J ○ 無						Sāvatti		1-6 Sāvatti		
10	III	238	弟 G ○ 無			○		Sāriputta	竹林精舎		1 ekaṃ samayam āyasmā		
29 龍相応													
1	III	240	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
2	III	240	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti [°] (1)		(1) [テ] [°] は写本のカスレ、穴あき個所と思われる。
3	III	241	- H ○ 無			○			Sāvatti ārāma		1 ekaṃ samayaṃ [°] Sāvattiyam [°] ārāme(1)		(1) [テ] [°] は写本のカスレ、穴あき個所と思われる。
4	III	242	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
5	III	242	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
6	III	242	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
7	III	243	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
8	III	243	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
9	III	244	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
10	III	244	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
11~20(1)	III	244	- J △ 無						△Sāvatti		1-3 ekaṃ antaṃ nisinno kho		(1) [経] テキストは11経~20経までを纏めてある。
21~50(1)	III	245	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		(1) [経] テキストは21経~50経までを纏めてある。なお経末に「是の如く広説して、十経を説き、是の如く四類に於て四十記別を説くべし (evaṃ iminā peyyālena dasa suttantā kātabbā, evaṃ catusu yonisu cattārīsa veyyākaraṇāni kātabbāni) 十経と五十経とあり (dasa suttantā honti paññāsa suttantā ceti)」とある。
30 金翅鳥相応													
1	III	246	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
2	III	247	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
3	III	247	- J ○ 無						祇園精舎		1 Sāvatti/ ārāme		
4~6(1)	III	247	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		(1) [経] テキストには4経~6経までを纏めてある。
7~16(1)	III	248	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		(1) [経] 7経~16経までを纏めてある。

17~46(1)	Ⅲ	248	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	(1) 〔経〕17経~46経までを纏めてある。なおテキストの経末に「是の如く集りとして四十六経あり (evaṃ piṇḍakena cha cat-tāḷisa suttantā honti)」とある。
31 乾達婆相応												
1	Ⅲ	249	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti	
2	Ⅲ	250	- J○無						祇園精舎		1-2 Sāvatti/ ārāme	
3	Ⅲ	250	- J○無						Sāvatti		1-4 Sāvatti	
4~12(1)	Ⅲ	251	- J○無						Sāvatti		1-4 Sāvatti	(1) 〔経〕4経~12経まで纏めてある。
13~22(1)	Ⅲ	252	- J○無						Sāvatti		1-4 Sāvatti	(1) 〔経〕13経~22経まで纏めてある。
23~112(1)	Ⅲ	253	- J○無						Sāvatti		1-4 Sāvatti	(1) 〔経〕23経~112経まで纏めてある。なおテキストの経末に「是の如く集りとして一百十二経 (evaṃ piṇḍakena ekasatañ ca dvādasa suttam)」とある。
32 雲相応												
1	Ⅲ	254	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti	
2	Ⅲ	254	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
3~22(1)	Ⅲ	254	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	(1) 〔経〕3経~22経までを纏めてある。
23~52(1)	Ⅲ	255	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	(1) 〔経〕23経~52経までを纏めてある。
53	Ⅲ	256	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
54	Ⅲ	256	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
55	Ⅲ	256	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
56	Ⅲ	256	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
57	Ⅲ	257	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
33 婆嗟種相応												
1	Ⅲ	257	- J○無						Sāvatti		1-2 Sāvatti	
2	Ⅲ	258	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
3	Ⅲ	258	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
4	Ⅲ	259	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
5	Ⅲ	259	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	
6~10(1)	Ⅲ	260	- J○無						Sāvatti		1-3 Sāvatti	(1) 〔経〕6経~10経 (色~識) までを纏めてある。
11~15(1)	Ⅲ	260	- J○無						Sāvatti		Sāvatti	(1) 〔経〕11経~15経 (色~識) までを纏めフレーズをあげる。

16~20(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		1-4 Sāvatti		(1) 〔経〕 16経 (色) を代表させ、以下20経 (受~識) までをフレーズのみで纏めてある。
21~25(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 21経~25経 (色~識) までを省略しながら纏めてある。
26~30(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 26経~30 (色~識) 経までを省略して纏めてある。
31~35(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 31経~35経 (色~識) までを省略して纏めてある。
36~40(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 36経~40経 (色~識) までを省略して纏めてある。
41~45(1)	III	261	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 41経~45経 (色~識) までを省略して纏めてある。
46~50(1)	III	262	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 46経~50経までを省略して纏めてある。
51	III	262	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
52~54(1)	III	262	- J ○ 無						Sāvatti		Sāvatti		(1) 〔経〕 52経~54経 (受~行) までをフレーズで纏めてある。
55	III	262	- J ○ 無						Sāvatti		1-4 Sāvatti		
34 禪定相応													
1	III	263	- J ○ 無						Sāvatti		1-2 Sāvatti		
2	III	264	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
3	III	265	- J △ 無						△Sāvatti		1-3 cattāro me bhikkhave jhāyī		
4	III	265	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
5	III	266	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
6	III	266	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
7	III	267	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
8	III	267	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
9	III	268	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
10	III	268	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
11	III	269	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
12	III	269	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
13	III	270	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
14	III	270	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
15	III	270	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
16	III	271	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		
17	III	271	- J ○ 無						Sāvatti		1-3 Sāvatti		

18	III	271	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti	
19	III	271	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti	
20	III	272	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti	
21~27(1)	III	273	- J △ 無					△Sāvatti	cattāro me bhikkhave jhāyī	(1) 〔経〕 21経を代表させ、以下27経までをフレーズで纏めてある。
28	III	273	- J ○ 無					Sāvatti	1-3 Sāvatti	
29~34(1)	III	274	- J △ 無					△Sāvatti	cattāro me bhikkhave jhāyī	(1) 〔経〕 29経を代表させ、それ以下34経までをフレーズで纏めてある。
35	III	275	- J ○ 無					Sāvatti	1-4 Sāvatti	
36~40(1)	III	275	- J △ 無					△Sāvatti	cattāro me bhikkhave jhāyī	(1) 〔経〕 36経を代表させ、それ以下40経までを略号 (pe) を用いてフレーズで纏めてある。
41	III	275	- J ○ 無					Sāvatti	1-6 Sāvatti	
42~45(1)	III	276	- J △ 無					△Sāvatti	samādhismiṃ ārammaṇakusalo hoti	(1) 〔経〕 42経~45経までを省略符 (pe) を用いてフレーズで纏めてある。
46	III	276	- J ○ 無					Sāvatti	1-7 Sāvatti	
47~49(1)	III	276	- J △ 無					△Sāvatti	samādhismiṃ gocarakusalo hoti	(1) 〔経〕 47経~49経までを省略符 (pe) を用いてフレーズで纏めてある。
50	III	276	- J ○ 無					Sāvatti	1-7 Sāvatti	
51~52(1)	III	277	- J △ 無					△Sāvatti	samādhismiṃ abhinīhāraṇakusalo hoti	(1) 〔経〕 51経~52経までを省略符 (pe) を用いてフレーズで纏めてある。
53	III	277	- J ○ 無					Sāvatti	1-7 Sāvatti	
54	III	277	- J △ 無					△Sāvatti	samādhismiṃ sakkaccakāri	
55(1)	III	277	- J ○ 有					Sāvatti	1-3 Sāvatti	○ (1) 〔経〕 テキストの経末に「是の如く前略にして、五十五の記別を広説すべし (evan taṃ peyyālamukhāni pañcapanāsa veyyākaraṇāni vitthāretabbāni)」とある。
六処篇										
35 六処相応										
1	IV	1	仏 B ○ 無	○	○	○	○	祇園精舎	1 evam me sutam	
2	IV	2	仏 B △ 無	△	△	△	△	△祇園精舎	3 cakkhuṃ bhikkhave dukkham	
3	IV	2	仏 B △ 無	△	△	△	△	△祇園精舎	3 cakkhuṃ bhikkhave anattā	

4	IV	2	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave aniccā		
5	IV	3	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave dukkhaṃ		
6	IV	3	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave anattā		
7	IV	4	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 cakkhuṃ bhikkhave aniccaṃ		
8	IV	4	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3-7 cakkhuṃ bhikkhave dukkhaṃ		
9	IV	4	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 cakkhuṃ bhikkhave anattā		
10	IV	5	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave aniccā		
11	IV	5	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave dukkhā		
12	IV	6	仏 B △ 無	△	△	△	△		△祇園精舎	3 rūpā bhikkhave anattā		
13	IV	6	- J ○ 無						Sāvatti	1 Sāvatti		
14	IV	8	- J △ 無						△Sāvatti	2 pubbe me bhikkhave sambodhā		
15	IV	8	- J △ 無						△Sāvatti	2 cakkhussāhaṃ bhikkhave		
16	IV	9	- J △ 無						△Sāvatti	2 rūpānāhaṃ bhikkhave		
17	IV	10	- J △ 無						△Sāvatti	2 no cedaṃ bhikkhave		
18	IV	12	- J △ 無						△Sāvatti	2 no cedaṃ bhikkhave		
19	IV	13	- J △ 無						△Sāvatti	2 yo bhikkhave		
20	IV	13	- J △ 無						△Sāvatti	2 yo bhikkhave		
21	IV	14	- J △ 無						△Sāvatti	2 yo bhikkhave		
22	IV	14	- J △ 無						△Sāvatti	2 yo bhikkhave		
23	IV	15	- J ○ 無						Sāvatti	1 Sāvatti		
24	IV	15	- J △ 無						△Sāvatti	2 sabbappahānāya vo bhikkhave		
25	IV	16	- J △ 無						△Sāvatti	2 sabbam abhiññā pariññā pahānāya vo bhikkhave		
26	IV	17	- J △ 無						△Sāvatti	2 sabbam bhikkhave		

27	IV	18	- J △ 無					△Sāvatti		2 sabbaṃ bhikkhave		
28	IV	19	仏 F ○ 有			○	○	Gayā	○ ⁽¹⁾	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○	(1) [衆] 1000人の比丘サンガ
29	IV	20	仏 B ○ 無	○	○	○	○	竹林精舎		1 evam me sutam		
30	IV	21	仏 B △ 無	△	△	△	△	△竹林精舎		2 sabba-maññita- samugghāta-sāruppaṃ vo bhikkhave		
31	IV	23	仏 B △ 無	△	△	△	△	△竹林精舎		2 sabba-maññita- samugghāta-sāruppaṃ vo bhikkhave		
32	IV	24	仏 B △ 無	△	△	△	△	△竹林精舎		2 sabba-maññita- samugghāta-sāruppaṃ vo bhikkhave		
33	IV	26	- J ○ 無					Sāvatti		1 Sāvatti		
34~42 ⁽¹⁾	IV	27	- J △ 無					△Sāvatti		sabbaṃ bhikkhave		(1) [経] 34経~42経までをフレーズ (老、病、死、憂、汚穢、破壊、消亡、生 起、滅尽)で纏めてある。
43 ~52 ⁽¹⁾	IV	28	- J ○ 無					Sāvatti		[品冒頭] Savatti		(1) [経] 43経~51経までをフレーズ(無 常~所歴)で纏めてある。なおVaggaの全経 は43経~52経である。
53	IV	30	- J ○ 無					Sāvatti		[品冒頭] Sāvatti/ la		
54	IV	31	- J ○ 無					Sāvatti				
55	IV	31	- J ○ 無					Sāvatti				
56~57	IV	32	- J ○ 無					Sāvatti				
58~59	IV	32	- J ○ 無					Sāvatti				
60	IV	32	- J ○ 無					Sāvatti				
61	IV	33	- J ○ 無					Sāvatti				
62	IV	34	- J ○ 無					Sāvatti				
63	IV	35	- J ○ 無					Sāvattihinidānaṃ		1 Sāvattihinidānaṃ		
64	IV	37	- J △ 無					△Sāvattihinidānaṃ		2 atha kho āyasmā Migajālo		
65	IV	38	仏 G ○ 無			○	○	竹林精舎		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
66	IV	39	仏 G △ 無			△	△	△竹林精舎		3-15 satto satto ti bhante vuccati		
67	IV	39	仏 G △ 無			△	△	△竹林精舎		3-15 dukkhaṃ dukkhaṃ ti bhante vuccati		

68	IV	39	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		3-15 loko loko ti bhante vuccati	
69	IV	40	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Upasena	Rājagaha		1 ekam samayaṃ āyasmā	
70(1)	IV	41	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Upasena	△Rājagaha		2 atha kho āyasmā Upavāṇo	(1) 〔経〕 ここにはSāriputtaもUpasenaも登場せず、世尊が登場する。
71(1)	IV	43	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Upasena	△Rājagaha		2 yo hi koci bhikkhave	(1) 〔経〕 ここにはSāriputtaもUpasenaも登場せず、世尊が登場する。
72(1)	IV	44	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Upasena	△Rājagaha		2 yo hi koci bhikkhave	(1) 〔経〕 ここにはSāriputtaもUpasenaも登場せず、世尊が登場する。
73(1)	IV	44	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Upasena	△Rājagaha		2 yo hi koci bhikkhave	(1) 〔経〕 ここにはSāriputtaもUpasenaも登場せず、世尊が登場する。
74	IV	46	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ		1 Sāvatti nidānaṃ	
75(1)	IV	47	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ		1 Sāvatti nidānaṃ	(1) 〔経〕 テキストに、1-10 exactly the same as in the preceding Suttaとある。
76	IV	48	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho āyasmā Rādho	
77	IV	49	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		4 yaṃ kho Rādha	
78	IV	49	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		4 yaṃ kho Rādha	
79	IV	49	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho aññataro bhikkhu	
80(1)	IV	50	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho aññataro bhikkhu	(1) 〔経〕 テキストに、1-5 as in preceding Suttaとある。
81	IV	50	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho sambahulā bhikkhū	
82	IV	52	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho aññataro bhikkhu	
83	IV	52	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho āyasmā Phagguno	
84	IV	53	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2 atha kho āyasmā Ānando	
85	IV	54	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2-3 atha kho āyasmā Ānando	
86	IV	54	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		3 ekam antaṃ nisinna kho	
87	IV	55	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎		1.ekam samayaṃ Bhagavā	

88(1)	IV	60	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 atha kho āyasmā Puṇṇo		(1) 〔経〕 MN.145では祇園精舎とある。
89	IV	63	仏 G △ 有			△	△		△竹林精舎	2 atha kho āyasmā Bāhiyo	○	
90	IV	64	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 eja bhikkhave rogo		
91	IV	66	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 eja bhikkhave rogo		
92	IV	67	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 dvayaṃ vo bhikkhave		
93	IV	67	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 dvayaṃ bhikkhave		
94	IV	70	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 cha yime bhikkhave		
95	IV	72	仏 G △ 有			△	△		△竹林精舎	2 atha kho āyasmā Mālukyaputto	○	
96	IV	76	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2 parihānadhammañ ca vo bhikkhave		
97	IV	78	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1 Savatti nidānaṃ/ pa		
98	IV	79	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 saṃvaraṇ ca vo bhikkhave		
99	IV	80	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 samādhim bhikkhave		
100	IV	80	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 paṭisallānaṃ bhikkhave		
101(1)	IV	81	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 yaṃ pi bhikkhave		(1) 〔経〕本文中に、Jetavanaの園林名がある。
102(1)	IV	82	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 yaṃ pi bhikkhave		(1) 〔経〕テキストにthe same as 2-9 of the preceding Suttaとある。
103	IV	83	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 Uddako sudaṃ bhikkhave Rāmaputto evaṃ vācaṃ bhāsati		
104	IV	85	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 yogakkhemī-pariyāyaṃ vo bhikkhave		
105	IV	85	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 kismiṃ nu kho bhikkhave		
106	IV	86	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 dukkhassa bhikkhave		
107	IV	87	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 lokassa bhikkhave		
108	IV	88	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 kismiṃ nu kho bhikkhave		
109	IV	89	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2 saṃyojaniye ca bhikkhave		

110	IV	89	- J △ 無					△Sāvatti nidānaṃ	2 upādāniye ca bhikkhave		
111	IV	89	- J △ 無					△Sāvatti nidānaṃ	2 cakkhuṃ bhikkhave		
112	IV	90	- J △ 無					△Sāvatti nidānaṃ	2 rūpe bhikkhave		
113	IV	90	仏 G ○ 無			○	○	Nātika	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
114	IV	91	仏 G △ 無			△	△	△Nātika	2-7 santi bhikkhave		
115	IV	92	仏 G △ 無			△	△	△Nātika	2-7 santi bhikkhave		
116	IV	93	仏 G △ 無			△	△	△Nātika	2 nāham bhikkhave		
117	IV	97	仏 G △ 無			△	△	△Nātika	2 pubbe me bhikkhave sambodhā		
118	IV	101	仏 G ○ 無			○	○	靈鷲山	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
119	IV	103	仏 G ○ 無			○	○	靈鷲山	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
120	IV	103	弟 G ○ 無			○		Sāriputta 祇園精舍	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
121	IV	105	仏 G ○ 有			○	○	祇園精舍	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○	
122	IV	107	仏 G △ 無			△	△	△祇園精舍	1 saṃyojaniye ca bhikkhave		
123	IV	108	仏 G △ 無			△	△	△祇園精舍	1 upādāniye ca bhikkhave		
124	IV	109	仏 G ○ 無			○	○	重閣講堂	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
125	IV	109	仏 G ○ 無			○	○	Hatthigāma	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
126	IV	110	仏 G ○ 無			○	○	Nālandā	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
127	IV	110	弟 G ○ 無			○		Piṇḍolabhāradvāja Kosambī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
128	IV	113	仏 G ○ 無			○	○	竹林精舍	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
129	IV	113	弟 G ○ 無			○		Ānanda Kosambī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		

130	IV	115	弟 G ○ 無			○		Mahākaccāna	Avanti	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
131	IV	116	仏 G ○ 無			○	○		Suṃsmāragira	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
132	IV	116	弟 G ○ 無			○		Mahākaccāna	Avanti	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
133	IV	121	弟 G ○ 無			○		Udāyin	Kāmaṇḍā	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā		
134	IV	124	仏 G ○ 無			○	○		Devadaha	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
135	IV	126	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 lābhā vo bhikkhave		
136	IV	126	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 rūpārāmā bhikkhave		
137	IV	128	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 yam bhikkhave		
138	IV	129	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 yam bhikkhave		
139	IV	129	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 cakkhuṃ bhikkhave aniccaṃ		
140	IV	130	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 cakkhuṃ bhikkhave dukkhaṃ		
141	IV	130	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 cakkhuṃ bhikkhave anattā		
142	IV	131	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 rūpā bhikkhave aniccā		
143	IV	131	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 rūpā bhikkhave dukkhā		
144	IV	131	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 rūpā bhikkhave anattā		
145	IV	132	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 navapurāṇāni bhikkhave		
146	IV	133	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 nibbānasappāyaṃ vo bhikkhave		
147	IV	134	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 nibbānasappāyaṃ vo bhikkhave		
148	IV	134	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 nibbānasappāyaṃ vo bhikkhave		
149	IV	135	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 nibbānasappāyaṃ vo bhikkhave		

150	IV	136	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 anantevāsikam idaṃ bhikkhave		
151	IV	138	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 sace vo bhikkhave		
152	IV	138	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 atthi nu kho bhikkhave		
153	IV	140	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 atha kho aññataro bhikkhu		
154	IV	141	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	2 atha kho aññataro bhikkhu		
155	IV	142	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 aniccaṃ yeva bhikkhave		
156	IV	142	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 anicca yeva bhikkhave		
157	IV	142	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 cakkhuṃ bhikkhave		
158	IV	143	仏 G △ 無			△	△		△Devadaha	3 rūpe bhikkhave yoniso		
159	IV	143	仏 G ○ 無			○	○		Rājagaha	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
160	IV	144	仏 G ○ 無			○	○		Rājagaha	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
161	IV	145	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2 atha kho āyasmā Mahā-Koṭṭhiko		
162	IV	146	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2-3 atha kho/ la		
163	IV	146	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2-3 ekaṃ antaṃ/ la		
164	IV	147	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2 atha kho aññataro bhikkhu		
165	IV	147	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2-3 etad avoca		
166	IV	148	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2-3 etad avoca		
167 ⁽¹⁾	IV	148	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave aniccaṃ		(1) 〔経〕本167経～186経までの経数の数え方に疑義があるが、ここではテキストの番号に従う。
168	IV	149	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave dukkhaṃ		
169	IV	150	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave anattā		
170	IV	150	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave aniccaṃ		

171	IV	150	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave dukkhaṃ		
172	IV	151	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 yaṃ bhikkhave anattā		
173(1)	IV	151	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-9 cakkhuṃ bhikkhave aniccā		(1) 〔経〕 テキストに、nava (9経) とある。
174	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-5 cakkhuṃ bhikkhave dukkhaṃ		
175	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-5 cakkhuṃ bhikkhave anattā		
176(1)	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-8 rūpā bhikkhave aniccā		(1) 〔経〕 テキストに、nava (9経) とある。
177	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-8 rūpā bhikkhave dukkhā		
178	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-8 rūpā bhikkhave anattā		
179(1)	IV	152	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 cakkhuṃ bhikkhave aniccā		(1) 〔経〕 テキストに、atthārāsa (18経) とある。
180	IV	154	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 cakkhuṃ bhikkhave dukkhaṃ		
181	IV	154	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 cakkhuṃ bhikkhave anattā		
182	IV	154	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 rūpā bhikkhave aniccā		
183	IV	155	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 rūpā bhikkhave dukkhā		
184	IV	155	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3 rūpā bhikkhave anattā		
185(1)	IV	155	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-8 cakkhuṃ bhikkhave aniccaṃ		(1) 〔経〕 テキストに、tayo (3経) とある。
186(1)	IV	156	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	3-8 rūpā bhikkhave aniccā		(1) 〔経〕 撰偈にsuttantāni saṭṭhi (60経) とある。
187	IV	157	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2 samuddo samuddo ti bhikkhave		
188	IV	157	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2 samuddo samuddo ti bhikkhave		
189	IV	158	仏 G △ 無			△	△		△Rājagaha	2 yassa rāgo ca doso ca		

190	IV	159	仏 G △ 無			△	△	△Rājagaha	2-6 yassa kassaci bhikkhave		
191	IV	162	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhika	Bāṛāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
192	IV	165	弟 G ○ 無			○		Ānanda, Kāmabhū	Kosambī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
193	IV	166	弟 G ○ 無			○		Ānanda, Udāyin	Kosambī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
194	IV	168	- K × 無							1 ādittapariyāyaṃ vo bhikkhave	
195	IV	171	- K × 無							1 hatthesu bhikkhave	
196	IV	172	- K × 無							1 hatthesu bhikkhave	
197	IV	172	仏 B ○ 無	○	○	○	○	祇園精舎		1-2 evaṃ me sutāṃ ⁽¹⁾	(1) [テ] 1-2 evaṃ me sutāṃ/ ekaṃ samayaṃ Bhagavā Sāvattiyaṃ/ pa/とある。
198	IV	175	仏 B △ 無	△	△	△	△	△祇園精舎		3 tīhi bhikkhave	
199	IV	177	仏 B △ 無	△	△	△	△	△祇園精舎		3 bhūtapubbaṃ bhikkhave	
200	IV	179	仏 G ○ 無			○	○	Kosambī		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
201	IV	181	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Kimbilā		1 evaṃ me sutāṃ	
202	IV	182	仏 G ○ 有			○	○	Kapilavatthu		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○(1)
203	IV	188	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 yato kho bhikkhave bhikkhu	(1) [結] 比丘らが世尊の是認された目連の所説を歡喜する。
204	IV	191	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		2 atha kho aññataro bhikkhu	
205	IV	195	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 yassa kassaci bhikkhave	
206	IV	198	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 seyyathāpi bhikkhave	
207	IV	201	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 seyyathāpi bhikkhave	
36 受相応											
1	IV	204	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 tisso imā bhikkhave	
2	IV	204	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 tisso imā bhikkhave	
3	IV	205	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 tisso imā bhikkhave	
4	IV	206	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 assutavā bhikkhave	
5	IV	207	仏 G △ 無			△	△	△Kapilavatthu		3 tisso imā bhikkhave	

6	IV	207	仏G△無			△	△		△Kapilavatthu	3 assutavā bhikkhave		
7	IV	210	仏G○無			○	○		重閣講堂	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
8	IV	213	仏G○無			○	○		重閣講堂	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
9	IV	214	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 tisso imā bhikkhave		
10	IV	215	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 tisso imā bhikkhave		
11	IV	216	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho aññataro bhikkhu		
12	IV	218	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 seyyathāpi bhikkhave		
13	IV	219	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 seyyathāpi bhikkhave		
14	IV	219	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 seyyathāpi bhikkhave		
15	IV	219	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho āyasmā Ānando		
16	IV	221	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho āyasmā Ānando		
17	IV	221	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho sambahulā bhikkhū		
18	IV	222	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho sambahulā bhikkhū		
19	IV	223	仏G△無			△	△		△重閣講堂	2 atha kho Pañcakaṅgo thapati		
20	IV	228	仏G△無			△	△		△重閣講堂	3 dve pi mayā bhikkhave		
21	IV	230	仏G○無			○	○		竹林精舎	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
22	IV	231	仏G△無			△	△		△竹林精舎	2 aṭṭhasatapariyāyaṃ vo bhikkhave		
23	IV	232	仏G△無			△	△		△竹林精舎	2 atha kho aññataro bhikkhu		
24	IV	233	仏G△無			△	△		△竹林精舎	2 pubbe me bhikkhave sambodhā		
25	IV	234	仏G△無			△	△		△竹林精舎	2 atha kho sambahulā bhikkhū		
26	IV	234	仏G△無			△	△		△竹林精舎	3 tisso imā bhikkhave		
27	IV	235	仏G△無			△	△		△竹林精舎	3 tisso imā bhikkhave		

28	IV	235	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		3 ye hi keci bhikkhave		
29	IV	235	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		3 tisso imā bhikkhave		
37 女人相応													
1	IV	238	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcahi bhikkhave		
2	IV	238	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcahi bhikkhave		
3	IV	239	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
4	IV	240	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 tihi bhikkhave		
5~14	IV	240	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 atha kho āyasmā Anuruddha ⁽¹⁾		(1) [テ] 5経の前にある。
15~24	IV	243	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		[品冒頭] 2 atha kho āyasmā Anuruddha		
25	IV	246	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
26	IV	246	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
27	IV	246	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
28	IV	246	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 ekena ca kho bhikkhave		
29	IV	247	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
30	IV	247	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
31	IV	248	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
32	IV	249	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcimāni bhikkhave		
33	IV	250	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcahi bhikkhave		
34	IV	250	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎		2 pañcahi bhikkhave		
38 閻浮車相 応													
1	IV	251	弟 G ○ 無			○		Sāriputta	Nālakagāmaka		1 ekaṃ समयam āyasmā		
2	IV	252	弟 G △ 無			△		△Sāriputta	△Nālakagāmaka		3 arahattam arahattan ti āvuso Sāriputta		
3	IV	252	弟 G △ 無			△		△Sāriputta	△Nālakagāmaka		3 ke nu kho āvuso Sāriputta		
4	IV	253	弟 G △ 無			△		△Sāriputta	△Nālakagāmaka		3 kim atthi yam āvuso Sāriputta		
5	IV	254	弟 G △ 無			△		△Sāriputta	△Nālakagāmaka		3 assāsapatto assāsapatto ti āvuso Sāriputta vuccati		

6	IV	254	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 pramassāsapatto paramassāsapatto ti āvuso Sāriputta vuccati		
7	IV	255	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 vedanā vedanā ti āvuso Sāriputta vuccati		
8	IV	256	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 āsavo āsavo ti āvuso Sāriputta vuccati		
9	IV	256	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 avijjā avijjā ti āvuso Sāriputta vuccati		
10	IV	257	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 taṇhā taṇhā ti āvuso Sāriputta vuccati		
11	IV	257	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 ogho ogho ti āvuso Sāriputta vuccati		
12	IV	258	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 upādānam upādānan ti āvuso Sāriputta vuccati		
13	IV	258	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 bhavo bhavo ti āvuso Sāriputta vuccati		
14	IV	259	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 dukkhaṃ dukkhan ti āvuso Sāriputta vuccati		
15	IV	259	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 sakkāya sakkāyo ti āvuso Sāriputta vuccati		
16	IV	260	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Nālakagāmaka	3 kiṃ nu kho āvuso Sāriputta		
39 沙門出家 相応											
1	IV	261	弟 G ○ 無			○	Sāriputta	Ukkacelā (1)	1 ekaṃ samayam āyasmā		(1) 〔処〕 テキストにはUkkacelāとある。
2~15	IV	262	弟 G ○ 無			○	Sāriputta	Ukkacelā	pe (上記の閻浮車相応の 涅槃~己身まで)		
16	IV	262	弟 G △ 無			△	△Sāriputta	△Ukkacelā	3 kiṃ nu āvuso Sāriputta		
40 目鍵連相 応											
1	IV	262	弟 G ○ 無			○	Mahāmoggallāna	祇園精舎	1 ekaṃ samayam āyasmā		

2	IV	263	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 dutiyaṃ jhānaṃ dutiyaṃ jhānaṃ ti vuccati		
3	IV	264	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 tatiyaṃ jhānaṃ tatiyaṃ jhānaṃ ti vuccati		
4	IV	265	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 catutthaṃ jhānaṃ catut-thaṃ jhānaṃ ti vuccati		
5	IV	266	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 ākāsaṇācāyatanam- ākāsaṇācāyatanam ti vuccati		
6	IV	266	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 viññāṇācāyatanam viññāṇācāyatanam ti vuccati		
7	IV	267	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 ākiñcaññāyatanam ākiñcaññāyatanam ti vuccati		
8	IV	268	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 nevaṣaṇṇānāsaṇ- ṇāyatanam nevaṣaṇ- ṇānāsaṇṇāyatanam ti vuccati		
9	IV	268	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	3 animitto cetosamādhi animitto cetosamādhi ti vuccati		
10	IV	269	弟 G ○ 無			○	Mahāmogallāna	祇園精舎	1 ekaṃ samayam āyasmā		
11	IV	280	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	1-63 atha kho Candano devaputto		
12	IV	280	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	1-63 atha kho Suyāmo devaputto		
13	IV	280	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	1-63 atha kho Santusito devaputto		
14	IV	280	弟 G △ 無			△	△Mahāmogallāna	△祇園精舎	1-63 atha kho Sunimmitto devaputto		

15(1)	IV	280	弟 G △ 無			△		△Mahāmogallāna	△祇園精舎	1-63 atha kho Vasavatti devaputto	(1)〔経〕テキストの経末に「これら中略の五天も、諸天の主・帝釈の如く詳説されるべし、と (ime pañcapeyyālā yathā Sakko devānam indo tathā vittharetabbāni ti)」とある。
41 質多相応											
1	IV	281	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam sambahulā therā bhikkhū	
2	IV	283	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam sambahulā therā bhikkhū	
3	IV	285	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam sambahulā therā bhikkhū	
4	IV	288	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam sambahulā therā bhikkhū	
5	IV	291	弟 G ○ 無			○		Kāmabhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam āyasmā	
6	IV	293	弟 G ○ 無			○		Kāmabhū	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam āyasmā	
7	IV	295	弟 G ○ 無			○		Godatta	Macchikāsaṇḍa	1 ekaṃ samayam āyasmā	
8(1)	IV	297	- J △ 無						△Macchikāsaṇḍa	2 tena kho pana samayena Nigaṇṭho Nātaputto	(1)〔経〕主は特定できないので、処だけを復元処理した。以下9経、10経も同。
9	IV	300	- J △ 無						△Macchikāsaṇḍa	2 tena kho pana samayena Acela Kassapo	
10	IV	302	- J △ 無						△Macchikāsaṇḍa	2 tena kho pana samayena Citto gahapati	
42 聚落主相応											
1	IV	305	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1 ekaṃ samayam Bhagavā	

2	IV	306	仏G○無			○	○		竹林精舎		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
3	IV	308	仏G△無			△	△		△竹林精舎		2 atha kho yodhājīvo gāmaṇi		
4	IV	310	仏G△無			△	△		△竹林精舎		2-8 atha kho hatthāroho gāmaṇi		
5	IV	310	仏G△無			△	△		△竹林精舎		2 atha kho assāroha gāmaṇi		
6	IV	311	仏G○無			○	○		Nālandā		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
7	IV	314	仏G○無			○	○		Nālandā		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
8	IV	317	仏G○無			○	○		Nālandā		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
9	IV	322	仏F○無			○	○		Nālandā	○(1)	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔衆〕大比丘サンガ
10	IV	325	仏G○無			○	○		竹林精舎		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
11	IV	327	仏G○無			○	○		Uruvelakappa		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
12	IV	330	仏G△無			△	△		△Uruvelakappa		2 atha kho Rāsiyo gāmaṇi		
13	IV	340	仏G○無			○	○		Uttara		1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
43 無為相応													
1	IV	359	- K × 無								1 asaṅkhataṅ ca bhikkhave		
2	IV	360	- K × 無								1 asaṅkhataṃ ca vo bhikkhave		
3~6	IV	360	- K × 無								3 katamo ca bhikkhave		
7	IV	360	- K × 無								3 cattāroiddhipādā, ayaṃ vuccati bhikkhave		
8~11	IV	361	- K × 無								3 katamo ca bhikkhave		
12	IV	362	- K × 無								1 asaṅkhataṃ ca vo bhikkhave		

13(1)	IV	368	- K × 無							1 antañ ca vo bhikkhave	(1) 〔経〕本13経末に「以下無為[即ち12経]と同じように詳説されるべきなり (yathā asaṅkhatam tathā vitthāretabbaṃ)」とある。
14~43	IV	369	- K × 無							1 anāsavaṅ ca vo bhikkhave	
44(1)	IV	373	- K × 無							1 prāyanaṅ ca vo bhikkhave	(1) 〔経〕本経末に「無為[即ち上記の12経]と同じように詳説されるべきなり (yathā asaṅ-khatam tathā vitthāretab-baṃ)」とある。
44 無記説相 応											
1	IV	374	仏 G ○ 有			○	○		祇園精舎	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○(1) (1) 〔結〕波斯匿王がケーマー (Khemā) 比丘尼の所説に歓喜した後、世尊のもと訪れて世尊の所説に歓喜する。
2	IV	380	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1 ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
3	IV	384	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhika	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
4	IV	386	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhika	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
5	IV	387	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhika	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
6	IV	388	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahākoṭṭhika	Bārāṇasī	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
7	IV	391	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Mahākoṭṭhika	△Bārāṇasī	2 atha kho Vacchagotto paribbājako	
8	IV	395	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Mahākoṭṭhika	△Bārāṇasī	2 atha kho Vacchagotto paribbājako	
9	IV	398	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Mahākoṭṭhika	△Bārāṇasī	2 atha kho Vacchagotto paribbājako	
10	IV	400	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Mahākoṭṭhika	△Bārāṇasī	2 atha kho Vacchagotto paribbājako	
11	IV	401	弟 G ○ 無			○		Sabhiya-kaccāna	Ñātika	1 ekaṃ samayaṃ āyasmā	
大篇											
45 道相応											

1	V	1	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
2	V	2	仏B○無	○	○	○	○		Sakkara	1. evam me sutam		
3	V	3	- J○無						Sāvattihinidānaṃ	1. Sāvattihinidānaṃ		
4	V	4	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
5	V	6	- J○無						Sāvattihinidānaṃ	1. Sāvattihinidānaṃ		
6	V	7	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
7	V	8	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
8	V	8	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
9	V	10	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
10	V	11	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
11	V	12	- J○無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
12	V	13	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
13	V	14	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
14	V	14	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
15	V	14	- J○無						Sāvatti	1. Sāvatti		
16	V	15	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
17	V	15	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
18	V	15	弟B○無	○	○	○		Ānanda, Bhadda	Pāṭaliputta	1. evam me sutam		
19	V	16	- J○無						Pāṭaliputtanidānaṃ	1. 2. Pāṭaliputtanidānaṃ		
20	V	16	- J○無						Pāṭaliputtanidānaṃ	1. 2. Pāṭaliputtanidānaṃ		
21	V	17	- J○無						Sāvattihinidānaṃ	1. 2. Sāvattihinidānaṃ		
22	V	18	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
23	V	18	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
24	V	18	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
25	V	19	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
26	V	20	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
27	V	20	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
28	V	21	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
29	V	21	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
30	V	22	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
31	V	23	- J○無						Sāvattihinidānaṃ	1. 2. Sāvattihinidānaṃ		
32	V	23	- J○無						Sāvatti	1. 2. Sāvatti		

33	V	23	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
34	V	24	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
35	V	25	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
36	V	25	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
37	V	25	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
38	V	26	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
39	V	26	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
40	V	26	- J ○ 無					Sāvatti	1. 2. Sāvatti		
41	V	27	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	1. 2. Sāvattihinidāṇaṃ		
42~47(1)	V	28	- J △ 無					△Sāvattihinidāṇaṃ	2 sace vo bhikkave		(1) 〔経〕 43経（随眠）以下47経（智）まで一部のフレーズのみ。
48(1)	V	29	- J △ 無					△Sāvattihinidāṇaṃ	2 sace vo bhikkave		(1) 〔経〕 PTSテキスト p.29の脚注1によれば、写本B2にはSāvattiとある。
49~62(1)	V	29	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	[品冒頭] sabba Sāvattihinidāṇaṃ		(1) 〔経〕 日輪広説 (suriyassa peyyālo) の冒頭に「すべて舎衛城因縁(sabba Sāvattihinidāṇaṃ)」とある。
63~69(1)	V	32	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	[品冒頭] 1. Sāvattihinidāṇaṃ		(1) 〔経〕 一法広説 (ekadhamapeyyālo) I の冒頭に「1. 舎衛城因縁 (Sāvattihinidāṇaṃ)」とある。
70	V	34	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti		
71~76(1)	V	34	- J △ 無					△Sāvatti	2. ° yad idaṃ		(1) 〔経〕 71経（戒）以下76経（如理）までフレーズのみ。
77(1)	V	35	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	[品冒頭] 1. Sāvattihinidāṇaṃ		(1) 〔経〕 一法広説 (ekadhamapeyyālo) II の冒頭に「1. 舎衛城因縁 (Sāvattihinidāṇaṃ)」とある。
78~83(1)	V	36	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	2. nāhaṃ bhikkhave		(1) 〔経〕 78経（戒）以下83（如理）経までフレーズのみ。
84	V	37	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	2. nāhaṃ bhikkhave		
85~90(1)	V	37	- J ○ 無					Sāvattihinidāṇaṃ	2. nāhaṃ bhikkhave		(1) 〔経〕 85経（戒）以下90経（如理）まではフレーズのみ。
91(1)	V	38	- J ○ 無					Sāvattihinidāṃ	[品冒頭] 1. Sāvattihinidāṇaṃ		(1) 〔経〕 恒河広説 (gaṅgāpeyyālo) 冒頭に「1. 舎衛城因縁 (Sāvattihinidāṇaṃ)」とある。
92~102	V	38	- J ○ 無					Sāvattihinidāṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
103~114(1)	V	40	- J ○ 無					Sāvattihinidāṃ	3 idha° ° bhikkhu		(1) 〔経〕 103経~113経は経番のみ。
115~126(1)	V	41	- J ○ 無					Sāvattihinidāṃ	3 idha° ° bhikkhu		(1) 〔経〕 115経~125経は経番のみ。

127~138(1)	V	41	- J○無						Sāvattthinidāṃ		3 idha° ° bhikkhu		(1) 〔経〕 127経~137経は経番のみ。
139(1)	V	41	- J○無						Sāvattthinidāṃ		1. Sāvattthinidāṃ		(1) 〔経〕 本経末尾に「更に三経を広説すべし (uparitiṇṇaṃ suttānaṃ vitthāretabanti)」とあって、食欲調伏、不死〔究竟〕、涅槃〔趣向〕と続くが、経の番号はPTSテキストに倣って139経の一経に含めて処理する。
140	V	43	- J○無						Sāvatti		1. Sāvathi		
141(1)	V	43	- J○無						Sāvatti		1. Sāvathi		(1) 〔経〕 末尾に「上の経の如く広説すべし (yathā heṭṭhimasuttantaṃ evaṃ vitthāretabbaṃ)」とある。
142	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
143	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
144	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
145	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
146	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
147	V	44	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
148	V	45	- J○無						Sāvatti		2. seyyathāpi bhikkhave		
149(1)	V	45	- J○無						Sāvattthinidāṃ		1. Sāvattthinidāṃ (品冒頭) 2. seyyathāpi bhikkhave		(1) 〔経〕 終末に「前の恒河広説に説けるが如く経を円満して説くべし (paragaṅgā-peyyālivannaṇiyato paripuṇṇasuttaṃ ti vitthāramaggī)」とある。
150	V	46	- J○無						Sāvattthinidāṃ		2. seyyathāpi bhikkhave		
151	V	47	- J○無						Sāvattthinidāṃ		2. himavantaṃ bhikkhave		
152	V	47	- J○無						Sāvattthinidāṃ		2. seyyathāpi bhikkhave		
153	V	48	- J○無						Sāvattthinidāṃ		2. seyyathāpi bhikkhave		
154	V	48	- J○無						Sāvattthinidāṃ		2. seyyathāpi bhikkhave		

155	V	49	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
156	V	50	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
157	V	50	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
158	V	51	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
159	V	51	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
160	V	53	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		
161 ⁽¹⁾	V	54	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	[品冒頭] 1. Sāvattṇidānaṃ 2. tisso imā bhikkhave esanā		
162	V	56	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tisso imā bhikkhave		
163	V	56	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tayo imā bhikkhave		
164	V	56	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tayo imā bhikkhave		
165	V	56	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tisso imā bhikkhave		
166	V	57	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tayo imā bhikkhave		
167	V	57	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	2-33 tiṇimāni bhikkhave		
168	V	57	- J ○ 無						Sāvattṇi	1. Sāvattṇi		
169	V	57	- J ○ 無						Sāvattṇi	1. Sāvattṇi		
170-① ⁽¹⁾	V	57	- J ○ 無						Sāvattṇi	1. Sāvattṇi		(1) [経] 撰偈によれば2経となるので、PTSテキストの番号170-①、170-②とする。
170-②	V	58	- J △ 無						△Sāvattṇi	4-33 tisso imā bhikkhave		
171	V	59	- J ○ 無						Sāvattṇidānaṃ	[品冒頭] 1. Sāvattṇidānaṃ 2. cattāro me bhikkhave oghā		

172~180	V	59	- J ○ 無						Sāvattṇinidānaṃ		2-33 cattāro me bhikkhave		
46 覚支相応													
1	V	63	- J ○ 無						Sāvattṇi		1. 2. Sāvattṇi		
2	V	64	- J ○ 無						Sāvattṇi		1. 2. Sāvattṇi		
3	V	67	- J △ 無						△Sāvattṇi		2 ye te bhikkhave		
4	V	70	弟 G ○ 無				○	Sāriputta	祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
5(1)	V	72	- K × 無								2. atha kho aññataro bhikkhu		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
6	V	73	仏 G ○ 無				○ ○		Sāketa		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
7	V	75	仏 G △ 無				△ △		△Sāketa		3. seyathāpi bhikkhave		
8	V	76	弟 G ○ 無				○	Upavāṇa, Sāriputta	Kosambī		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
9(1)	V	77	- K × 無								2. sattime bhikkhave		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
10(1)	V	77	- K × 無								2. sattime bhikkhave		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
11(1)	V	78	- K × 無								2. seyathāpi bhikkhave		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
12(1)	V	78	- K × 無								2. suriyassa bhikkhave		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
13(1)	V	79	- K × 無								2. suriyassa bhikkhave		(1) 〔経〕前経の1が省略されているとすると、経の内容に矛盾が出るので不明とした。
14	V	79	仏 B ○ 有	○	○	○	○		竹林精舎		1. evaṃ me sutaṃ	○(1)	(1) 〔結〕世尊の所説に歡喜して病が癒える。
15	V	80	仏 G ○ 有				○ ○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○(1)	(1) 〔結〕世尊の所説に歡喜して病が癒える。
16	V	81	仏 G ○ 無				○ ○		竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
17	V	81	仏 G △ 無				△ △		△竹林精舎		2. sattime bhikkhave		
18	V	82	仏 G △ 無				△ △		△竹林精舎		2. yesaṃ kesañci bhikkhave		

19	V	82	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. sattime bhikkhave		
20	V	82	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. sattime bhikkhave		
21	V	83	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. atha kho aññataro bhikkhu		
22	V	83	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. satta vo bhikkhave		
23	V	84	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. kāmarāgaṭṭhāniyaṃ- aṃ bhikkhave		
24	V	84	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. ayoniso bhikkhave		
25	V	85	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. satta vo bhikkhave		
26	V	86	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. yo bhikkhave		
27	V	87	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. yo bhikkhave		
28	V	87	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. nibbedhabhāgiyaṃ vo bhikkhave		
29	V	88	仏 G △ 無			△	△		△竹林精舎	2. nāhaṃ bhikkhave		
30	V	89	仏 G ○ 無			○	○		Setaka	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
31 ~40	V	91	仏 G △ 無			△	△		△Setaka	2. ye keci bhikkhave		
41	V	98	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ		
42	V	99	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. rañño bhikkhave		
43	V	99	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. mārasenapama- danaṃ vo bhikkhave		
44	V	99	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. atha kho aññataro bhikkhu		
45	V	100	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	3. paññavā aneḷamūgo paññavā aneḷamūgo ti bhante vuccati		
46	V	100	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	3. daliddo daliddo ti bhante vuccati		
47	V	100	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	3. adaliddo adaliddo ti bhante vuccati		
48	V	101	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. ādiccassa bhikkhave		
49	V	101	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. ajjhattikaṃ bhikkhave		
50	V	102	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. bāhiraṃ bhikkhave		

51	V	102	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	[品冒頭] Sāvattī nidānaṃ 2. pañcannaṃ ca bhikkhave		
52	V	108	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	2 atha kho sambahulā bhikkhū pubbaṅha- samayaṃ		
53	V	112	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	2 atha kho sambahulā bhikkhū pubbaṅha- samayaṃ		
54	V	115	仏 G ○ 無			○	○		Haliddavasana	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
55	V	121	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
56	V	126	仏 B ○ 無	○	○	○	○		靈鷲山	1. evam me suttaṃ		
57	V	129	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
58~66(1)	V	131	- J △ 無						△Sāvatti	2. puḷavakasaññā bhikkhave		(1) 〔経〕 58経以下66経までフレーズ（嗔 想～入出息念）のみ。
67~76(1)	V	132	- J △ 無						△Sāvatti	2. asubhasaññā bhikkhave		(1) 〔経〕 67経～76経までフレーズ（不浄 想～滅想）のみ。
77~88(1)	V	134	- J ○ 無						Sāvatti	2. seyyathā pi bhikkhave		(1) 〔経〕 78経～88経まで経番のみ、テキ ストの末尾には「乃至尋覓品まで広説すべし (yāva esanāpāli vitthāretabbāti)」とある。
89~98(1)	V	135	- J ○ 無						Sāvatti	2-12 yāvataṃ bhikkhave		(1) 〔経〕 89経～98経については、テキ ストのVagga末尾に「不放逸品に於て、覚支相 応の覚支によりて [広説すべし] (appamādvagge bojjhaṅgasamuttassa bojjhaṅgavasena)」とある。
99~100(1)	V	135	- J ○ 無						Sāvatti	seyyathāpi bhikkhave		(1) 〔経〕 99経、100経については、テキ ストのVagga末尾に「力所作品に於て、覚支相 応の覚支によりて広説すべし (balakaraṇiyavagge bojjhaṅgasamut- tassa bojjhaṅgavasena vitthāretabbāṃ)」とあ る。したがって99経～110経となるべきと ころであるが、取りあえずPTSテキストの番号 に従う。
101(1)~110	V	136	- J ○ 無						Sāvatti	tisso imā bhikkhave		(1) 〔経〕 経番が111経となるべきところ であるが、取りあえず以下PTSテキストの経番 に従う。
111~120	V	136	- J ○ 無						Sāvattinidānaṃ	1. Sāvattinidānaṃ		

121~132(1)	V	137	- J △ 無						△Sāvattthinidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave	(1) 〔経〕 経末に「是の如く欲食究尽を乃至尋覓品まで広説すべし (evam rāgavinayapariyosānaṃ yāva esāpāli vitthāretabbaṃ)」とある。また摂偈の後には「覚支相應の恒河広説をば欲食を用いて広説すべし (bojjhaṅgasamyuttassa gaṅgāpeyyālaṃ rāgavasena vitthāretabbaṃ)」とある。
133~142(1)	V	138	- J △ 無						△Sāvattthinidānaṃ		(1) 〔経〕 摂偈の後に「覚支相應の不放逸品をば欲食を用いて広説すべし (bojjhaṅgasamyuttassa appamādavaggo rāgavasena vitthāretabbo, pa,)」とある。
143~154(1)	V	138	- J △ 無						△Sāvattthinidānaṃ		(1) 〔経〕 摂偈の後に「覚支相應の力所作品をば欲食を用いて広説すべし (bojjhaṅgasamyuttassa balakaraṇiyavaggo rāgavasena vitthāretabbo)」とある。
155~165(1)	V	139	- J △ 無						△Sāvattthinidānaṃ		(1) 〔経〕 PTSテキストは経番154~164とするが、数え間違いであるので、南伝大蔵経の経番にならう。なお摂偈の後に「覚支相應の尋覓品をば欲食調伏を用いて広説すべし (bojjhaṅgasamyuttassa esanāvaggo rāgavinayavasena vitthārānaki)」とある。
166~175(1)	V	139	- J ○ 無						Sāvattthinidānaṃ	1. Sāvattthinidānaṃ	(1) 〔経〕 摂偈の後に「道相應を広説すべき所をもって覚支相應をも広説すべし (yadapi maggasamyuttaṃ vitthāretabbaṃ, tadapi bojjhaṅgasamyuttaṃ vitthāretabbaṃ, bojjhaṅgasamyuttaṃ vitthāretabbaṃ)」とある。PTSテキスト経番末が175とあるが、途中101が110に訂正しなければならないので、経番末は185となる。
47 念処相應											
1	V	141	仏 B ○ 有	○	○	○	○		Vesāli	1. evam me suttaṃ	○
2	V	142	仏 G ○ 無			○	○		Vesāli	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
3	V	142	仏 G ○ 有			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○(1)
4	V	144	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Sālā	1. evam me suttaṃ	
5	V	145	- J ○ 無						Sāvatti	1-2. Sāvatti	
6	V	146	- J △ 無						△Sāvatti	3. bhūtapubbaṃ bhikkhave	

7	V	148	- J △ 無						△Sāvatti		3. atthi bhikkhave		
8	V	149	- J △ 無						△Sāvatti		3. seyathāpi bhikkhave		
9	V	152	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Beluvagāmaka		1. evam me sutam		
10	V	154	- J ○ 有						Sāvatti		1. Sāvatti	○	
11	V	158	- J ○ 無						Sāvatti-nidānaṃ		1. Sāvatti-nidānaṃ		
12	V	159	仏 G ○ 無			○	○		Nālandā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
13	V	161	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
14	V	163	仏 F ○ 無			◎(1)	○		Ukkacelā	○(2)	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] 舍利弗・目連の般涅槃後間もなく (acira-parinibbutesu Sāriputta-Moggallānesu) (2) [衆] 大比丘サンガ
15	V	165	- J ○ 有						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ	○(1)	(1) [結] 世尊の所説に歡喜、後に阿羅漢の一人となる。
16	V	166	- J ○ 有						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ	○(1)	(1) [結] 世尊の所説に歡喜、後に阿羅漢の一人となる。
17	V	166	- J ○ 無						Sāvatti		1. Sāvatti		
18	V	167	仏 G ○ 無			◎(1)	○		Uruvelā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
19	V	168	仏 G ○ 無			○	○		Sedaka		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
20	V	169	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Sedaka		1. evam me sutam		
21	V	171	弟 B ○ 無	○	○	○		Ānanda, Bhadda	Pāṭaliputta		1. evam me sutam		
22	V	172	- J ○ 無						Pāṭaliputta		1. taṃ yeva nidānaṃ		
23	V	173	- J ○ 無						Pāṭaliputta		1-2. Pāṭaliputte viharanti Kukkuṭārāme		
24	V	173	- J ○ 無						Sāvattinidānaṃ		1. Sāvattinidānaṃ		
25	V	174	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎		1. evam me sutam		
26	V	174	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Mahāmoggallāna, Anuruddha	Sāketa		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
27	V	175	- J ○ 無						Sāketa		1-2. taṃ yeva nidānaṃ		
28	V	175	- J ○ 無						Sāketa		1-2. taṃ yeva nidānaṃ		
29	V	176	弟 G ○ 無			○		Ānanda	竹林精舎		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
30	V	178	- J ○ 無						竹林精舎		1. taṃ yeva nidānaṃ		

31	V	178	- J ○ 無					Sāvatti nidānaṃ	1-2. Sāvatti nidānaṃ		
32	V	179	- J ○ 無					Sāvatti	1-2. Sāvattiyaṃ		
33	V	179	- J △ 無					△Sāvatti	3. yesaṃ kesañci bhikkhave		
34	V	180	- J ○ 無					Sāvatti	1-2. Sāvattiyaṃ		
35	V	180	- J ○ 無					Sāvatti	1-2. Sāvatti		
36	V	181	- J ○ 無					Sāvatti	1-2. Sāvattiyaṃ		
37	V	181	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
38	V	182	- J △ 無					△Sāvatti	2. cattāro me bhikkhave		
39	V	182	- J △ 無					△Sāvatti	2. cattāro me bhikkhave		
40	V	183	- J △ 無					△Sāvatti	2. satipaṭṭhānānaṃ ca vo bhikkhave		
41	V	184	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti		
42	V	184	- J △ 無					△Sāvatti	2. catunnaṃ bhikkhave		
43	V	185	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti		
44	V	186	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
45	V	186	- J △ 無					△Sāvatti	2. kusalarāsī ti bhikkhave		
46	V	187	- J △ 有					△Sāvatti	2. atha kho aññataro bhikkhu	○(1)	(1) 〔結〕世尊の所説に欢喜し、後に阿羅漢の一人となる。
47	V	188	- J △ 有					△Sāvatti	2. atha kho aññataro bhikkhu	○(1)	(1) 〔結〕世尊の所説に欢喜し、後に阿羅漢の一人となる。
48	V	189	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
49	V	189	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvattiyaṃ		
50	V	189	- J △ 無					△Sāvatti	2. tayo bhikkhave		
51~62(1)	V	190	- J ○ 無					Sāvattinidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave		(1) 〔経〕Vagga末に「恒河広説をば念処を用いて広説すべし (gaṅgapeyyāla satipaṭṭhānavasena vitthāretabbaṃ)」とある。なおVagga末には道相應のように念相應を広説すべしともあるので、道相應の処 Sāvattinidānaṃをここでは採る。
63~72(1)	V	191	- J ○ 無					Sāvattinidānaṃ			(1) 〔経〕経番のみで、品末に「念処を用いて不放逸品に念処品を広説すべし (sati-paṭṭhānavasena appamādavaggo satipaṭṭhāna-vitthāretabbo vaggo)」とある。

73~82(1)	V	191	- J ○ 無						Sāvattṇinidānaṃ			(1) 〔経〕 経番のみで、品末に「念処を用いて品を広説すべし (satipaṭṭhānavasena vitthāretabbo vaggo) とある。
83~93(1)	V	191	- J ○ 無						Sāvattṇinidānaṃ			(1) 〔経〕 経番のみで、品末に「念処を用いて品を広説すべし (satipaṭṭhānavasena vitthāretabbo - vaggo) とある。
94~102(1)	V	191	- J ○ 無						Sāvattṇinidānaṃ			(1) 〔経〕 経番のみであり、テキストには93~102とあるが、94~102と経番を訂正。
103(1)	V	191	- J ○ 無						Sāvattṇinidānaṃ			(1) 〔経〕 Vaggaの摂偈の後に「念処を用いて品を広説すべし (satipaṭṭhānavasena vitthāretuvaggo) 」と。また「道相應を広説せるが如く念相應を広説すべし (yathā maggasamyuttam vitthāritam, evaṃ satipaṭṭhānasamyuttam vitthāretabbam) 」ともある。
48 根相応												
1	V	193	- J ○ 無						Sāvatti	1-2. Sāvatti		
2	V	193	- J △ 無						△Sāvatti	3. pañcimāni bhikkhave		
3	V	193	- J △ 無						△Sāvatti	3. pañcimāni bhikkhave		
4	V	194	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
5	V	194	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
6	V	194	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
7	V	195	- J △ 無						△Sāvatti	3. ye hi keci bhikkhave		
8	V	196	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
9	V	196	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
10	V	197	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
11~18	V	199	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
19	V	202	- J △ 無						△Sāvatti	2. atha kho aññataro bhikkhu		
20	V	203	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
21	V	203	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
22	V	204	- J △ 無						△Sāvatti	2. tīṇimāni bhikkhave		
23	V	204	- J △ 無						△Sāvatti	2. tīṇimāni bhikkhave		
24	V	204	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		
25	V	205	- J △ 無						△Sāvatti	2. chayimāni bhikkhave		
26	V	205	- J △ 無						△Sāvatti	2. chayimāni bhikkhave		
27	V	205	- J △ 無						△Sāvatti	2. chayimāni bhikkhave		
28	V	205	- J △ 無						△Sāvatti	2. chayimāni bhikkhave		

29	V	206	- J △ 無					△Sāvatti	2. chayimāni bhikkhave	
30	V	206	- J △ 無					△Sāvatti	3. yehi keci bhikkhave	
31~40	V	207	- J △ 無					△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave	
41	V	216	仏 B ○ 無	○	○	○	○	鹿母講堂	1. evam me sutam	
42	V	217	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti	
43	V	219	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Sāketa	1. evam me sutam	
44	V	220	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Savatti	1. evam me sutam	
45	V	222	仏 B ○ 無	○	○	○	○	鹿母講堂	1. evam me sutam	
46	V	222	- J ○ 無					鹿母講堂	1. tam yeva nidānam	
47	V	223	- J ○ 無					鹿母講堂	1. tam yeva nidānam	
48	V	223	- J ○ 無					鹿母講堂	1. tam yeva nidānam	
49	V	224	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Kosambī	1. evam me sutam	
50	V	225	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Āpaṇa	1. evam me sutam	
51	V	227	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Sālā	1. evam me sutam	
52	V	228	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Uruvelakappa	1. evam me sutam	
53	V	229	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Kosambī	1. evam me sutam	
54	V	231	仏 B △ 無	△	△	△	△	△Kosambī	2. seyyathāpi bhikkhave	
55	V	231	仏 B △ 無	△	△	△	△	△Kosambī	2. seyyathāpi bhikkhave	
56	V	232	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti	
57	V	232	仏 B ○ 無	○	○	◎ ⁽¹⁾	○	Uruvelā	1. evam me sutam	(1) [時] (世尊が) 初めて成道された時 (paṭhamābhisambuddho)
58	V	233	仏 B ○ 無	○	○	○	○	靈鷲山	1. evam me sutam	
59	V	235	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti	
60	V	235	- J ○ 無					Sāvatti	1-2. Sāvatti	
61	V	236	- J ○ 無					Sāvatti	1. Sāvatti	
62 ⁽¹⁾	V	236	- J △ 無					△Sāvatti	2. ° anusayamaug-ghātāya saṃvattanti	(1) [経] 本62経(随眠)と63経(遍知)は一部のフレーズのみをあげる。
63	V	236	- J △ 無					△Sāvatti	2. ° addhānapariññāya saṃvattanti	
64	V	236	- J △ 無					△Sāvatti	2. ° āsavānaṃ khayāya saṃvattanti	
65	V	236	- J △ 無					△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave	
66	V	237	- J △ 無					△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave	

67	V	237	- J △ 無						△Sāvatti	2. syyathāpi bhikkhave	
68	V	238	- J △ 無						△Sāvatti	2. syyathāpi bhikkhave	
69	V	238	- J △ 無						△Sāvatti	2. syyathāpi bhikkhave	
70	V	238	- J △ 無						△Sāvatti	2. syyathāpi bhikkhave	
71~82(1)	V	239	- J △ 無						△Sāvatti	2. syyathāpi bhikkhave	(1) 〔経〕 経末尾に「根相応に於てもまた道相応におけるが如し (yathā maggasam-yutte evaṃ bhavati indriyasamyutte)」と。また撰偈の後に「恒河広説をば根によりて広説すべし (gaṅgāpeyyali indriyavasena vutthāretabbā, vaggo)」とある。なお72経以下は経番のみ。
83~92(1)	V	240	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 Vagga末尾に「遠離依止の広説に於て根によって広説する不放逸品 (appamādavaggo indriyavasena vutthārena vivekanissitakesu vitthāranake)」とある。なお83経以下92経まで経番のみ。
93~104(1)	V	240	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 Vagga末尾に「遠離依止に於て広説すべき品 [即ち] 根相応の力作所品 (balakaraṇiyavaggo indriyasamyuttassa vivekanissitakesu vitthāretabbo vaggo)」とある。なお93経以下104経まで経番のみ。
105~117(1)	V	240	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 Vagga末尾に「遠離依止を広説すべき根相応の尋覓品 (esanāvaggo indriya-samyuttassa vivekanissitako vitthāranako vaggo)」とあり、経番のみ。なお経の数はPTSテキストに誤りがあるが、南伝にならってそのまま用いることにする。1経多すぎる。
118~127(1)	V	241	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 撰偈の後に「遠離依止を善く広説する根相応の暴流品 (oghavaggo indriya-samyuttassa vivekanissitako suvitthānako vaggo)」とあり、118経~127経は経番のみ。
128	V	241	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave	
129~140(1)	V	241	- J △ 無						△Sāvatti	2. seyyathāpi bhikkhave	(1) 〔経〕 撰偈後に「食欲調伏によりて根相応を広説すべし (indriyasamyuttassa rāgavinaya-vasena vitthāretabbo vaggo)」とあり、130経~140経は経番のみ。
141~150(1)	V	242	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 不放逸品で、すべて経番のみ。
151~162(1)	V	242	- J △ 無						△Sāvatti		(1) 〔経〕 力作所品で、すべて経番のみ。

163~175(1)	V	242	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 尋覓品で、すべて経番のみ。なおテキストは経数が1経多すぎるが、南伝にならう。
176~185(1)	V	242	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		(1) 〔経〕 176経~184経まで経番のみで、撰偈末に「食欲調伏によりて根相応の暴流品を広説すべし (oghavaggo indriyasamyuttassa rāgavinayavasena vitthāretabbo)」とある。
49 正勤相応												
1~12(1)	V	244	- J ○ 無						Sāvatti	1-2. Sāvatti		(1) 〔経〕 撰偈の後に「正勤相応の恒河相応をば正勤によりて広説すべし (sammappadhāna-samyuttassa gaṅgā-peyyālisammadhāna-vasena vitthāretabbā, vaggo)」とある。
13~22(1)	V	245	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「正勤によりて広説すべき不放逸品 (appamādavaggo sammappadhāna-vasena vitthāretabbo, vaggo)」とあり、すべて経番のみである。
23~34(1)	V	246	- J △ 無						△Sāvatti	2. seyyathāpi bhikkhave		(1) 〔経〕 Vagga末に「是の如く正勤によりて力所作品を広説すべし (evaṃ balakaraṇiyavaggo sammappadhānavasena vitthāretabbo)」とある。
35~44(1)	V	246	- J △ 無						△Sāvatti	2. tisso imā bhikkhave		(1) 〔経〕 Vagga末に「正勤によりて広説すべき尋覓品 (esanāvaggo sammappadhānavasena vitthāretabbo vaggo)」とある。
45~54(1)	V	247	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		(1) 〔経〕 45経~53経まで経番のみで、Vagga末に「正勤によりて暴流品を広説すべし (oghavaggo sammappadhānavasena vitthāretabbaṃ)」とある。
50 力相応												
1~12(1)	V	249	- J △ 無						△Sāvatti	2. pañcimāni bhikkhave		(1) 〔経〕 Vagga末に「力の恒河広説を力 [相応] によりて広説すべし (bala-gaṅgā-peyyalassa balavasena vitthāretabbā)」とある。
13~22(1)	V	250	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「不放逸品を力相応によりて広説すべし (appamādavaggo balasamyutta-vasena vitthāretabbo vaggo)」とあり、すべて経番のみ。
23~34(1)	V	250	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「力相応によりて広説すべし (balasamyuttavasena vitthāretabbo vaggo)」とあり、すべて経番のみ。

35~46(1)	V	250	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「力相応によりて尋 覓品を説すべし (esanāvaggo balasa- myuttavasena vitthāretabbo vaggo)」と あり、すべて経番のみ。
47~56(1)	V	251	- J △ 無						△Sāvatti		2. pañcimāni bhikkhave	(1) 〔経〕 47経~55経まで経番のみで、 Vagga末に「暴流品を力相応によりて説す べし (oghavaggo balasamyuttavasena vitthāretabbo vaggo)」とある。
57~68(1)	V	251	- J △ 無						△Sāvatti		2. pañcimāni bhikkhave	(1) 〔経〕 58経~68経まで経番のみで、 Vagga末に「恒河説を力相応の貪欲調伏に よりて説すべし (gaṅgāpeyyāla balasamyuttassa rāgavinayavasena vitthāretabbo vaggo)」とある。
69~78(1)	V	252	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「不放逸品を力相 応の貪欲調伏によりて説すべし (appamā- davaggo balasamyuttassa rāgavinaya- vasena vitthāretabbo)」とあり、すべて経番のみ。
79~90(1)	V	252	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「力所作品を力相 応の貪欲調伏によりて説すべし (bala- karaṇiyavaggo balasamyuttassa rāga- vinayavasena vitthāretabbo)」とあり、 すべて経番のみ。
91~100(1)	V	252	- J △ 無						△Sāvatti			(1) 〔経〕 Vagga末に「尋覓品を力相 応によりて説すべし (esanāvaggo balasa- myuttassa vasena vitthāretabbo vaggo)」 とあり、すべて経番のみ。
101~110(1)	V	253	- J △ 無						△Sāvatti		2. pañcimāni bhikkhave	(1) 〔経〕 Vagga末に「第十暴流品を力 相応によりて説すべし (oghavaggo bala- samyuttassa vasena vitthāretabbo vago dasamo)」とあり、101経~109経まで経 番のみである。
51 神足相応												
1	V	254	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave	
2	V	254	- J △ 無						△Sāvatti		2. yesaṃ kesaṅ ci bhikkhave	
3	V	255	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave	
4	V	255	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave	
5	V	255	- J △ 無						△Sāvatti		2. ye hi keci bhikkhave	
6	V	256	- J △ 無						△Sāvatti		2. ye hi keci bhikkhave	
7	V	257	- J △ 無						△Sāvatti		2. ye hi keci bhikkhave	

8	V	257	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
9	V	258	- J △ 無						△Sāvatti		4 ayaṃ chanda-samādhi-padhāna-saṅkhāra-samannāgato iddhipādo ti me bhikkhave		
10	V	258	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evaṃ me sutāṃ		
11	V	263	- J ○ 無						Sāvatti		1. Sāvatti		
12	V	267	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
13	V	268	- J △ 無						△Sāvatti		2. chandaṃ ce bhikkhave		
14	V	269	仏 B ○ 無	○	○	○	○		鹿母講堂		1. evaṃ me sutāṃ		
15	V	271	弟 B ○ 無	○	○	○		Ānanda	Kosambī		1. evaṃ me sutāṃ		
16(1)	V	273	弟 B △ 無	△	△	△		△Ānanda	△Kosambī		2. ye hi keci bhikkhave		(1) 〔経〕 ここにはĀnandaは登場せず。
17(1)	V	274	弟 B △ 無	△	△	△		△Ānanda	△Kosambī		2. ye hi keci bhikkhave		(1) 〔経〕 ここにはĀnandaは登場せず。
18(1)	V	275	弟 B △ 無	△	△	△		△Ānanda	△Kosambī		2. catunnaṃ bhikkhave		(1) 〔経〕 ここにはĀnandaは登場せず。
19(1)	V	276	弟 B △ 無	△	△	△		△Ānanda	△Kosambī		2. iddhiṃ vo bhikkhave		(1) 〔経〕 ここにはĀnandaは登場せず。
20(1)	V	276	弟 B △ 無	△	△	△		△Ānanda	△Kosambī		2. cattāro me bhikkhave		(1) 〔経〕 ここにはĀnandaは登場せず。
21	V	281	- J ○ 無						Sāvatti		1. Sāvatti		
22	V	282	- J ○ 無						Sāvatti		1. Sāvatti		
23	V	284	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
24	V	284	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
25	V	285	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
26	V	285	- J △ 無						△Sāvatti		2. cattāro me bhikkhave		
27	V	285	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ		
28	V	286	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2. ekam antaṃ nisinnaṃ kho		
29	V	287	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ		2. atha kho sambahulā bhikkhū		

30	V	287	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. atha kho sambahulā bhikkhū	
31	V	288	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. tatra kho Bhagavā	
32	V	289	- J △ 無						△Sāvatti nidānaṃ	2. tatra kho Bhagavā	
33~44(1)	V	290	- J △ 無						△Sāvattihinidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave	(1) 〔経〕 Vagga末に「神足によりて恒河広説を説すべし (gaṅgāpeyyali iddhi-pādasena vitthārettabbaṃ vaggo)」とある。なおVagga末には念相応のように神足相応を説すべしともあるので、念相応の処 Sāvattihinidānaṃをここでは採る。
45~54(1)	V	291	- J △ 無						△Sāvattihinidānaṃ		(1) 〔経〕 品末に「神足によりて不放逸品を説すべし (appamādavaggo iddhi-pādasena vitthārettabbaṃ)」とある。なおテキストには経番のみ。
55~66(1)	V	291	- J △ 無						△Sāvattihinidānaṃ	2. seyyathāpi bhikkhave	(1) 〔経〕 Vagga末に「神足によりて力所作品を説すべし (balakaraṇīyavaggo iddhipādasena vitthārettabbaṃ)」とある。
67~76(1)	V	291	- J △ 無						△Sāvattihinidānaṃ	2. tisso imā bhikkhave	(1) 〔経〕 Vagga末に「神足によりて不放逸品を説すべし (esanāvaggo iddhipādasena vitthārettabbaṃ)」とある。
77~86(1)	V	292	- J △ 無						△Sāvattihinidānaṃ	2. cattāro me bhikkhave	(1) 〔経〕 Vagga末に「神足によりて暴流品を説すべし (esanāvaggo iddhipādasena vitthārettabbaṃ)」とあり、さらに「念処 [相応] の如く神足相応を説すべし (yadipi satipaṭṭhānā tad api iddhipādaṃ vitthārettabbaṃ)」ともある。
52 阿那律相 応											
1	V	294	弟 B ○ 無	○	○	○		Anuruddha	祇園精舎	1. evam me sutāṃ	
2	V	296	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	
3	V	297	弟 G ○ 無			○		Anuruddha	Sāvatti	1. ekaṃ samayam āyasmā	
4	V	298	弟 G ○ 無			○		Anuruddha, Sāriputta, Mahāmoggallāna	Sāketa	1. ekaṃ samayam āyasmā	
5	V	299	- J ○ 無						Sāketa nidānaṃ	1-2. Saketa nidānaṃ	
6	V	299	- J ○ 無						Sāketanidānaṃ	1-2. Saketanidānaṃ	
7	V	300	- J ○ 無						Sāvattihinidānaṃ	1. Sāvattihinidānaṃ	

8	V	300	弟 G ○ 無			○	Anuruddha	Sāvatti		1. ekaṃ samayam āyasmā		
9	V	301	弟 G ○ 無			○	Anuruddha, Sāriputta	Vesālī		1. ekaṃ samayam āyasmā		
10	V	302	弟 G ○ 無			◎(1)	Anuruddha	Sāvatti		1. ekaṃ samayam āyasmā		(1) [時] (アスルツダガ) 病気の時 (ābādhiko dukkhito bāḥagilāno)
11	V	303	弟 G ○ 無			○	Anuruddha	祇園精舎		1. ekaṃ samayam āyasmā		
12	V	303	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
13	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
14	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
15	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
16	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
17	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
18	V	304	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
19	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
20	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
21	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
22	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
23	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
24	V	305	弟 G △ 無			△	△Anuruddha	△祇園精舎		5. imesaṃ ca panāham āvuso		
53	静慮相応											

1~12(1)	V	307	- J ○ 無						Sāvatti		1-2. Sāvatti	(1) [経] 経末に「念処 [相応] の如く広説すべし (yad api satipaṭṭhānaṃ tad api vitthāretabbaṃ)」とあるので、Sāvatti-nidānaṃと推定されるが、テキストのSāvattiに従う。2経以下、経番のみ。
13~22(1)	V	308	- J △ 無						△Sāvatti			(1) [経] 経番のみ。
23~34	V	308	- J △ 無						△Sāvatti		seyyathāpi bhikkhave	
35~44	V	309	- J △ 無						△Sāvatti		tisso imā bhikkhave	
45~54(1)	V	309	- J △ 無						△Sāvatti		cattāro me bhikkhave	(1) [経] 摂偈の後Vagga末に「道相応の如く静慮相応を広説すべし (yathā magga-samyuttaṃ evaṃ jhānaṃ samyuttaṃ vitthāretabbaṃ)」とある。
54 入出息相 応												
1	V	311	- J ○ 無						祇園精舎		1. Sāvatti/ ārāme	
2	V	312	- J ○ 無						祇園精舎		1. 2. Sāvatti/ ārāme	
3	V	313	- J ○ 無						祇園精舎		1-2. Sāvatti/ ārāme	
4	V	313	- J △ 無						△祇園精舎		3 ānāpānasati bhikkhave	
5	V	314	- J △ 無						△祇園精舎		3 ānāpānasati bhikkhave	
6	V	314	- J ○ 無						Sāvatti		1-2. Sāvatti	
7	V	315	- J ○ 無						Sāvatti		1-2. Sāvatti	
8	V	316	- J ○ 無						Sāvatti		1-2. Sāvatti	
9	V	320	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evaṃ me suttaṃ	
10	V	322	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Kimbilā		1. evaṃ me suttaṃ	
11	V	325	仏 G ○ 無			○	○		Icchānaṅgala		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
12	V	327	弟 G ○ 無			○		Lomasavaṅgisa	Kapilavatthu		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā	
13	V	328	- J ○ 無						Sāvatti		1-2. Sāvatti	
14	V	333	- J △ 無						△Sāvatti		2. atha kho ā° Ānando	
15	V	334	- J △ 無						△Sāvatti		2 atha kho sambahulā bhikkhū	
16	V	335	- J △ 無						△Sāvatti		2. atha kho sambahulā bhikkhū°	
17(1)	V	340	- J △ 無						△Sāvatti		2. anāpānasatisamādhī bhikkhave	(1) [経] 17経~19経(結、随眠、行路)まで一部のフレーズのみ。

18	V	340	- J △ 無						△Sāvatti	2. ānuyasamugghātāya saṃvattati	
19	V	340	- J △ 無						△Sāvatti	2. addhānapariññāya saṃvattati	
20(1)	V	340	- J △ 無						△Sāvatti	2. āsavānaṃ khayāya saṃvattati	(1) [経] 経末に「以上4経なり (ime cattāri suttā)」とある。
55 預流相応											
1	V	342	- J ○ 無						Sāvatti	1-2. Sāvatti	
2	V	343	- J △ 無						△Sāvatti	3. catuḥi bhikkhave	
3	V	344	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
4	V	346	弟 G ○ 無			○		Sāriputta, Ānanda	祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā	
5	V	347	弟 G △ 無			△		△Sāriputta, Ānanda	△祇園精舎	2. atha kho āyasmā Sāriputto (1)	(1) [テ] 2から始まるので前経の略とみる。ただしここにはĀnandaは登場せず、世尊とSāriputtaが登場する。
6	V	348	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. Sāvatti nidānaṃ	
7	V	352	仏 A ○ 無	○	○	○	○		Veḷudvāra	○(1) 1. evaṃ me suttaṃ	(1) [衆] 大比丘サンガ
8(1)	V	356	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Ñātika	1. evaṃ me suttaṃ	(1) [経] 経末に「[以下] 三経因縁同上 (tiṇi pi suttāni ekanidānāni)」とある。
9	V	358	- J △ 無						△Ñātika	2 ekaṃ antaṃ nisinna kho	
10	V	358	- J △ 無						△Ñātika	2 ekaṃ antaṃ nisinna kho	
11	V	360	仏 G ○ 無			○	○		Sāvatti	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
12	V	361	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ	1. 2. Sāvatti nidānaṃ	
13	V	362	弟 G ○ 無			○		Ānanda, Sāriputta	祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā	
14	V	364	弟 G △ 無			△		△Ānanda, Sāriputta	△祇園精舎	3. catuḥi bhikkhave(1)	(1) [テ] 3から始まるので前経の略とみる。ただしここにはĀnanda、Sāriputtaは登場しない。なお本文中に世尊が登場する。
15	V	364	弟 G △ 無			△		△Ānanda, Sāriputta	△祇園精舎	3. catuḥi bhikkhave(1)	(1) [テ] 3から始まるので前経の略とみる。ただしここにはĀnanda、Sāriputtaは登場しない。なお本文中に世尊が登場する。
16	V	364	弟 G △ 無			△		△Ānanda, Sāriputta	△祇園精舎	3. ye hi bhikkhave(1)	(1) [テ] 3から始まるので前経の略とみる。ただしここにはĀnanda、Sāriputtaは登場しない。なお本文中に世尊が登場する。

17	V	365	弟 G △ 無			△		△Ānanda, Sāriputta	△祇園精舎		3. ye hi bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] 3から始まるので前経の略とみる。ただしここにはĀnanda、Sāriputtaは登場しない。なお本文中に世尊が登場する。
18	V	366	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
19	V	367	弟 G ○ 無			○		Mahāmoggallāna	祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
20	V	367	弟 G △ 無			△		△Mahāmoggallāna	△祇園精舎		2. atha kho Bhagavā ⁽¹⁾		(1) [テ] 2から始まるので前経の略とみる。ただしここにはMahāmoggallānaは登場しない。なお本文中に世尊が登場する。
21	V	369	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Kapilavatthu		1. evaṃ me sutamaṃ		
22	V	371	- E ○ 無	○	○						1. evaṃ me sutamaṃ [°] (1)		(1) [テ] sutamaṃ以下は写本が欠落したものである。
23	V	371	- J ○ 無						Kapilavatthunidānaṃ		1. Kapilavatthunidānaṃ		
24	V	375	- J ○ 無						Kapilavatthu nidānaṃ		1. Kapilavatthu nidānaṃ		
25	V	378	- J ○ 無						Kapilavatthunidānaṃ		1. Kapilavatthunidānaṃ		
26	V	380	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
27	V	385	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
28	V	387	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
29	V	389	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
30	V	389	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
31	V	391	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
32	V	391	- J △ 無						△Sāvaththinidānaṃ		2. cattāro me bhikkhave		
33	V	392	- J △ 無						△Sāvaththinidānaṃ		2. cattāro me bhikkhave		
34	V	392	- J ○ 無						Sāvaththinidānaṃ		1. Sāvaththinidānaṃ		
35	V	393	- J △ 無						△Sāvaththinidānaṃ		2. cattārimāni bhikkhave		
36	V	394	- J △ 無						△Sāvaththinidānaṃ		2. catuḥi bhikkhave		
37	V	395	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
38	V	396	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu		2. seyyathāpi bhikkhave		
39	V	396	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		

40	V	397	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
41	V	399	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. cattāro me bhikkhave		
42	V	401	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. cattāro me bhikkhave		
43	V	401	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. cattāro me bhi°		
44	V	402	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. catuhi bhikkhave		
45	V	402	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. catuhi bhikkhave		
46	V	403	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. catuhi bhikkhave		
47	V	403	- J ○ 無						Kapilavatthu nidānaṃ	1. Kapilavatthu nidānaṃ		
48	V	403	- J ○ 無						Kapilavatthu nidānaṃ	1. Kapilavatthu nidānaṃ		
49	V	404	- J ○ 無						Kapilavatthu nidānaṃ	1. Kapilavatthu nidānaṃ		
50	V	404	- J △ 無						△Kapilavatthu nidānaṃ	2. cattārimāni bhikkhave		
51	V	404	- J △ 無						△Kapilavatthu nidānaṃ	2. catuhi bhikkhave		
52	V	405	仏 G ○ 無			○	● ⁽¹⁾		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔主〕 本文に世尊は登場せず。
53	V	406	仏 G ○ 無			○	○		Bārāṇasī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
54	V	408	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
55~61 ⁽¹⁾	V	410	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	2. cattāro me bhikkhave		(1) 〔経〕 56経~61経まではフレーズ（果~廣大）のみ。
62~74 ⁽¹⁾	V	412	仏 G △ 無			△	△		△Kapilavatthu	4. mahāpaññattāya saṃvattanti ti		(1) 〔経〕 62経~73経までは一部のフレーズ（大~利）のみで、74経に「2 諸比丘よ」の箇所の中略からはじまる。
56 諦相応												
1	V	414	- J ○ 無						祇園精舎	1. Sāvatti/ la		
2	V	414	- J △ 無						△祇園精舎	2. paṭisallāṇe bhikkhave		
3	V	415	- J △ 無						△祇園精舎	2. ye hi keci bhikkhave		

4	V	415	- J △ 無						△祇園精舎	2. ye hi keci bhikkhave		
5	V	416	- J △ 無						△祇園精舎	2. ye hi keci bhikkhave		
6	V	417	- J △ 無						△祇園精舎	2. ye hi keci bhikkhave		
7	V	417	- J △ 無						△祇園精舎	2. mā bhikkhave		
8	V	418	- J △ 無						△祇園精舎	2. mā bhikkhave		
9	V	419	- J △ 無						△祇園精舎	2. mā bhikkhave		
10	V	419	- J △ 無						△祇園精舎	2. mā bhikkhave		
11	V	420	仏 B ○ 有	○	○	○	○		Bārāṇasī	1. evam me sutam	○ ⁽¹⁾	(1) [結] 世尊が五比丘に (pañcavaggiye bhikkhū) 教えを説かれると、五比丘が教えに歓喜し、諸天の声、世尊の偈で終る。
12	V	424	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. idaṃ dukkham ariyasaccan ti bhikkhave		
13	V	425	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. cattārimāni bhikkhave		
14	V	426	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. cattārimāni bhikkhave		
15	V	426	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. dhāretha no tumhe bhikkhave		
16	V	427	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. dhāretha no tumhe bhikkhave		
17	V	429	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. atha kho aññataro bhikkhu		
18	V	429	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. atha kho aññataro bhikkhu		
19	V	430	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. idaṃ dukkham ariyasaccan ti bhikkhave		
20	V	430	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Bārāṇasī	2. cattārimāni bhikkhave		
21	V	431	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Koṭigāma	1. evam me sutam		
22	V	432	仏 B △ 無	△	△	△	△		△Koṭigāma	2. ye hi keci bhikkhave		
23	V	433	- J ○ 無						Sāvatti	1-2. Sāvatti		
24	V	433	- J ○ 無						Sāvatti	1. Sāvatti		
25	V	434	- J △ 無						△Sāvatti	2. jānato 'haṃ bhikkhave		
26	V	434	- J △ 無						△Sāvatti	2. ye hi keci bhikkhave		

27	V	435	- J △ 無						△Sāvatti	2. cattārimāni bhikkhave		
28	V	435	- J △ 無						△Sāvatti	2. cattārimāni bhikkhave		
29	V	436	- J △ 無						△Sāvatti	2. cattārimāni bhikkhave		
30	V	436	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Sāhañcanika	1. ekaṃ samayaṃ sambahulā therā bhikkhū		
31	V	437	仏 G ○ 無			○	○		Kosambī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
32	V	438	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. yo bhikkhave		
33	V	439	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. seyyathāpi bhikkhave		
34	V	440	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. āditte bhikkhave		
35	V	440	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. seyyathāpi bhikkhave		
36	V	441	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. seyyathāpi bhikkhave		
37	V	442	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. suriyassa bhikkhave		
38	V	442	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. yāva kivañ ca bhikkhave		
39	V	443	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. ye hi keci bhikkhave		
40	V	445	仏 G △ 無			△	△		△Kosambī	2. yo hi koci bhikkhave		
41	V	446	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
42	V	448	仏 G ○ 無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
43	V	450	仏 G △ 無			△	△		△靈鷲山	2. atthi bhikkhave		
44	V	452	仏 G △ 無			△	△		△靈鷲山	2. yo hi bhikkhave		
45	V	453	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
46	V	454	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂	2. atthi bhikkhave		
47	V	455	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂	2. seyyathāpi bhikkhave		

48	V	456	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
49	V	457	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
50	V	458	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
51 ⁽¹⁾	V	459	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. atha kho Bhagavā parittaṃ nakhasikhāyaṃ paṃsum		(1) 〔経〕 上記の韃度篇「22 蘊相応」の97経 (vol.Ⅲ p.147) では、Sāvattiとなっている。
52	V	460	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
53	V	460	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
54	V	461	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
55	V	462	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
56	V	462	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
57	V	463	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
58	V	463	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
59	V	464	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
60	V	464	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2. seyyathāpi bhikkhave		
61 ⁽¹⁾	V	465	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2 atha kho Bhagavā parittaṃ nakhasikhāyaṃ paṃsum		(1) 〔経〕 上記の韃度篇「22 蘊相応」の97経 (vol.Ⅲ p.147) では、Sāvattiとなっている。
62 ⁽¹⁾	V	466	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2 atha kho Bhagavā parittaṃ nakhasikhāyaṃ paṃsum		(1) 〔経〕 上記の韃度篇「22 蘊相応」の97経 (vol.Ⅲ p.147) では、Sāvattiとなっている。
63	V	467	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhave		

64	V	467	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
65	V	467	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
66	V	467	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
67	V	467	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
68	V	468	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
69	V	468	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
70	V	468	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
71~80	V	468	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
81~90	V	470	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂				
91~101	V	473	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂				
102 ⁽¹⁾	V	474	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		2 atha kho Bhagavā parittam nakhasikhāyaṃ paṃsum		(1) 〔経〕上記の鍵度篇「22 蘊相応」の97経 (vol.III p.147) では、Sāvatti となっている。
103	V	474	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
104	V	475	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
105~107	V	475	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
108~110	V	475	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
111~113	V	475	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
114~116	V	475	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
117~119	V	476	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
120~122	V	476	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧 - SN. -

123~125	V	476	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
126~128	V	476	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
129	V	476	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
130	V	477	仏 G △ 無			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve		
131	V	477	仏 G △ 有			△	△		△重閣講堂		4. evam eva kho bhikkhve	○	

【8】AN.の六事と仏在処一覧

経名	vol.	p.	タイプ	六 事						処	衆	テキスト冒頭	結	備 考
				信	聞	時	主							
							仏	仏弟子						
1 集														
1 色等品														
1	I	1	仏B○無	○	○	○	○			祇園精舎	[1]evam me sutam -- [2]nāhaṃ bhikkhave(1)		(1)〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。	
2~10	I	1	-K×無								[2]nāhaṃ bhikkhave			
2 断蓋品														
11~20	I	3	-K×無								[2]nāhaṃ bhikkhave(1)		(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。	
3 無堪忍品														
21~30	I	5	-K×無								[2]nāhaṃ bhikkhave(1)		(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。	
4 無調品														
31~40	I	6	-K×無								[2]nāhaṃ bhikkhave(1)		(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。	
5 向と隠覆との品														
41	I	8	-K×無								[2]seyyathāpi bhikkhave(1)		(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。以下50経まで同じ。	
42	I	8	-K×無								[2]seyyathāpi bhikkhave			
43	I	8	-K×無								[2]idhāhaṃ bhikkhave			
44	I	8	-K×無								[2]idhāhaṃ bhikkhave			
45	I	9	-K×無								[2]seyyathāpi bhikkhave			
46	I	9	-K×無								[2]seyyathāpi bhikkhave			
47	I	9	-K×無								[2]seyyathāpi bhikkhave			
48	I	10	-K×無								[2]nāhaṃ bhikkhave			
49	I	10	-K×無								[2]pabhassaram idaṃ bhikkhave			

50	I	10	- K × 無							[2]pabhassaram idaṃ bhikkhave	
6 弾指品											
51	I	10	- K × 無							[2]pabhassaram idaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。以下60経まで同じ。
52	I	10	- K × 無							[2]pabhassaram idaṃ bhikkhave	
53	I	10	- K × 無							[2]accharā-saṅghāta-mattaṃ pi ce bhikkhave	
54	I	10	- K × 無							[2]accharā-saṅghāta-mattaṃ pi ce bhikkhave	
55	I	11	- K × 無							[2]accharā-saṅghāta-mattaṃ pi ce bhikkhave	
56	I	11	- K × 無							[2]ye keci bhikkhave	
57	I	11	- K × 無							[2]ye keci bhikkhave	
58	I	11	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
59	I	11	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
60	I	11	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
7 発精進等品											
61~70	I	12	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。
8 善友等品											
71	I	14	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。以下80経まで同じ。
72	I	14	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
73	I	14	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
74	I	14	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
75	I	14	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
76	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave	
77	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave	

78	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave	
79	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave	
80	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave	
9 放逸等品											
81	I	15	- K × 無							[2]appamattikā esā bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、[1]の略と見ることも可能である。以下97経まで同じ。
82	I	16	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
83	I	16	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	
84~97 ⁽¹⁾	I	16	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave	(1) [経] テキストにsimilar suttas follow ofという記述があって、4~17のフレーズを挙げる。
10 非法等品	I										
98	I	16	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下139経まで[1]の略と見ることも可能。
99	I	16	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave	
100	I	17	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave	
101	I	17	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave	
102	I	17	- K × 無							[2] pe	
103	I	17	- K × 無							[2] pe	
104	I	17	- K × 無							[2] pe	
105	I	17	- K × 無							[2] pe	
106	I	17	- K × 無							[2] pe	
107	I	17	- K × 無							[2] pe	
108	I	17	- K × 無							[2] pe	
109	I	17	- K × 無							[2] pe	
110	I	17	- K × 無							[2] pe -- bāhiraṃ bhikkhave	
111	I	17	- K × 無							[2]bāhiraṃ bhikkhave	
112	I	17	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave	

113	I	17	- K × 無							[2]ajjhattikaṃ bhikkhave		
114	I	17	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
115	I	17	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
116	I	18	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
117	I	18	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
118(1)	I	18	- K × 無							[2] pe		(1) 〔経〕118経～129まで要語のみを挙げる。
119	I	18	- K × 無							[2] pe		
120	I	18	- K × 無							[2] pe		
121	I	18	- K × 無							[2] pe		
122	I	18	- K × 無							[2] pe		
123	I	18	- K × 無							[2] pe		
124	I	18	- K × 無							[2] pe		
125	I	18	- K × 無							[2] pe		
126	I	18	- K × 無							[2] pe		
127	I	18	- K × 無							[2] pe		
128	I	18	- K × 無							[2] pe		
129	I	18	- K × 無							[2] pe		
130	I	18	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
131	I	18	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
132	I	18	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
133	I	18	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
134	I	18	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
135	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
136	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
137	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
138	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
139	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave		
11 非法等品												
140～149	I	19	- K × 無							[2]ye te bhikkhave(1)		(1) 〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。
12 無犯等品												
150～169	I	20	- K × 無							[2]ye te bhikkhave(1)		(1) [2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。

13 一人品												
170	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下176経まで[1]の略と見ることも可能。	
171	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
172	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
173	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
174	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
175	I	22	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
176	I	23	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
14 是第一品												
177~183 ⁽¹⁾	I	23	- K × 無							[2]etad aggamaṃ bhikkhave ⁽²⁾	(1) [経] 比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷の名を挙げる。(2) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。	
15 無処品												
184~211	I	26	- K × 無							[2]aṭṭhānaṃ etaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。	
16 一法品												
212~221	I	30	- K × 無							[2]eka dhammo bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。	
17 種子品												
222~229	I	30	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下231経まで[1]の略と見ることも可能。	
230	I	31	- K × 無							[2]micchādiṭṭhikassa bhikkhave		
231	I	31	- K × 無							[2]sammādiṭṭhikassa bhikkhave		
18 末伽梨品												
232	I	33	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave ⁽¹⁾	(1) [2]は筆者が付した番号で、以下248経まで[1]の略と見ることも可能。	
233	I	33	- K × 無							[2]ekapuggalo bhikkhave		
234	I	33	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		
235	I	33	- K × 無							[2]nāhaṃ bhikkhave		

236	I	34	- K × 無							[2]durakkhāte bhikkhave		
237	I	34	- K × 無							[2]svākkhāte bhikkhave		
238	I	34	- K × 無							[2]durakkhāte bhikkhave		
239	I	34	- K × 無							[2]svākkhāte bhikkhave		
240	I	34	- K × 無							[2]durakkhāte bhikkhave		
241	I	34	- K × 無							[2]svākkhāte bhikkhave		
242	I	34	- K × 無							[2]durakkhāte bhikkhave		
243	I	34	- K × 無							[2]svākkhāte bhikkhave		
244	I	34	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave		
245	I	34	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave		
246	I	34	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave		
247	I	34	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave		
248	I	35	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave		
19 不放逸品												
249~250	I	35	- K × 無							[2]seyyathāpi bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能。
20 静慮品												
251	I	38	- K × 無							[2]addham idaṃ bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下432経まで[1]の略と見ることも可能。
252~432 ⁽¹⁾	I	38	- K × 無							[2]accharā-saṅghāta-mattaṃ pi ce bhikkhave		(1) [経] 253経~432経までフレーズ。なおPTSテキストの番号は192とあるが、南伝は182に訂正(10減らす)、本資料集もこれにならぬ432とする。
21 静慮品												
433	I	43	- K × 無							[2]yassa kassaci bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号で、以下454経まで[1]の略と見ることも可能。
434~454 ⁽¹⁾	I	43	- K × 無							[2]eka dhammo bhikkhave		(1) [経] テキストの番号は1~70とするが、ここでは取りあえず南伝の1~22に合わせてある。

2 集												
1 科刑罰品												
1	I	47	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	[1]evam me sutam -- [2]dve 'māni bhikkhave ⁽¹⁾		(1)〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下14経まで[1]の略と見ること可能。
2	I	49	-K×無							[2]dve 'māni bhikkhave		
3	I	49	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
4	I	49	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
5	I	50	-K×無							[2]dvinnāhaṃ bhikkhave		
6	I	50	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
7	I	51	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
8	I	51	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
9	I	51	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
10	I	51	-K×無							[2]dve 'me bhikkhave		
2 諍論品												
11	I	52	-K×無							[2]dve 'māni bhikkhave		
12	I	52	-K×無							[2]dve 'māni bhikkhave		
13	I	53	-K×無							[2]dve 'māni bhikkhave		
14	I	53	-K×無							[2]dve 'mā bhikkhave		
15	I	53	-K×無							yasmiṃ bhikkhave		
16	I	55	-K×無							atha kho aññataro brāhmaṇo		
17	I	56	-K×無							atha kho Jāṇussoṇi brāhmaṇo		
18	I	57	-K×無							atha kho āyasmā Ānando		
19	I	58	-K×無							akusalaṃ bhikkhave pajahatha		
20	I	58	-K×無							dve 'me bhikkhave		
3 愚人品												
21	I	59	-K×無							dve 'me bhikkhave		
22	I	59	-K×無							dve 'me bhikkhave		
23	I	59	-K×無							dve 'me bhikkhave		
24	I	60	-K×無							dve 'me bhikkhave		

25	I	60	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
26	I	60	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
27	I	60	- K × 無							paṭicchannakammantas sa bhikkhave dvinnāṃ gatināṃ	
28(1)	I	60	- K × 無							micchādiṭṭhikassa bhikkhave dvinnāṃ gatināṃ	(1) 〔経〕南伝はテキストの8経（本資料集では28経）を二つに分けて8経と9経とするが、テキストの経番に従う。
29	I	60	- K × 無							dvāhaṃ bhikkhave	
30(1)	I	61	- K × 無							dve 'me bhikkhave	(1) 〔経〕南伝はテキストの10経（本資料集では30経）を二つに分けて11経と12経とするが、テキストの経番に従う。
4等心品											
31	I	61	- K × 無							asappurisabhūmiṃ ca vo bhikkhave	
32	I	61	- K × 無							dvinnāhaṃ bhikkhave	
33	I	62	- K × 無							atha kho aññataro brāhmaṇo	
34	I	62	- K × 無							atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
35(1)	I	63	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	evam me sutāṃ	(1) 〔経〕南伝により、節の分け方を訂正。南伝17 p.106註6参照
36	I	65	弟 B ○ 無	○	○	○		Mahākaccāyana	Varaṇā	evam me sutāṃ	
37	I	67	弟 G ○ 無			○		Mahākaccāyana	Madhurā	ekaṃ samayam āyasmā	
38	I	68	- K × 無							yasmiṃ bhikkhave	
39	I	69	- K × 無							dvinnāhaṃ bhikkhave	
40	I	69	- K × 無							ye te bhikkhave	
5衆会品											
41~50	I	70	- K × 無							dve 'mā bhikkhave	
6人品											
51	I	76	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
52	I	76	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
53	I	77	- K × 無							dvinnāṃ bhikkhave	
54	I	77	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
55	I	77	- K × 無							dve 'me bhikkhave	
56	I	77	- K × 無							dve 'me bhikkhave	

57	I	77	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
58	I	77	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
59	I	77	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
60	I	78	- K × 無						dvinnaṃ bhikkhave		
61	I	78	- K × 無						asantasannivāsaṅ ca vo bhikkhave		
62	I	79	- K × 無						yasmiṃ bhikkhave		
7 樂品											
63~75	I	80	- K × 無						dve 'māni bhikkhave		
8 有品											
76	I	82	- K × 無						sanimittā bhikkhave		
77	I	82	- K × 無						sanidānā bhikkhave		
78	I	82	- K × 無						sahetukā bhikkhave		
79	I	82	- K × 無						sasaṅkhārā bhikkhave		
80	I	82	- K × 無						sappaccayā bhikkhave		
81	I	83	- K × 無						sarūpā bhikkhave		
82	I	83	- K × 無						savedanā bhikkhave		
83	I	83	- K × 無						sasaññā bhikkhave		
84	I	83	- K × 無						saviññā bhikkhave		
85	I	83	- K × 無						sankhatārammaṇā bhikkhave		
9 法品											
86~96(1)	I	83	- K × 無						dve 'me bhikkhave		(1) 〔経〕テキストにsimilar suttas follow of とあって、87経~96経まではフレーズのみを挙げる。
10 愚者品											
97	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
98	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
99	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
100	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
101	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
102	I	84	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
103	I	85	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
104	I	85	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
105	I	85	- K × 無						dve 'me bhikkhave		

106	I	85	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
107	I	85	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
108	I	85	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
109	I	85	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
110	I	85	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
111	I	85	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
112	I	86	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
113	I	86	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
114	I	86	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
115	I	86	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
116	I	86	- K × 無							dvinnaṃ bhikkhave		
11 希望品												
117	I	86	- K × 無							dve 'mā bhikkhave		
118	I	87	- K × 無							dve 'mā bhikkhave		
119	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
120	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
121	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
122	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
123	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
124	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
125	I	87	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
126	I	87	- K × 無							dve 'mā bhikkhave		
127	I	88	- K × 無							dve 'mā bhikkhave		
128	I	88	- K × 無							dve 'mā bhikkhave		
12 希求品												
129	I	88	- K × 無							saddho bhikkhave		
130	I	88	- K × 無							saddho bhikkhave		
131	I	88	- K × 無							saddho bhikkhave		
132	I	88	- K × 無							saddho bhikkhave		
133	I	89	- K × 無							dvīhi bhikkhave		
134	I	89	- K × 無							dvīhi bhikkhave		
135	I	90	- K × 無							dvīsu bhikkhave		
136(1)	I	90	- K × 無							dvīsu bhikkhave		(1) 〔経〕テキストの節に誤りあり。南伝 17 p.147註(3)参照

137	I	91	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
138	I	91	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
139	I	91	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
13 施品											
140	I	91	- K × 無						dve 'māni bhikkhave		
141	I	91	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
142	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
143	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
144	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
145	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
146	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
147	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
148	I	92	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
149	I	92	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
14 覆護品											
150	I	93	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
151	I	93	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
152	I	93	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
153	I	93	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
154	I	93	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
155	I	93	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
156	I	93	- K × 無						dve 'māni bhikkhave		
157	I	93	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
158	I	94	- K × 無						dve 'mā bhikkhave		
159	I	94	- K × 無						dve 'māni bhikkhave		
160	I	94	- K × 無						dve 'me bhikkhave		
161	I	94	- K × 無						dve 'māni bhikkhave		
15 入定品											
162~178 (1)	I	94	- K × 無						dve 'me bhikkhave		(1) 〔経〕163経以下178経までフレーズの み。
16 忿品											
179~278 (1)	I	95	- K × 無						dve 'me bhikkhave		(1) 〔経〕テキストに経番の誤りがあるが 一々訂正しなかった。
17品											

279	I	98	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
280	I	98	- K × 無							dve 'me bhikkhave		
281	I	100	- K × 無							rāgassa bhikkhave		
282	I	100	- K × 無							rāgassa bhikkhave		
283	I	100	- K × 無							doāsassa		
3 集												
1 愚人品												
1	I	101	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	evam me sutam		
2	I	102	- K × 無							kammalakkhaṇo bhikkhave		
3	I	102	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
4	I	103	- K × 無							tīhi bhikkhave		
5	I	103	- K × 無							tīhi bhikkhave		
6	I	103	- K × 無							tīhi bhikkhave		
7	I	104	- K × 無							tīhi bhikkhave		
8	I	104	- K × 無							tīhi bhikkhave		
9	I	105	- K × 無							tīhi bhikkhave		
10	I	105	- K × 無							tīhi bhikkhave		
2 車匠品												
11	I	106	- K × 無							tīhi bhikkhave		
12	I	106	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
13	I	107	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
14	I	109	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
15	I	110	仏 G ○ 無			○	○		Bārāṇasī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
16	I	113	- K × 無							tīhi bhikkhave		
17	I	114	- K × 無							tayo 'me bhikkhave		
18	I	115	- K × 無							sace vo bhikkhave		
19	I	115	- K × 無							tīhi bhikkhave		
20	I	116	- K × 無							tīhi bhikkhave		
3 人品												
21	I	118	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	evam me sutam		
22	I	120	- K × 無							tayo 'me bhikkhave		

23	I	122	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
24	I	123	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
25	I	123	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
26	I	124	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
27	I	126	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
28	I	127	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
29	I	128	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
30	I	130	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
4 天使品											
31	I	132	- K × 無						sabrahmakāni bhikkhave		
32	I	132	- K × 無						atha kho āyasmā ānando		
33	I	134	- K × 無						tiṇ' imāni bhikkhave		
34	I	136	仏 B ○ 無	○	○	○	○	Ālavī	evam me sutam		
35	I	138	- K × 無						tiṇ' imāni bhikkhave		
36	I	142	- K × 無						aṭṭhamiyaṃ bhikkhave		
37	I	143	- K × 無						bhūtapubbaṃ bhikkhave		
38	I	145	- K × 無						sukhumālo ahaṃ bhikkhave		
39	I	146	- K × 無						tayo 'me bhikkhave		
40	I	147	- K × 無						tiṇ' imāni bhikkhave		
5 小品											
41	I	150	- K × 無						tiṇṇaṃ bhikkhave		
42	I	150	- K × 無						tīhi bhikkhave		
43	I	151	- K × 無						tayo bhikkhave		
44	I	151	- K × 無						tīhi bhikkhave		
45	I	151	- K × 無						tiṇ' imāni bhikkhave		
46	I	151	- K × 無						yaṃ bhikkhave silavanto		
47	I	152	- K × 無						tiṇ' imāni bhikkhave		
48	I	152	- K × 無						Himavantaṃ bhikkhave		
49	I	153	- K × 無						tīhi bhikkhave		
50	I	153	- K × 無						tīhi bhikkhave		
6 婆羅門品											

51(1)	I	155	仏 G ○ 無							祇園精舎	[1]ekam samayaṃ Bhagavā --[2]atha kho dve brāhmaṇā -- yena Bhagavā ten-upasaṅkamimsu(2)	(1) 〔経〕テキスト脚注(1961年版)には、異本Kにekam samayaṃ Bhagavā Sāvattthiyaṃ viharati Anāthapiṇḍakassa ārāmeとあるので、これを採る。(2) 〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。
52	I	156	- K × 無								[2]atha kho dve brāhmaṇā -- yena Bhagavā ten-upasaṅkamimsu -- Bhagavantam etad avoca(1)	(1) 〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。
53	I	156	- K × 無								[2]atha kho aññataro brāhmaṇo yena Bhagavā ten-upasaṅkami -- Bhagavantam etad avoca(1)	(1) 〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。
54	I	157	- K × 無								[2]atha kho aññataro brāhmaṇo paribbājako yena Bhagavā ten-upasaṅkami -- Bhagavantam etad avoca(1)	(1) 〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。
55	I	158	- K × 無								[2]atha kho Jāṇussoṇī brāhmaṇo yena Bhagavā ten-upasaṅkami -- Bhagavantam etad avoca(1)	(1) 〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。
56	I	159	- K × 無								[2]atha kho aññataro brāhmaṇo -- yena Bhagavā ten-upasaṅkami -- Bhagavantam etad avoca(1)	(1) 〔テ〕[1][2]は筆者が付した番号で、以下[1]の略と見ることも可能である。

57	I	160	- K × 無							1. atha kho Vacchagotto paribbājako yena Bhagavā ten-upasaṅkami -- Bhagavantam etad avoca ⁽¹⁾	(1) [テ] テキストに付された1.は[1]の略と見ることも可能である。	
58	I	163	- K × 無							1. atha kho Tikaṅṅo brāhmaṇo yena Bhagavā ten-upasaṅkami ⁽¹⁾	(1) [テ] テキストに付された1.は[1]の略と見ることも可能である。	
59	I	166	- K × 無							1. atha kho Jāṇussoṇi brāhmaṇo yena Bhagavā ten-upasaṅkami ⁽¹⁾	(1) [テ] テキストに付された1.は[1]の略と見ることも可能である。	
60	I	168	- K × 無							1. atha kho Saṅgāravo brāhmaṇo yena Bhagavā ten-upasaṅkami ⁽¹⁾	(1) [テ] テキストに付された1.は[1]の略と見ることも可能である。	
7 大品												
61	I	173	- K × 無							1. tiṇ' imāni bhikkhave		
62	I	178	- K × 無							1. tiṇ' imāni bhikkhave		
63	I	180	仏 F ○ 無			○	○		Venāgapura	○ ⁽¹⁾	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) [衆] 大比丘サンガ
64	I	185	仏 B ○ 無	○	○	○	○		靈鷲山		1. evam me sutāṃ	
65	I	188	仏 A ○ 無	○	○	○	○		Kesaputta	○ ⁽¹⁾	1. evam me sutāṃ	(1) [衆] 大比丘サンガ
66	I	193	弟 B ○ 無	○	○	○		Nandaka	鹿母講堂		1. evam me sutāṃ	
67	I	197	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave	
68	I	199	- K × 無								1. sace bhikkhave	
69	I	201	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave	
70	I	205	仏 B ○ 無	○	○	○	○		鹿母講堂		1. evam me sutāṃ	
8 阿難品												
71	I	215	- J ○ 無						Sāvatti nidānaṃ		1. Sāvatti nidānaṃ	
72	I	217	弟 G ○ 無			○		Ānanda	Kosambī		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā	
73	I	219	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	

74	I	220	弟 G ○ 無			○		Ānanda	重閣講堂		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
75	I	222	- K × 無								1. atha kho āyasmā Ānanda		
76	I	223	- K × 無								1. atha kho āyasmā Ānanda		
77	I	224	- K × 無								1. atha kho āyasmā Ānanda		
78	I	225	- K × 無								taṃ yeva nidānaṃ		
79	I	225	- K × 無								1. atha kho āyasmā Ānanda		
80	I	226	- K × 無								1. atha kho āyasmā Ānanda		
9 沙門品													
81	I	229	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave		
82	I	229	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave		
83	I	230	仏 B ○ 無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evaṃ me sutāṃ -- [2]atha kho aññataro Vajji-puttako bhikkhu ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号。
84	I	231	- K × 無								1. atha kho aññataro bhikkhu ⁽¹⁾		(1) [テ] テキストに付された1.は前経の筆者が付した番号[2]と見ること可能だがテキスト通りに空欄とした。
85	I	231	- K × 無								1. sādham idāṃ bhikkhave		
86	I	232	- K × 無								1. sādham idāṃ bhikkhave		
87	I	234	- K × 無								1. sādham idāṃ bhikkhave		
88	I	235	- K × 無								1. tisso imā bhikkhave		
89	I	235	- K × 無								1. tisso imā bhikkhave		
90	I	236	仏 F ○ 無			○	○		Paṅkadhā	○ ⁽¹⁾	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [衆] 大比丘サンガ
10 一掬鹽品													
91	I	239	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave		
92	I	240	- K × 無								1. tiṇ' imāni bhikkhave		
93	I	242	- K × 無								1. tisso imā bhikkhave		
94	I	244	- K × 無								1. tīhi bhikkhave		

95	I	245	- K × 無							1. tihi bhikkhave		
96	I	245	- K × 無							1. tihi bhikkhave		
97	I	246	- K × 無							1. navo pi bhikkhave		
98	I	247	- K × 無							1. navam pi bhikkhave		
99	I	249	- K × 無							1. yo bhikkhave		
100	I	253	- K × 無							1. santi bhikkhave		
11 等覚品												
101	I	258	- K × 無							1. pubbe va me bhikkhave		
102	I	260	- K × 無							no ce tam bhikkhave		
103	I	261	- K × 無							runnam idam bhikkhave		
104	I	261	- K × 無							tinnam bhikkhave		
105	I	261	- K × 無							atha kho Anāthapiṇḍako gahapati		
106	I	262	- K × 無							1. ekam antam nisinnam kho		
107	I	263	- K × 無							1. tiṇ' imāni bhikkhave		
108	I	263	- K × 無							1. tiṇ' imāni		
109	I	264	- K × 無							1. tiṇ' imāni		
110	I	265	- K × 無							1. tiṇ' imāni		
12 惡趣品												
111	I	265	- K × 無							tayo 'me bhikkhave		
112	I	266	- K × 無							tinnam bhikkhave		
113	I	266	- K × 無							tayo 'me bhikkhave		
114	I	267	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
115	I	268	- K × 無							1. tisso imā bhikkhave		
116	I	270	- K × 無							1. tissā imā bhikkhave		
117	I	270	- K × 無							1. tisso imā bhikkhave		
118	I	271	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
119	I	272	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
120	I	273	- K × 無							tiṇ' imāni bhikkhave		
13 拘尸那竭 羅品												

121	I	274	仏G○無			○	○		Kusinārā	ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
122	I	275	-K×無							yassaṃ bhikkhave		
123	I	276	仏G○有			○	○		Vesālī	ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○	
124	I	276	仏G○無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
125	I	278	仏G○無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
126	I	279	仏G○無			○	○		Bārāṇasī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
127	I	281	-K×無							1. atha kho āyasmā Anuruddho		
128	I	281	-K×無							1. atha kho āyasmā Anuruddho		
129	I	282	-K×無							1. tiṇ' imāni bhikkhave		
130	I	283	-K×無							1. tayo 'me bhikkhave		
14 戦士品												
131	I	284	-K×無							1. tihi bhikkhave		
132	I	285	-K×無							tisso imā bhikkhave		
133	I	286	-K×無							tihi bhikkhave		
134	I	286	-K×無							1. uppādā vā bhikkhave		
135	I	286	-K×無							1. seyyathāpi bhikkhave		
136	I	287	-K×無							tisso imā bhikkhave		
137(1)	I	287	-K×無							tisso imā bhikkhave		(1) 〔経〕テキストは136経に含めるが、南伝にしたがい経文を分けるので、以下テキストと経番が1つずれる。
138(1)	I	287	-K×無							1. tayo ca bhikkhave		(1) 〔経〕テキストは137経に相当し、またテキストの138経を南伝にならって経文を分けない。南伝17 p.482の註15参照
139(1)	I	290	-K×無							1. tayo ca bhikkhave		(1) 〔経〕テキスト通りの139経に相当。
140	I	291	仏B○無	○	○	○	○		Rājagaha	1. evam me sutam [2]tihi bhikkhave(1)		(1) 〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、以下の141経~149経までは1.の略と見ること可能だがテキスト通りに空欄とした。
15 吉祥品												
141	I	292	-K×無							[2]tihi bhikkhave		
142	I	292	-K×無							[2]tihi bhikkhave		

143	I	293	- K × 無							[2]tihi bhikkhave		
144	I	293	- K × 無							[2]pe		
145	I	293	- K × 無							[2]tihi bhikkhave		
146	I	293	- K × 無							[2]pe		
147	I	293	- K × 無							[2]pe		
148	I	294	- K × 無							[2]pe		
149	I	294	- K × 無							[2]tisso imā bhikkhave		
150	I	294	- K × 無							ye hi bhikkhave		
16 裸形品												
151	I	295	- K × 無							1. tisso imā bhikkhave		
152	I	296	- K × 無							1. tisso imā bhikkhave		
153	I	297	- K × 無							tīhi bhikkhave		
154	I	297	- K × 無							pe		
155	I	297	- K × 無							pe		
156	I	298	- K × 無							pe		
157	I	298	- K × 無							pe		
158	I	298	- K × 無							pe		
159	I	298	- K × 無							pe		
160	I	298	- K × 無							pe		
161	I	299	- K × 無							pe		
162	I	299	- K × 無							pe		
163	I	299	- K × 有							rāgassa bhikkhave	○(1)	(1) 〔結〕集の最後の経に歓喜文があるので、それ以前の集の最後の経に歓喜文があると解釈することも可能。
4 集												
1 バンダガーマ品												
1	II	1	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Bhaṇḍagāma	1. evam me sutam -- 2. catunnaṃ bhikkhave		
2	II	2	- K × 無							1. catuhi bhikkhave(1)		(1) 〔テ〕テキストに付された1.は前経の1.の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。以下5経まで同じ。
3	II	2	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
4	II	4	- K × 無							1. catusu bhikkhave		

5	II	5	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
6	II	6	- K × 無							[2]cattāro 'me bhikkhave ⁽¹⁾	(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号で、以下1.の略と見ることも可能である。以下11経まで同じ。
7	II	8	- K × 無							[2]cattāro 'me bhikkhave	
8	II	8	- K × 無							[2]cattār' imāni bhikkhave	
9	II	10	- K × 無							[2]cattāro 'me bhikkhave	
10	II	10	- K × 無							[2]cattāro 'me bhikkhave	
2 行品											
11	II	13	- K × 無							[2]carato ce pi bhikkhave	
12	II	14	- K × 無							sampanna-sīlā bhikkhave	
13	II	15	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
14	II	16	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
15	II	17	- K × 無							catasso imā bhikkhave	
16	II	17	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
17	II	18	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
18	II	18	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
19	II	18	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
20	II	19	- K × 無							catuhi bhikkhave	
3 優楼比螺品											
21	II	20	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- [2]ekam idāhaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1)〔テ〕[2]は筆者が付した番号。
22	II	22	- K × 無							1. ekaṃ idāhaṃ bhikkhave ⁽¹⁾	(1)〔テ〕テキストに付された1.は、上記21経の1.の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。
23	II	23	- K × 無							1. loko bhikkhave	
24	II	24	仏 G ○ 無			○	○		Sāketa	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
25	II	26	- K × 無							1. na-y-idaṃ bhikkhave	

26	II	26	- K × 無							1. ye te bhikkhave		
27	II	26	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
28	II	27	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
29	II	29	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
30	II	29	仏 G ○ 無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
4 輪品												
31	II	32	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
32	II	32	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
33	II	33	- K × 無							Sīho bhikkhave		
34	II	34	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
35	II	35	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
36	II	37	仏 G ○ 無			○	○		Ukkaṭṭha~Setavyā ⁽¹⁾	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [処] テキストには Setavyā とある。
37	II	39	- K × 無							1. catuḥi bhikkhave		
38	II	41	- K × 無							1. paṇuṇṇa-pacceka- sacco bhikkhave		
39	II	42	- K × 無							1. atha kho Ujjayo brāhmaṇo		
40	II	43	- K × 無							1. atha kho Udāyi brāhmaṇo		
5 赤馬品												
41	II	44	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave		
42	II	46	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
43	II	46	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		

44	II	47	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
45	II	47	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
46(1)	II	49	- K × 無							1. atha kho Bhagavā	(1) 〔経〕本文中に Jetavana という園林名がある。
47	II	50	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave	
48	II	51	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
49	II	52	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
50	II	53	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
6 福生品											
51	II	54	- J ○ 無						Sāvattthinidānaṃ	1.Sāvattthinidānaṃ [2]cattāro 'me bhikkhave(1)	(1) 〔テ〕[2]は筆者が付した番号。
52	II	56	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave puññābhisandā(1)	(1) 〔テ〕前経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。
53	II	57	仏 G ○ 無			○	○		Madhurā~Verañjā(1)	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) 〔処〕テキストにはVerañjiとある。
54	II	59	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
55	II	61	仏 G ○ 無			○	○		Summāragira	1.ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
56	II	62	- K × 無							1. ākañkheyyuṃ ce bhikkhve	
57	II	62	仏 G ○ 無			○	○		Sajjana	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
58	II	63	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
59	II	64	- K × 無							1. bhojanaṃ bhikkhave	
60	II	65	- K × 無							atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	

7 適切業品												
61	II	65	- K × 無								1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
62	II	69	- K × 無								1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
63	II	70	- K × 無								1. sabrahmakāni bhikkhave	
64(1)	II	71	- K × 無								4. cattuhi bhikkhave	(1) 〔経〕 テキスト63経の段落4から、南伝にならって別立て64経とする。なおテキストには64が欠。南伝18 p.122の註2参照
65	II	71	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave	
66	II	71	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave	
67	II	72	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
68	II	73	仏 G ○ 無			◎(1)	○		霊鷲山		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) 〔時〕 提婆達多が去って間もなくして (acirapakkante Devadatte)
69	II	74	- K × 無								1. cattār' imāni bhikkhave	
70	II	74	- K × 無								1. yasmaṃ bhikkhave	
8 無戯論品												
71	II	76	- K × 無								1. catuhi bhikkhave	
72	II	76	- K × 無								1. catuhi bhikkhave	
73(1)	II	77	- K × 無								1. catuhi bhikkhave	(1) 〔経〕 南伝にならってテキストの経番74も73経に含める。南伝18 p.137の註7参照
74(1)	II	78	- K × 無								1. catuhi bhikkhave	(1) 〔経〕 南伝にならって、テキストの経番75の段落1を74経とし、段落2を75経とする。南伝18 p.137の註1参照
75	II	79	- K × 無								1. catuhi bhikkhave	
76	II	79	仏 G ○ 無			◎(1)	○		Kusinārā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) 〔時〕 (仏の) 般涅槃時に (parinib-bānasamaye)
77	II	80	- K × 無								cattār' imāni bhikkhave	
78	II	80	- K × 無								1. catasso imā bhikkhave	
79	II	81	- K × 無								1. atha kho āyasmā Sāriputto	

80	II	82	仏G○無			○	○		Kosambī		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
9 不動品													
81	II	83	- K × 無								1. catuḥi bhikkhave		
82	II	83	- K × 無								1. catuḥi bhikkhave		
83	II	84	- K × 無								1. catuḥi bhikkhave		
84	II	84	- K × 無								1. catuḥi bhikkhave		
85	II	85	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
86	II	86	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
87	II	86	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
88	II	88	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
89	II	89	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
90	II	90	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
10 阿修羅品													
91	II	91	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
92	II	92	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
93	II	92	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
94	II	93	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
95	II	95	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
96	II	96	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
97	II	97	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		
98	II	98	- K × 無								1. cattāro 'me bhikkhave		

99	II	98	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
100	II	100	- K × 無							1. atha kho Potaliyo paribbājako		
11 雲品												
101	II	102	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam -- 2. cattāro 'me bhikkhave		
102	II	103	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave ⁽¹⁾		(1) 〔テ〕前経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。以下110経まで同じ。
103	II	104	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
104(1)	II	105	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		(1) 〔経〕南伝によれば、テキストの経番に脱漏があるとすも、取りあえずPTSの経番を踏襲した。南伝18 p.187の註1参照
105	II	105	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
106	II	106	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
107	II	107	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave		
108	II	108	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
109	II	109	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
110	II	110	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
12 只尸品												
111	II	112	- K × 無							1. atha kho Kesi assadammasārathi		
112	II	113	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
113	II	114	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
114	II	116	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
115	II	118	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
116	II	119	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
117	II	120	- K × 無							1. catusu bhikkhave		

118	II	120	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
119	II	121	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
120	II	121	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
13 怖畏品												
121	II	121	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
122	II	123	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
123	II	126	- K × 無							1. cattāro 'me [bhikkhave]		
124	II	128	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
125	II	128	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
126	II	130	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
127	II	130	- K × 無							1. Tathāgatassa bhikkhave		
128	II	131	- K × 無							1. Tathāgatassa bhikkhave		
129	II	132	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
130	II	133	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
14 補特伽羅 品												
131	II	133	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
132	II	135	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
133	II	135	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
134	II	135	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		

135	II	135	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
136	II	136	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
137	II	136	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
138	II	137	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
139	II	138	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
140	II	138	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
15 光品												
141	II	139	- K × 無							catasso imā bhikkhave		
142	II	139	- K × 無							catasso imā bhikkhave		
143	II	139	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
144	II	139	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
145	II	140	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
146	II	140	- K × 無							cattāro 'me [bhikkhave]		
147	II	140	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
148	II	141	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave		
149	II	141	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave		
150	II	141	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
16 根品												
151	II	141	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave		
152	II	141	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
153	II	142	- K × 無							2. cattār' imāni bhikkhave		
154	II	142	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
155	II	142	- K × 無							2. cattār' imāni bhikkhave		
156	II	142	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave		
157	II	142	- K × 無							1. dve 'me bhikkhave		

158	II	143	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto	
159	II	144	弟 G ○ 無			○	Ānanda	Kosambī		1. ekaṃ samayam āyasmā	
160	II	147	- K × 無							1. sugato vā bhikkhave	
17 行品											
161	II	149	- K × 無							catasso imā bhikkhave	
162	II	149	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave	
163	II	150	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave	
164	II	152	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave	
165	II	153	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave	
166	II	154	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave	
167	II	154	- K × 無							1. atha kho āyasmā Sāriputto	
168	II	155	- K × 無							1. atha kho āyasmā Mahāmogallāno	
169	II	155	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave	
170	II	156	弟 G ○ 無			○	Ānanda	Kosambī		1. ekaṃ samayam āyasmā	
18 故思品											
171(1)	II	157	- K × 無							171-1 kāye vā bhikkhave 172-1 cattāro 'me bhikkhave	(1) 〔経〕南伝により、本経171はテキストの172経を含めるので、以下テキストの番号が1つずれる。南伝18 p.281の註5参照
172(1)	II	159	- K × 無							tatra kho āyasmā Sāriputto	(1) 〔経〕テキストの173経に相当。
173(1)	II	160	- K × 無							1. atha kho āyasmā Mahākoṭṭhito	(1) 〔経〕テキストの174経の3段落までに相当。
174(1)	II	161	- K × 無							4. atha kho āyasmā Ānando	(1) 〔経〕南伝により、テキストの174経の4段落から分けて、174経とする。南伝18 p.285の註1参照

175	II	163	- K × 無							1. atha kho āyasmā Upavāṇo		
176	II	164	- K × 無							1. saddho bhikkhave		
177	II	164	- K × 無							1. atha kho āyasmā Rāhulo		
178	II	165	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
179	II	167	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
180	II	167	仏 G ○ 無			○	○		Bhoganagara	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- [2]cattāro 'me bhikkhave(1)		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号。
19 戦士品												
181	II	170	- K × 無							1. catuhi bhikkhave(1)		(1) [テ] テキストの付した1.は上記180経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。下記182経も同じ。
182	II	172	- K × 無							1. catunnaṃ [bhikkhave]		
183	II	172	仏 G ○ 有			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- [2]atha kho Vassakāro(1)	○	(1) [テ] [2]は筆者が付した番号。
184	II	173	- K × 無							1. atha kho Jāṇussoṇī brāhmaṇo(1)		(1) [テ] テキストの付した1.は上記183経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。
185	II	176	仏 G ○ 無			○	○		霊鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
186	II	177	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu		
187	II	179	仏 G ○ 有			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	○	
188	II	181	仏 G ○ 無			○	○		霊鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
189	II	182	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
190	II	183	仏 G ○ 無			○	○		鹿母講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
20 大品												

191	II	185	- K × 無							1. sotānugatānaṃ bhikkhave		
192	II	187	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
193	II	190	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
194	II	194	弟 G ○ 無			○		Ānanda	Sāpūga	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
195	II	196	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
196	II	200	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
197	II	202	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
198	II	205	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
199	II	211	- K × 無							1. taṇhaṃ vo bhikkhave		
200	II	213	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
21 善士品												
201	II	217	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
202	II	218	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
203	II	218	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
204	II	219	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
205	II	220	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
206	II	221	- K × 無							1. asappurisaṅ ca vo bhikkhave		
207	II	222	- K × 無							1. pāpaṅ ca vo bhikkhave		
208	II	223	- K × 無							1. pāpaṅ ca vo bhikkhave		

209	II	223	- K × 無							1. pāpadhammañ ca vo bhikkhave		
210	II	224	- K × 無							1. pāpadhammañ ca vo bhikkhave		
22 荘飾品												
211	II	225	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
212	II	226	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
213	II	226	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
214	II	226	- K × 無							-- pe --		
215	II	227	- K × 無							-- pe --		
216	II	227	- K × 無							-- pe --		
217	II	227	- K × 無							-- pe --		
218	II	227	- K × 無							-- pe --		
219	II	227	- K × 無							-- pe --		
220	II	227	- K × 無							-- pe --		
23 妙行品												
221	II	228	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
222	II	228	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
223	II	229	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
224	II	229	- K × 無							-- pe --		
225	II	229	- K × 無							-- pe --		
226	II	229	- K × 無							-- pe --		
227	II	229	- K × 無							-- pe --		
228	II	229	- K × 無							-- pe --		
229	II	230	- K × 無							-- pe --		
230	II	230	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
24 業品												
231	II	230	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
232	II	230	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		

233	II	232	- K × 無							1. atha kho Sikho Moggallāno brāhmaṇo		
234	II	233	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
235	II	235	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
236	II	236	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
237	II	237	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
238	II	237	- K × 無							1. catuhi bhikkhave		
239	II	238	- K × 無							1. idh' eva bhikkhave		
240	II	239	- K × 無							sappurisaṃ bhikkhave		
25 犯畏品												
241	II	239	仏 G ○ 無			○	○		Kosambī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
242	II	240	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
243	II	243	- K × 無							1. sikkhānisamsam idaṃ bhikkhave		
244	II	244	- K × 無							catasso imā bhikkhave		
245	II	245	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
246	II	245	- K × 無							1. cattāro 'me bhikkhave		
247	II	246	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
248	II	246	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
249	II	246	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
250	II	246	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
26 通慧品												
251	II	246	- K × 無							cattāro 'me bhikkhave		
252	II	247	- K × 無							1. catasso imā bhikkhave		
253	II	248	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave		
254	II	248	- K × 無							1. atha kho āyasmā Mālukyaputto		

255	II	249	- K × 無							1. yāni kānici bhikkhave	
256	II	250	- K × 無							1. catuhi bhikkhave	
257	II	251	- K × 無							1. catuhi bhikkhave	
258	II	252	- K × 無							cattār' imāni bhikkhave	
259	II	252	- K × 無							1. catuhi bhikkhave	
260	II	252	- K × 無							1. catuhi bhikkhave	
27 業道品											
261	II	253	- K × 無							1. catuhi bhikkhave	
262	II	253	- K × 無							catuhi bhikkhave	
263	II	254	- K × 無							-- pe --	
264	II	254	- K × 無							-- pe --	
265	II	254	- K × 無							-- pe --	
266	II	254	- K × 無							-- pe --	
267	II	255	- K × 無							-- pe --	
268	II	255	- K × 無							-- pe --	
269	II	255	- K × 無							-- pe --	
270	II	255	- K × 無							-- pe --	
28 畢品											
271 ⁽¹⁾	II	256	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	(1) 〔経〕テキストの末尾に、第五の五十〔経〕 (paññāsakaṃ pañcamam) と記されている。
5 集											
1 学力品											
1	III	1	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam -- 2. pañc' imāni bhikkhave	
2	III	2	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave ⁽¹⁾	(1) 〔テ〕前経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。下記4経まで同様である。
3	III	3	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave	
4	III	3	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave	
5	III	4	- K × 無							1. yo hi koci bhikkhave	
6	III	5	- K × 無							1. na tāva bhikkhave	

7	Ⅲ	5	- K × 無							1. yebhuyyena bhikkhave		
8	Ⅲ	6	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
9	Ⅲ	7	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
10	Ⅲ	8	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
2 力品												
11	Ⅲ	9	- K × 無							1. pubbāhaṃ bhikkhave		
12	Ⅲ	10	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
13	Ⅲ	10	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
14	Ⅲ	10	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
15	Ⅲ	11	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
16	Ⅲ	12	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
17	Ⅲ	12	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
18	Ⅲ	13	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
19	Ⅲ	13	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
20	Ⅲ	14	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
3 五支品												
21	Ⅲ	14	- K × 無							1. so vata bhikkhave		
22	Ⅲ	15	- K × 無							1. so vata bhikkhave		
23	Ⅲ	16	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
24	Ⅲ	19	- K × 無							1. dussīlassa bhikkhave		
25	Ⅲ	20	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
26	Ⅲ	21	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
27	Ⅲ	24	- K × 無							1. samādhim bhikkhave		
28	Ⅲ	25	- K × 無							1. ariyassa bhikkhave		
29	Ⅲ	29	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
30	Ⅲ	30	仏 F ○ 無			○	○		Icchānaṅgala	○(1)	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) [衆] 大比丘サンガ

4 須摩那品												
31	Ⅲ	32	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
32	Ⅲ	35	仏 G ○ 無			○	○		竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
33	Ⅲ	36	仏 G ○ 無			○	○		Bhaddiya	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
34	Ⅲ	38	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
35	Ⅲ	41	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
36	Ⅲ	41	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
37	Ⅲ	42	- K × 無							1. bhojanaṃ bhikkhave		
38	Ⅲ	42	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
39	Ⅲ	43	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
40	Ⅲ	44	- K × 無							1. himavantam bhikkhave		
5 文荼王品												
41	Ⅲ	45	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
42	Ⅲ	46	- K × 無							1. sappuriso bhikkhave		
43	Ⅲ	47	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati		
44	Ⅲ	49	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
45	Ⅲ	51	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
46	Ⅲ	53	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
47	Ⅲ	53	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
48	Ⅲ	54	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
49	Ⅲ	57	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
50	Ⅲ	57	弟 G ○ 無			○		Nārada	Pāṭaliputta	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
6 蓋品												
51	Ⅲ	63	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		

52	Ⅲ	65	- K × 無							1. akusalarāsi ti bhikkhave
53	Ⅲ	65	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave
54	Ⅲ	65	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
55	Ⅲ	67	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā
56	Ⅲ	69	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu
57	Ⅲ	71	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave
58	Ⅲ	75	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā
59	Ⅲ	78	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
60	Ⅲ	78	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
7 想品										
61	Ⅲ	79	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
62	Ⅲ	79	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
63	Ⅲ	80	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
64	Ⅲ	80	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
65	Ⅲ	81	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
66	Ⅲ	81	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave
67	Ⅲ	81	- K × 無							1. yo hi koci bhikkhave
68 ⁽¹⁾	Ⅲ	82	- K × 無							1. pubbāhaṃ bhikkhave
69	Ⅲ	83	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
70	Ⅲ	83	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
8 戦士品										
71	Ⅲ	84	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
72	Ⅲ	85	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
73	Ⅲ	86	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu
74	Ⅲ	88	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu
75	Ⅲ	89	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave
76	Ⅲ	93	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave

77	Ⅲ	100	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
78	Ⅲ	103	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
79	Ⅲ	105	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
80	Ⅲ	105	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
9 長老品											
81	Ⅲ	110	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
82	Ⅲ	111	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
83	Ⅲ	111	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
84	Ⅲ	112	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
85	Ⅲ	112	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
86	Ⅲ	113	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
87	Ⅲ	113	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
88	Ⅲ	114	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
89	Ⅲ	116	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
90	Ⅲ	116	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
10 カクダ品											
91	Ⅲ	118	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
92	Ⅲ	119	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
93	Ⅲ	119	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave	
94	Ⅲ	119	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
95	Ⅲ	119	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
96	Ⅲ	120	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
97	Ⅲ	120	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
98	Ⅲ	121	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
99	Ⅲ	121	- K × 無							1. Siho bhikkhave	
100	Ⅲ	122	仏 G ○ 無			○	○		Kosambī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
11 安穩住品											
101	Ⅲ	127	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
102	Ⅲ	128	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
103	Ⅲ	128	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
104	Ⅲ	130	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
105	Ⅲ	132	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	

106	Ⅲ	132	仏G○無			○	○		Kosambī	1.ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
107	Ⅲ	134	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
108	Ⅲ	134	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
109	Ⅲ	135	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
110	Ⅲ	135	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
12 阿那頻頭 品												
111	Ⅲ	136	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
112	Ⅲ	137	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
113	Ⅲ	137	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
114	Ⅲ	138	仏G○無			○	○		Andhakavinda	1.ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
115	Ⅲ	139	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
116	Ⅲ	139	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
117	Ⅲ	140	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
118	Ⅲ	140	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
119	Ⅲ	141	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
120	Ⅲ	141	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
13 病品												
121	Ⅲ	142	仏G○無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
122	Ⅲ	143	-K×無							1. yo hi koci bhikkhave		
123	Ⅲ	143	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
124	Ⅲ	144	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
125	Ⅲ	145	-K×無							1. pañc' ime bhikkhave		
126	Ⅲ	145	-K×無							1. pañc' ime bhikkhave		
127	Ⅲ	145	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
128	Ⅲ	146	-K×無							1. pañc' ime bhikkhave		
129	Ⅲ	146	-K×無							1. pañc' ime bhikkhave		
130	Ⅲ	147	-K×無							1. pañc' ime bhikkhave		
14 王品												
131	Ⅲ	147	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		
132	Ⅲ	148	-K×無							1. pañcahi bhikkhave		

133	Ⅲ	149	- K × 無							1. yo pi kho bhikkhave		
134	Ⅲ	151	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
135	Ⅲ	152	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
136	Ⅲ	154	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
137	Ⅲ	156	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
138	Ⅲ	156	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
139	Ⅲ	157	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
140	Ⅲ	161	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
15 ティカン ダキ品												
141	Ⅲ	164	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
142	Ⅲ	165	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
143	Ⅲ	167	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
144	Ⅲ	169	仏 G ○ 無			○	○		Sāketa	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
145	Ⅲ	170	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
146	Ⅲ	171	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
147	Ⅲ	171	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
148	Ⅲ	172	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
149	Ⅲ	173	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
150	Ⅲ	173	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
16 妙法品												
151	Ⅲ	174	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
152	Ⅲ	175	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
153	Ⅲ	175	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
154	Ⅲ	176	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
155	Ⅲ	177	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
156	Ⅲ	178	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
157	Ⅲ	181	- K × 無							1. pañcannaṃ bhikkhave		
158	Ⅲ	183	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		

159	Ⅲ	184	仏 G ○ 無			○	○		Kosambī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
160	Ⅲ	184	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
17 嫌恨品												
161	Ⅲ	185	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
162	Ⅲ	186	- K × 無							1. tatra kho -- Sāriputto etad avoca		
163	Ⅲ	190	- K × 無							1. tatra kho -- Sāriputto etad avoca		
164	Ⅲ	191	- K × 無							1. tatra kho -- Sāriputto etad avoca		
165	Ⅲ	191	- K × 無							1. tatra kho -- Sāriputto etad avoca		
166	Ⅲ	192	- K × 無							1. tatra kho -- pe --		
167	Ⅲ	196	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto bhikkhū āmantesi		
168	Ⅲ	200	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto bhikkhū āmantesi		
169	Ⅲ	201	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
170	Ⅲ	202	弟 G ○ 無			○		Ānanda	Kosambī	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
18 優婆塞品												
171	Ⅲ	203	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舍	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- 2. pañcahi bhikkhave		
172	Ⅲ	203	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave ⁽¹⁾	(1)〔テ〕上記171経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。下記173経も同様。	
173	Ⅲ	204	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
174	Ⅲ	204	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati		
175	Ⅲ	206	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		

176	Ⅲ	206	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
177	Ⅲ	208	- K × 無							1. pañc' imā bhikkhave	
178	Ⅲ	208	- K × 無							1. taṃ kiṃ maññatha bhikkhave	
179	Ⅲ	211	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati	
180	Ⅲ	214	仏 F ○ 無			○	○		Kosala	○ ⁽¹⁾ 1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) 〔衆〕大比丘サンガ
19 阿蘭若品											
181	Ⅲ	219	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
182	Ⅲ	219	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
183	Ⅲ	219	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
184	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
185	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
186	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
187	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
188	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
189	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
190	Ⅲ	220	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
20 婆羅門品											
191	Ⅲ	221	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
192	Ⅲ	223	- K × 無							1. atha kho Doṇo brāhmaṇo	
193	Ⅲ	230	- K × 無							1. atha kho Saṅgāravo brāhmaṇo	
194	Ⅲ	236	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
195	Ⅲ	239	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
196	Ⅲ	240	- K × 無							1. Tathāgatassa bhikkhave	
197	Ⅲ	243	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
198	Ⅲ	243	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
199	Ⅲ	244	- K × 無							1. yasmim bhikkhave	

200	Ⅲ	245	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
21 金毘羅品												
201	Ⅲ	247	仏 G ○ 無			○	○		Kimbilā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
202	Ⅲ	248	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
203	Ⅲ	248	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
204	Ⅲ	248	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
205	Ⅲ	248	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
206	Ⅲ	249	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
207	Ⅲ	250	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
208	Ⅲ	250	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
209	Ⅲ	251	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
210	Ⅲ	251	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
22 罵詈品												
211	Ⅲ	252	- K × 無							1. yo so bhikkhave bhikkhu		
212	Ⅲ	252	- K × 無							1. yo so bhikkhave bhikkhu		
213	Ⅲ	252	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
214	Ⅲ	254	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
215	Ⅲ	254	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
216	Ⅲ	255	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
217	Ⅲ	255	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
218	Ⅲ	255	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
219	Ⅲ	256	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
220	Ⅲ	256	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
23 長遊行品												
221~230	Ⅲ	257	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
24 旧住品												
231~240	Ⅲ	261	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave		
25 悪行品												
241~250	Ⅲ	267	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
26 近門品												

251 ⁽¹⁾	Ⅲ	271	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	(1) 〔経〕テキストには経番が付されていないが、本資料集では取りあえず番号を付した。なお撰偈でいう「十(dasa)」の数とは合わない。
252	Ⅲ	271	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
253	Ⅲ	272	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave	
254	Ⅲ	272	- K × 無							1. pañcannaṃ bhikkhave	
255	Ⅲ	272	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
256	Ⅲ	272	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
257	Ⅲ	273	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
258	Ⅲ	273	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave	
259	Ⅲ	274	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
260	Ⅲ	274	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
261	Ⅲ	274	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
262	Ⅲ	275	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
263	Ⅲ	276	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
264	Ⅲ	276	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
265	Ⅲ	276	- K × 無							1. pañcahi bhikkhave	
266	Ⅲ	277	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
267	Ⅲ	277	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
268	Ⅲ	277	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
269	Ⅲ	277	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
270	Ⅲ	278	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
271	Ⅲ	278	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
6 集											
1 応請品											
1	Ⅲ	279	仏B○有	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam -- 2. chahi bhikkhave	○
2	Ⅲ	280	- K × 無							1. chahi bhikkhave ⁽¹⁾	(1) 〔テ〕上記1経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。下記10経まで同。
3	Ⅲ	281	- K × 無							1. chahi bhikkhave	
4	Ⅲ	282	- K × 無							1. chahi bhikkhave	

5	Ⅲ	282	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
6	Ⅲ	283	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
7	Ⅲ	283	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
8	Ⅲ	284	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		
9	Ⅲ	284	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		
10	Ⅲ	284	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekam samayaṃ Bhagavā		
2 可念品												
11	Ⅲ	288	- K × 無							1. cha yime bhikkhave		
12	Ⅲ	289	- K × 無							1. cha yime bhikkhave		
13	Ⅲ	290	- K × 無							1. cha yimā bhikkhave		
14	Ⅲ	292	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto		
15	Ⅲ	294	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto		
16	Ⅲ	295	仏 G ○ 無			○	○		Suṃsmāragira	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
17	Ⅲ	298	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
18	Ⅲ	301	仏 F ○ 無			○	○		Kosala	○(1) 1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔衆〕大比丘サンガ
19	Ⅲ	303	仏 G ○ 無			○	○		Nādika	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
20	Ⅲ	306	仏 G ○ 無			○	○		Nādika	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
3 無上品												
21	Ⅲ	309	仏 G ○ 無			○	○		Sāmagāmaka	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
22	Ⅲ	310	- K × 無							1. cha yime bhikkhave		
23	Ⅲ	310	- K × 無							1. bhayan ti bhikkhave		
24	Ⅲ	311	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
25	Ⅲ	312	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		

26	Ⅲ	314	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Mahākaccāno	
27	Ⅲ	317	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu	
28	Ⅲ	320	弟 G ○ 無			○		therā bhikkhū	Bārāṇasī	1. ekaṃ samayaṃ sambahulā therā bhikkhū	
29	Ⅲ	322	- K × 無							1. atha kho Bhagavā āyasmantam Udāyim āmantesi	
30	Ⅲ	325	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave	
4 天品											
31	Ⅲ	329	- K × 無							1. cha yime bhikkhave	
32(1)	Ⅲ	330	- K × 無							1. atha kho aññatarā devatā	(1) 〔経〕本文中にJetavanaの園林名がある。
33(1)	Ⅲ	331	- K × 無							1. imaṃ bhikkhave rattiṃ aññatarā devatā	(1) 〔経〕本文中にJetavanaの園林名がある。
34	Ⅲ	331	仏 G ○ 無			○	●(1)		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) 〔主〕本文に世尊は登場せず。
35	Ⅲ	334	- K × 無							1. cha yime bhikkhave	
36	Ⅲ	334	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave	
37	Ⅲ	336	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
38	Ⅲ	337	- K × 無							1. atha kho aññataro brāhmaṇo	
39	Ⅲ	338	- K × 無							1. tiṇ' imāni bhikkhave	
40	Ⅲ	339	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Kimbilā	1. evam me sutam	
41	Ⅲ	340	弟 B ○ 無	○	○	○		Sāriputta	靈鷲山	1. evam me sutam	
42	Ⅲ	341	仏 A ○ 無	○	○	○	○		icchānaṅgala	○(1)	1. evam me sutam (1) 〔衆〕大比丘サンガ
5 曇爾品											
43	Ⅲ	344	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
44	Ⅲ	347	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando	

45	Ⅲ	351	- K × 無							1. dāḷiddiyaṃ bhikkhave		
46	Ⅲ	355	弟 B ○ 無	○	○	○		Mahācunda	Sahajāti	1. evam me sutāṃ		
47	Ⅲ	356	- K × 無							1. atha kho Moliyasivako paribbājako		
48	Ⅲ	357	- K × 無							1. atha kho aññataro brāhmaṇo		
49	Ⅲ	358	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
50	Ⅲ	360	- K × 無							1. indriyasamvare bhikkhave		
51	Ⅲ	361	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
52	Ⅲ	362	- K × 無							1. atha kho Jāṇussoṇi brāhmaṇo		
53	Ⅲ	364	- K × 無							1. atha kho aññataro brāhmaṇo		
54	Ⅲ	366	仏 G ○ 無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
6 大品												
55	Ⅲ	374	仏 B ○ 無	○	○	○	○		靈鷲山	1. evam me sutāṃ		
56	Ⅲ	379	- K × 無							1 tena kho pana samayena āyasmā Phagguno		
57	Ⅲ	383	仏 G ○ 無			○	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
58	Ⅲ	387	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
59	Ⅲ	391	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Nādika	1. evam me sutāṃ		
60	Ⅲ	392	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Bārāṇasī	1. evam me sutāṃ		
61	Ⅲ	399	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Bārāṇasī	1. evam me sutāṃ		
62	Ⅲ	402	仏 A ○ 無	○	○	○	○		Daṇḍakappaka	○(1) 1. evam me sutāṃ		(1) [衆] 大比丘サンガ
63	Ⅲ	410	- K × 無							1. nibbedhikapariyāyaṃ vo bhikkhave		
64	Ⅲ	417	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		

94	Ⅲ	439	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		
95	Ⅲ	440	- K × 無							1. cha yimāni bhikkhave		
10 勝利品												
96	Ⅲ	441	- K × 無							1. channaṃ bhikkhave		
97	Ⅲ	441	- K × 無							1. cha yime bhikkhave		
98	Ⅲ	441	- K × 無							1. so vata bhikkhave		
99	Ⅲ	442	- K × 無							so vata bhikkhave		
100	Ⅲ	442	- K × 無							-- kañci dhammaṃ attato		
101	Ⅲ	442	- K × 無							1. so vata bhikkhave		
102	Ⅲ	443	- K × 無							1. cha bhikkhave		
103	Ⅲ	443	- K × 無							1. cha bhikkhave		
104	Ⅲ	444	- K × 無							1. cha bhikkhave		
105	Ⅲ	444	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
106	Ⅲ	445	- K × 無							1. tisso imā bhikkhave		
11 三法品												
107	Ⅲ	445	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
108	Ⅲ	446	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
109	Ⅲ	446	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
110	Ⅲ	446	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
111	Ⅲ	447	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
112	Ⅲ	447	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
113	Ⅲ	448	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
114	Ⅲ	448	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
115	Ⅲ	448	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
116	Ⅲ	449	- K × 無							1. tayo 'me bhikkhave		
12 品所不撰 経												
117	Ⅲ	449	- K × 無							1. cha bhikkhave		
118	Ⅲ	450	- K × 無							1. cha bhikkhave		
119	Ⅲ	450	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
120	Ⅲ	451	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
121	Ⅲ	451	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave		

122	Ⅲ	452	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
123	Ⅲ	452	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
124	Ⅲ	452	- K × 有							1. rāgassa bhikkhave	○(1) (1) 〔結〕集の最後の経に歓喜文があるので、それ以前の集の最後の経に歓喜文があると解釈することも可能。
7 集											
1 財品											
1	Ⅳ	1	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam -- 2. sattahi bhikkhave	
2	Ⅳ	2	- K × 無							1. sattahi bhikkhave(1)	(1) 〔テ〕経の内容から略されているとも考えられるがテキスト通りに空欄にした。
3	Ⅳ	3	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave(1)	(1) 〔テ〕上記1経の略と見ることも可能だがテキスト通りに空欄にした。以下6経まで同。
4	Ⅳ	3	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
5	Ⅳ	4	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
6	Ⅳ	5	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
7	Ⅳ	6	- K × 無							1. atha kho Uggo rājahamāmatto	
8	Ⅳ	7	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
9	Ⅳ	7	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
10	Ⅳ	8	- K × 無							1. satt' imāni bhikkhave	
2 随眠品											
11	Ⅳ	9	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
12	Ⅳ	9	- K × 無							1. sattannaṃ bhikkhave	
13	Ⅳ	10	- K × 無							1. sattahi bhikkhave	
14	Ⅳ	10	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
15	Ⅳ	11	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
16	Ⅳ	13	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
17	Ⅳ	14	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
18	Ⅳ	15	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	

3 跋耆品												
19	IV	16	仏B○無	○	○	○	○		Vesālī	1. evam me sutam		
20	IV	17	仏B○有	○	○	○	○		霊鷲山	1. evam me sutam	○	
21	IV	21	仏B○無	○	○	○	○		霊鷲山	1. evam me sutam -- [2]satta vo bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号。
22	IV	22	-K×無							1. satta vo bhikkhave ⁽¹⁾		(1) [テ] 前経の略と見ることも可能だが テキスト通りに空欄とした。以下30経まで同様。
23	IV	22	-K×無							1. satta vo bhikkhave		
24	IV	23	-K×無							1. satta vo bhikkhave		
25	IV	24	-K×無							1. satta vo bhikkhave		
26	IV	24	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
27	IV	25	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
28	IV	26	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
29	IV	26	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
30	IV	26	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
4 天品												
31 ⁽¹⁾	IV	27	-K×無							1. atha kho aññatarā devatā		(1) [経] 本文中に、Jetavanaの園林名が ある。
32 ⁽¹⁾	IV	28	-K×無							1. imam bhikkhave rattim aññatarā devatā		(1) [経] 本文中に、Jetavanaの園林名が ある。
33	IV	29	-K×無							1. imam bhikkhave rattim aññatarā devatā		
34	IV	30	-K×無							1. imam bhikkhave rattim aññatarā devatā		
35	IV	31	-K×無							1. sattahi bhikkhave		
36	IV	32	-K×無							1. sattahi bhikkhave		
37	IV	32	-K×無							1. sattahi bhikkhave		
38	IV	34	-K×無							1. sattahi bhikkhave		
39	IV	34	仏G○無			○	○		祇園精舎	1. ekam samayaṃ Bhagavā		
40	IV	37	仏B○無	○	○	○	○		Kosambī	1. evam me sutam		
5 大供犠品												
41	IV	39	-K×無							1. satt' imā bhikkhave		
42	IV	40	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		
43	IV	41	-K×無							1. satt' ime bhikkhave		

44	IV	41	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
45	IV	46	-K×無								1. satt' imā bhikkhave		
46	IV	46	-K×無								1. satt' imā bhikkhave		
47	IV	54	-K×無								1. atha kho Jāṇussoṇi brāhmaṇo		
48	IV	57	-K×無								1. saṃyogavisamyoḡaṃ vo bhikkhave		
49	IV	59	仏G○無			○	○		Campā		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
50	IV	63	弟A○無	○	○	○		Sāriputta, Mahāmogallāna	Dakkiṇāgiri	○(1)	1. evaṃ me sutāṃ		(1) [衆] 大比丘サンガ
6 無記品													
51	IV	67	-K×無								1. atha kho aññataro bhikkhu		
52	IV	70	-K×無								1. satta bhikkhave		
53	IV	74	仏B○無	○	○	○	○		靈鷲山		1. evaṃ me sutāṃ		
54	IV	79	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂		1. evaṃ me sutāṃ		
55	IV	82	-K×無								1. cattār imāni bhikkhave		
56	IV	84	仏B○無	○	○	○	○		Kimbilā		1. evaṃ me sutāṃ		
57	IV	85	-K×無								1. sattahi bhikkhave		
58	IV	85	仏B○無	○	○	○	○		Sumsumāragira		1. evaṃ me sutāṃ		
59	IV	91	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
60	IV	94	-K×無								1. satt' ime bhikkhave		
7 大品													
61	IV	99	-K×無								1. hirottappe bhikkhave		
62	IV	100	仏B○無	○	○	○	○		Vesālī		1. evaṃ me sutāṃ		
63	IV	106	-K×無								1. yato kho bhikkhave		
64	IV	113	-K×無								1. sattahi bhikkhave		
65	IV	117	-K×無								1. yasmaṃ bhikkhave		
66	IV	120	-K×無								1. atha kho āyasmato Sāriputtassa		

67	IV	125	- K × 無								1. bhāvaṇaṃ ananuyuttassa bhikkhave	
68	IV	128	仏 A ○ 無	○	○	○	○		Kosala	○(1)	1. evam me sutāṃ	(1) 〔衆〕 大比丘サンガ
69	IV	135	- K × 無								1. bhūtapubbaṃ bhikkhave	
70	IV	136	- K × 無								1. bhūtapubbaṃ bhikkhave	
8 律品												
71	IV	140	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
72	IV	140	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
73	IV	141	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
74	IV	141	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
75	IV	142	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
76	IV	142	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
77	IV	142	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
78	IV	143	- K × 無								1. sattahi bhikkhave	
79	IV	143	- K × 無								1. atha kho āyasmā Upāli	
80	IV	144	- K × 無								1. satt' ime bhikkhave	
9 [品所不撰 品](1)												(1) 〔経〕 テキストにはVagga名は立てて ない。
81(1)	IV	144	- K × 無								1. sattannaṃ bhikkhave	(1) 〔経〕 81経以下、テキストには経番が ないので、仮に番号を付けた。
82	IV	144	- K × 無								1. sattannaṃ bhikkhave	
83	IV	145	- K × 無								1. satt' ime bhikkhave	
84	IV	145	- K × 無								1. satt' ime bhikkhave	
85	IV	145	- K × 無								1. satt' ime bhikkhave	
86	IV	146	- K × 無								1. satt' ime bhikkhave	
87	IV	148	- K × 無								1. rāgassa bhikkhave	
88	IV	148	- K × 無								1. rāgassa bhikkhave	
89	IV	148	- K × 無								1. rāgassa bhikkhave	
90	IV	148	- K × 有								1. rāgassa bhikkhave	○(1) (1) 〔結〕 また集の最後の経に歓喜文があ るので、それ以前の集の最後の経に歓喜文が あると解釈することも可能。

8 集												
1 慈品												
1	IV	150	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
2	IV	151	-K×無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
3	IV	155	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
4	IV	156	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
5	IV	156	-K×無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
6	IV	157	-K×無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
7	IV	160	仏G○無			◎(1)	○		靈鷲山	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [時] 提婆達多が去って間もなくして (acirapakkante Devadatte)
8	IV	162	弟G○無			○		Uttara	Mahisavatthu	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
9	IV	166	-K×無							1. kuraputto ti bhikkhave		
10	IV	168	仏G○無			○	○		Campā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
2 大品												
11	IV	172	仏B○無	○	○	○	○		Verañjā	1. evam me sutam		
12	IV	179	仏G○無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
13	IV	188	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
14	IV	190	-K×無							1. aṭṭha ca bhikkhave		
15	IV	195	-K×無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
16	IV	196	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
17	IV	196	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
18	IV	197	-K×無							1. aṭṭhahi bhikkhave		
19	IV	197	仏G○無			○	○		Verañjā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
20	IV	204	仏B○無	○	○	○	○		重閣講堂	1. evam me sutam		
3 居士品												
21	IV	208	仏G○無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
22	IV	212	仏G○無			○	○		Hatthigāma	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		

23	IV	216	仏 G ○ 無			○	○		Āḷavī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
24	IV	218	仏 G ○ 無			○	○		Āḷavī	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
25	IV	220	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
26	IV	222	仏 G ○ 無			○	○		Rājagaha	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
27	IV	223	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
28	IV	223	- K × 無							1. atha kho āyasmā Sāriputto		
29	IV	225	- K × 無							1. khaṇakicco khaṇakicco loko ti bhikkhave		
30	IV	228	仏 G ○ 無			○	○		Sumsumāragira	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
4 布施品												
31	IV	236	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
32	IV	236	- K × 無							偈文		
33	IV	236	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
34	IV	237	- K × 無							1 aṭṭhaṅgasamannāgate bhikkhave		
35	IV	239	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
36	IV	241	- K × 無							1. tiṇ' imāni bhikkhave		
37	IV	243	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
38	IV	244	- K × 無							1. sappuriso bhikkhave		
39	IV	245	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
40	IV	247	- K × 無							1. paṇātipāto bhikkhave		
5 布薩品												

41	IV	248	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎		1. evam me sutam -- 2. atṭhaṅgasamannāgato bhikkhave		
42	IV	251	-K×無								1 atṭhaṅgasamannāgato bhikkhave(1)		(1) [テ] 前経の略と見ることも可能可能だがテキスト通りに空欄とした。
43	IV	255	仏G○無			○	○		鹿母講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
44	IV	258	仏G○無			○	○		重閣講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
45	IV	259	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
46	IV	262	仏G○無			○	○		Kosambī		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
47	IV	267	仏G○無			○	○		鹿母講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
48	IV	268	仏G○無			○	○		Suṃsumāragira		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
49	IV	269	仏G○無			○	○		鹿母講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā -- 2. catūhi kho Visāke		
50	IV	271	仏G△無			△	△		△鹿母講堂		2. catūhi bhikkhave		
6 瞿曇彌品													
51	IV	274	仏G○無			○	○		Kapilavatthu		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
52	IV	279	仏G○無			○	○		重閣講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
53	IV	280	仏G○無			○	○		重閣講堂		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
54	IV	281	仏G○無			○	○		Kakkarapatta		1. ekam samayaṃ Bhagavā		
55	IV	285	-K×無								1. atha kho Ujjayo brāhmaṇo		
56	IV	289	-K×無								1. bhayan ti bhikkhave		
57	IV	290	-K×無								1. atṭhahi bhikkhave		
58	IV	291	-K×無								1. atṭhahi bhikkhave		
59	IV	292	-K×無								1. atṭh' ime bhikkhave		

60	IV	292	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
7 地震品												
61	IV	293	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
62	IV	296	- K × 無							1. chahi bhikkhave		
63	IV	299	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu		
64	IV	302	仏 G ○ 無			○	○		Gayā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
65	IV	305	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
66	IV	306	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
67	IV	307	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
68	IV	307	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
69	IV	307	- K × 無							1. aṭṭh' imā bhikkhave		
70	IV	308	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
8 雙品												
71	IV	314	- K × 無							1. saddho ca bhikkhave		
72	IV	315	- K × 無							1. saddho ca bhikkhave		
73	IV	316	仏 G ○ 無			○	○		Nātika	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
74	IV	320	仏 G ○ 無			○	○		Nātika	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
75	IV	322	- K × 無							1. aṭṭh' imā bhikkhave		
76	IV	322	- K × 無							1. aṭṭh' imā bhikkhave		
77	IV	325	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto		
78	IV	328	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto		
79	IV	331	- K × 無							1. aṭṭh' ime bhikkhave		
80	IV	332	- K × 無							1. aṭṭh' imāni bhikkhave		
9 念品												
81	IV	336	- K × 無							1. satisampajaññe bhikkhave		

82	IV	337	- K × 無							1. atha kho āyasmā Puṇṇiyo	
83	IV	338	- K × 無							1. sace bhikkhave	
84	IV	339	- K × 無							1. aṭṭhahi bhikkhave	
85	IV	340	- K × 無							1. samaṇo ti bhikkhave	
86	IV	340	仏 F ○ 無			○	○		icchānaṅgala	○ ⁽¹⁾ 1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	(1) [衆] 大比丘サンガ
87	IV	344	- K × 無							1. aṭṭhahi bhikkhave	
88	IV	345	- K × 無							1. aṭṭhahi bhikkhave	
89	IV	346	- K × 無							1. aṭṭhahi bhikkhave	
90 ⁽¹⁾	IV	347	- K × 無							1. tassapāpiyyasikākam-makatena bhikkhave	(1) [経] このあと南伝は「食品」を立て第1章～第17章に分け、各章10節、1節3経と数え、17×10×3=510経とするが、PTSは品を立てず経番号付さないのて、本資料集では略した。
9 集											
1 等覚品											
1	IV	351	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam	
2	IV	353	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu	
3	IV	354	仏 G ○ 無			○	○		Cālikā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
4	IV	358	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
5	IV	363	- K × 無							1. cattār' imāni bhikkhave	
6	IV	365	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto	
7	IV	369	仏 B ○ 無	○	○	○	○		靈鷲山	1. evam me sutam	
8	IV	371	仏 B ○ 無	○	○	○	○		靈鷲山	1. evam me sutam	
9	IV	372	- K × 無							1. nava yime bhikkhave	
10	IV	373	- K × 無							1. nava yime bhikkhave	
2 師子吼品											
11	IV	373	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam	

12	IV	378	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
13	IV	382	- K × 無							1. atha kho āyasmā Mahākoṭṭhito		
14	IV	385	- K × 無							1. atha kho āyasmā Samiddhi		
15	IV	386	- K × 無							1. seyyathā pi bhikkhave		
16	IV	387	- K × 無							1. nava yimā bhikkhave		
17	IV	387	- K × 無							1. navahi bhikkhave		
18	IV	388	- K × 無							1. navah' aṅgehi samannāgato bhikkhave		
19(1)	IV	390	- K × 無							1. imaṃ ca bhikkhave rattiṃ sambahulā devatā		(1) 〔経〕本文中にJetavanaの園林名がある。
20	IV	392	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
3 有情居品												
21	IV	396	- K × 無							1. tihi bhikkhave		
22	IV	397	- K × 無							1. tayo ca bhikkhave		
23	IV	400	- K × 無							1. nava bhikkhave		
24	IV	401	- K × 無							1. nava yime bhikkhave		
25	IV	402	- K × 無							1. yato kho bhikkhave		
26	IV	402	弟 B ○ 無	○	○	○		Sāriputta, Candikāputta	竹林精舎	1. evam me sutam		
27	IV	405	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati		
28	IV	407	- K × 無							1. yato kho bhikkhave		
29	IV	408	- K × 無							1. nava yimāni bhikkhave		
30	IV	408	- K × 無							1. nava yime bhikkhave		
31	IV	409	- K × 無							1. nava yime bhikkhave		
4 大品												
32	IV	410	- K × 無							1. nava yime bhikkhave		
33	IV	410	- K × 無							1. nava yime bhikkhave		
34	IV	414	弟 B ○ 無	○	○	○		Sāriputta	竹林精舎	1. evam me sutam		

35	IV	418	- K × 無							1. seyyathā pi bhikkhave	
36	IV	422	- K × 無							1. paṭhamam p' ahaṃ bhikkhave	
37	IV	426	弟 B ○ 無	○	○	○		Ānanda	Kosambī	1. evam me sutam	
38	IV	428	- K × 無							1. atha kho dve lokāyatikā brāhmaṇā	
39	IV	432	- K × 無							1. bhūtapubbaṃ bhikkhave	
40	IV	435	- K × 無							1. yasmim bhikkhave	
41	IV	438	仏 B ○ 無	○	○	○	○		Uruvelakappa	1. evam me sutam	
5 般闍羅健品											
42	IV	449	弟 B ○ 無	○	○	○		Ānanda	Kosambī	1. evam me sutam	
43	IV	451	- K × 無							1. kāyasakkhī kāyasakkhī ti āvuso vuccati	
44	IV	452	- K × 無							1. paññāvimutto paññāvimutto ti āvuso vuccati	
45	IV	453	- K × 無							1. ubhatobhāgavimutto ubhatobhāgavimutto ti āvuso vuccati	
46	IV	453	- K × 無							sandiṭṭhiko dhammo sandiṭṭhiko dhammo ti āvuso vuccati	
47	IV	453	- K × 無							sandiṭṭhikaṃ nibbānaṃ sandiṭṭhikaṃ nibbānan ti āvuso vuccati	
48	IV	454	- K × 無							nibbānaṃ nibbānan ti āvuso vuccati	
49	IV	454	- K × 無							parinibbānaṃ parinibbānan ti āvuso vuccati	
50	IV	454	- K × 無							tadaṅganibbānaṃ tadaṅganibbānan ti āvuso vuccati	

51	IV	454	- K × 無							1 diṭṭhadhamma-nibbānaṃ diṭṭhadhamma-nibbānaṃ ti āvuso vuccati		
6 安穩品												
52	IV	455	- K × 無							khemamaṃ khemaṃ ti āvuso vuccati		
53	IV	455	- K × 無							khemappatto khemappatto ti āvuso vuccati		
54	IV	455	- K × 無							amatam amataṃ ti āvuso vuccati		
55	IV	455	- K × 無							amatappatto amatappatto ti āvuso vuccati		
56	IV	455	- K × 無							abhayaṃ abhayaṃ ti āvuso vuccati		
57	IV	455	- K × 無							abhayappatto abhayappatto ti āvuso vuccati		
58	IV	455	- K × 無							passaddhi passaddhi ti āvuso vuccati		
59	IV	456	- K × 無							anupubbapassaddhi anupubbapassaddhi ti āvuso vuccati		
60	IV	456	- K × 無							nirodho nirodho ti āvuso vuccati		
61	IV	456	- K × 無							1. anupubbanirodho anupubbanirodho ti āvuso vuccati		
62	IV	456	- K × 無							1. nava bhikkhave		
7 念処品												
63	IV	457	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
64	IV	457	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
65	IV	458	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		

66	IV	458	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
67	IV	459	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
68	IV	459	- K × 無							1. pañc' imā bhikkhave		
69	IV	459	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
70	IV	460	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
71	IV	460	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
72	IV	461	- K × 無							1. pañc' ime bhikkhave		
8 正勤品												
73~82	IV	462	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		
9 神足品												
83~92 ⁽¹⁾	IV	463	- K × 無							1. pañc' imāni bhikkhave		(1) 〔経〕品末には「四念処・四〔正〕勤・四神足は前に準じて説くべし (cattāro satipaṭṭhānā padhānā caturo pade cattāro iddhipādā pi purimehi ca yojaye ti)」とある。
10 食品												
93~100	IV	465	- K × 有							1. rāgassa bhikkhave	○(1)	(1) 〔結〕集の最後の経に歓喜文があるので、それ以前の集の最後の経に歓喜文があると解釈することも可能。
10 集												
1 功德品												
1	V	1	仏 B ○ 無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam		
2	V	2	- K × 無							1. silavato bhikkhave		
3	V	4	- K × 無							1 dussilassa bhikkhave		
4	V	5	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Sāriputto		
5	V	6	- K × 無							1. tatra kho āyasmā Ānando		
6	V	7	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
7	V	8	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
8	V	10	- K × 無							1. saddho ca bhikkhave		

9	V	11	- K × 無							1. saddho ca bhikkhave		
10	V	12	- K × 無							1. saddho ca bhikkhave		
2 救護品												
11	V	15	- K × 無							1. pañcaṅgasaman-nāgato bhikkhave		
12	V	16	- K × 無							1. pañcaṅgavippahīno bhikkhave		
13	V	17	- K × 無							1. dasa yimāni bhikkhave		
14	V	17	- K × 無							1. yassa kassaci bhikkhave		
15	V	21	- K × 無							1. yāvatā bhikkhave		
16	V	23	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
17	V	23	- K × 無							1. snāthā bhikkhave		
18	V	25	- K × 無							1. snāthā bhikkhave		
19	V	29	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
20	V	29	仏 G ○ 無			○	○		Kammāsadhamma	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
3 大品												
21	V	32	- K × 無							1. Siho bhikkhave		
22	V	36	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
23	V	39	- K × 無							1. atthi bhikkhave		
24	V	41	弟 G ○ 無			○		Mahācunda	Sahajāti	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
25	V	46	- K × 無							1. dasa yimāni bhikkhave		
26	V	46	弟 G ○ 無			○		Mahākaccāna	Avanti	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
27	V	48	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舍	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
28	V	54	仏 G ○ 無			○	○		Kajaṅgala	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
29	V	59	- K × 無							1. yāvatā bhikkhave		
30	V	65	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舍	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		

4 優波離品												
31	V	70	- K × 無							1. atha kho āyasmā Upāli		
32	V	71	- K × 無							1. katihi nu kho bhante		
33	V	72	- K × 無							1. katihi nu kho bhante		
34	V	73	- K × 無							1. katihi nu kho bhante		
35	V	73	- K × 無							1. saṅghabhedo saṅghabhedo ti bhante vuccati		
36	V	74	- K × 無							1. saṅghasāmaggī saṅghasāmaggī ti bhante vuccati		
37	V	75	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando		
38	V	75	- K × 無							1. samaggaṃ pana bhante		
39	V	76	- K × 無							1. saṅghasāmaggī saṅghasāmaggī ti bhante vuccati		
40	V	76	- K × 無							1. bhinnaṃ pana bhante		
5 罵詈品												
41	V	77	- K × 無							1. atha kho āyasmā Upāli		
42	V	78	- K × 無							1. kati nu kho bhante		
43	V	78	- K × 無							1. kati nu kho bhante		
44	V	79	仏 G ○ 無			○	○		Kusinārā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
45	V	81	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
46	V	83	仏 G ○ 無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
47	V	86	仏 G ○ 無			○	○		重閣講堂	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
48	V	87	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
49	V	88	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		

50	V	88	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
6 己心品													
51	V	92	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
52	V	94	-K×無								1. tatra kho -- Bhagavā etad avoca		
53	V	96	-K×無								1. ṭhitiṃ p' ahaṃ bhikkhave		
54	V	98	-K×無								1. no ce bhikkhave		
55	V	102	-K×無								1. tatra kho -- Sāriputto etad avoca		
56	V	105	-K×無								1. dasa yimā bhikkhave		
57	V	106	-K×無								1. dasa yimā bhikkhave		
58	V	106	-K×無								1. sace bhikkhave		
59(1)	V	107	-K×無								1. tasmā ti ha bhikkhave		(1) 〔経〕南伝訳者は文献上これに先行すべき文あるべしと註記。南伝22上 p.352の註1参照
60	V	108	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
7 雙品													
61	V	113	-K×無								1. purimā bhikkhave		
62	V	116	-K×無								1. purimā bhikkhave		
63	V	119	-K×無								1. ye keci bhikkhave		
64	V	120	-K×無								1. ye keci bhikkhave		
65	V	120	弟G○無			○		Sāriputta	Nālakagāmaka		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
66	V	121	弟G○無			○		Sāriputta	Nālakagāmaka		1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
67	V	122	仏F○無			○	○		Naḷakapāna	○(1)	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) 〔衆〕大比丘サンガ
68	V	125	仏G○無			○	○		Naḷakapāna		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
69	V	128	仏G○無			○	○		祇園精舎		1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		

70	V	129	- K × 無							1. dasa yimāni bhikkhave		
8 願品												
71	V	131	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
72	V	133	仏 F ○ 無			○	○		重閣講堂	○ ⁽¹⁾ 1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		(1) [衆] チャーラ、ウパチャーラなどの長老比丘等
73	V	135	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
74	V	137	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
75	V	137	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
76	V	144	- K × 無							1. tayo bhikkhave		
77	V	149	- K × 無							1. dasahi bhikkhave		
78	V	150	- K × 無							1. dasahi bhikkhave		
79	V	150	- K × 無							1. dasa yimāni bhikkhave		
80	V	150	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
9 長老品												
81	V	151	仏 G ○ 無			○	○		Campā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- [2] atha kho āyasmā Bahuno ⁽¹⁾		(1) [テ] [2]は筆者が付した番号。
82	V	152	- K × 無							1. atha kho āyasmā Ānando ⁽¹⁾		(1) [テ] テキストに付された1.は前経の筆者が付した番号[2]と見ること可能だがテキスト通りに空欄とした。下記83経も同様である。
83	V	154	- K × 無							1. atha kho āyasmā Puṇṇiyo		
84	V	155	- K × 無							1. tatra kho -- Mahāmogallāno etad avoca		
85	V	157	弟 G ○ 無			○		Mahācunda	Sahajāti	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
86	V	161	弟 G ○ 無			○		Mahākassapa	竹林精舎	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā		
87	V	164	- K × 無							1. tatra kho -- Bhagavā etad avoca		
88	V	169	- K × 無							1. yo so bhikkhave		

89 ⁽¹⁾	V	170	- K × 無							1. atha kho Kokāliko bhikkhu	(1) 〔経〕本文中にJetavanaの園林名がある。
90	V	174	- K × 無							1. atha kho āyasmā Sāriputto	
10 優婆塞品											
91	V	176	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā -- [2] atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati ⁽¹⁾	(1) 〔テ〕[2]は筆者が付した番号。
92	V	182	- K × 無							1. atha kho Anāthapiṇḍiko gahapati ⁽¹⁾	(1) 〔テ〕テキストに付された1.は前経の筆者が付した番号[2]と見ることも可能だがテキスト通りに空欄とした。
93	V	185	仏 G ○ 無			○	○		祇園精舎	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
94	V	189	仏 G ○ 無			○	○		Campā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
95	V	193	- K × 無							1. atha kho Uttiyo paribbājako	
96	V	196	弟 G ○ 無			○		Ānanda	Rājagaha	1. ekaṃ samayaṃ āyasmā	
97	V	198	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
98	V	201	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
99	V	201	- K × 無							1. atha kho āyasmā Upāli	
100	V	209	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave	
11 沙門想品											
101	V	210	- K × 無							1. tisso bhikkhave	
102	V	211	- K × 無							1. satt' ime bhikkhave	
103	V	211	- K × 無							1. micchattaṃ bhikkhave	
104	V	212	- K × 無							1. micchādiṭṭhikassa bhikkhave	
105	V	214	- K × 無							1. avijjā bhikkhave	
106	V	215	- K × 無							1. dasa yimāni bhikkhave	
107	V	216	- K × 無							1. atthi bhikkhave	

108	V	218	- K × 無							1. tikicchakā bhikkhave		
109	V	219	- K × 無							1. tikicchakā bhikkhave		
110	V	220	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
111	V	221	- K × 無							1. atha kho aññataro bhikkhu		
112	V	222	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
12 捨法品												
113	V	222	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave		
114	V	223	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave		
115	V	224	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave		
116	V	229	- K × 無							1. atha kho ājito paribbājako		
117	V	232	- K × 無							1. atha kho Saṅgāravo brāhmaṇo		
118	V	233	- K × 無							1. orimañ ca vo bhikkhave		
119	V	233	- K × 無							1. tena kho pana samayena Jāṇussoṇī brāhmaṇo		
120	V	236	- K × 無							1. ariyaṃ vo bhikkhave		
121	V	236	- K × 無							1. suriyassa bhikkhave		
122	V	237	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
13 清浄品												
123	V	237	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
124	V	237	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
125	V	238	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
126	V	238	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
127	V	238	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
128	V	238	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
129	V	239	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
130	V	239	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
131	V	239	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		

132	V	240	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
133	V	240	- K × 無							1. dasa yime bhikkhave		
14 善良品												
134	V	240	- K × 無							1. sādhuñ ca vo bhikkhave		
135	V	241	- K × 無							1. ariyadhammañ ca vo bhikkhave		
136	V	241	- K × 無							1. kusalañ ca vo bhikkhave		
137	V	241	- K × 無							1. atthañ ca vo bhikkhave		
138	V	242	- K × 無							1. dhammañ ca vo bhikkhave		
139	V	242	- K × 無							1. sāsavañ ca vo bhikkhave		
140	V	242	- K × 無							1. sāvajjañ ca vo bhikkhave		
141	V	243	- K × 無							1. tapanīyañ ca vo bhikkhave		
142	V	243	- K × 無							1. ācayagāmiñ ca vo bhikkhave		
143	V	243	- K × 無							1. dukkhudrayaṅ ca vo bhikkhave		
144	V	244	- K × 無							1. dukkhuvipākaṅ ca vo bhikkhave		
15 聖道品												
145	V	244	- K × 無							1. ariyamaggañ ca vo bhikkhave		
146	V	244	- K × 無							1. sukkamaggañ ca vo bhikkhave		
147	V	245	- K × 無							1. saddhammañ ca vo bhikkhave		
148	V	245	- K × 無							1. sappurisadhammañ ca vo bhikkhave		
149	V	245	- K × 無							1. uppādetabbañ ca vo bhikkhave		
150	V	246	- K × 無							1. āsevitabbañ ca vo bhikkhave		

151	V	246	- K × 無							1. bhāvetabbañ ca vo bhikkhave	
152	V	246	- K × 無							1. bahulikātabbañ ca vo bhikkhave	
153	V	247	- K × 無							1. anussaritabbañ ca vo bhikkhave	
154	V	247	- K × 無							1. sacchikātabbañ ca vo bhikkhave	
16 人品											
155~166 (1)	V	247	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	(1) 〔経〕テキストには156経~166経の項目を纏めて挙げる。
17 生聞品											
167	V	249	- K × 無							1. tena kho pana samayena Jāṇussoṇī brāhmaṇo	
168	V	251	- K × 無							1. ariyaṃ vo bhikkhave	
169	V	252	- K × 無							1. atha kho Saṅgāravo brāhmaṇo	
170	V	253	- K × 無							1. orimañ ca vo bhikkhave	
171	V	254	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave	
172	V	255	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave	
173	V	260	- K × 無							1. adhammo ca bhikkhave	
174	V	261	- K × 無							1. pāṇātipātaṃ p' ahaṃ bhikkhave	
175	V	262	- K × 無							1. saparikkamano ayaṃ bhikkhave	
176	V	263	仏 G ○ 無			○	○		Pāvā	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā	
177	V	269	- K × 無							1. atha kho Jāṇussoṇī brāhmaṇo	
18 善良品											
178	V	273	- K × 無							1. sādhuñ ca vo bhikkhave	

179	V	274	- K × 無							1. ariyadhammañ ca vo bhikkhave		
180	V	274	- K × 無							1. kusalañ ca vo bhikkhave		
181	V	275	- K × 無							1. atthañ ca vo bhikkhave		
182	V	275	- K × 無							1. dhammañ ca vo bhikkhave		
183	V	275	- K × 無							1. sāsavañ ca vo bhikkhave		
184	V	276	- K × 無							1. sāvajjañ ca vo bhikkhave		
185	V	276	- K × 無							1. tapanīyañ ca vo bhikkhave		
186	V	276	- K × 無							1. ācāyapagāmiñ ca vo bhikkhave		
187	V	277	- K × 無							1. ācāyapagāmiñ ca vo bhikkhave		
188	V	277	- K × 無							1. dukkhudrayañ ca vo bhikkhave		
19 聖道品												
189	V	278	- K × 無							1. ariyamaggañ ca vo bhikkhave		
190	V	278	- K × 無							1. kañhamaggañ ca vo bhikkhave		
191	V	278	- K × 無							1. saddhammañ ca vo bhikkhave		
192	V	279	- K × 無							1. sappurisdhammañ ca vo bhikkhave		
193	V	279	- K × 無							1. uppādetabbañ ca vo bhikkhave		
194	V	279	- K × 無							1. āsevitabbañ ca vo bhikkhave		
195	V	280	- K × 無							1. bhāvetabbañ ca vo bhikkhave		
196	V	280	- K × 無							1. bahulikātabbañ ca vo bhikkhave		

197	V	280	- K × 無							1. anussaritabbañ ca vo bhikkhave	
198	V	281	- K × 無							1. sacchikātabbañ ca vo bhikkhave	
20 人品											
199 ⁽¹⁾	V	281	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	(1) 〔経〕テキストに経番が付されていないのでそのまま踏襲するが、これを付すと199経～210経となり、各経のフレーズが199経中に纏めてある。
21 業所生身品											
200	V	283	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
201	V	285	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
202	V	286	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
203	V	287	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
204	V	288	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
205	V	288	- K × 無							1. samsappaniya-pariyāyaṃ vo bhikkhave	
206	V	292	- K × 無							1. nāhaṃ bhikkhave	
207	V	297	- K × 無							1. nāhaṃ bhikkhave	
208	V	299	- K × 無							1. nāhaṃ bhikkhave	
209	V	301	- K × 無							1. atha kho aññataro brāhmaṇo	
[広説] ⁽¹⁾											(1) 〔経〕 Vagga名は南伝訳にならう。
210	V	303	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
211	V	304	- K × 無							1. vīsatiyā bhikkhave	
212	V	305	- K × 無							1. tiṃsāya bhikkhave	
213	V	306	- K × 無							1. cattārisāya bhikkhave	
214	V	308	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
215	V	308	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
216	V	309	- K × 無							1. dasahi bhikkhave	
[食品] ⁽¹⁾											(1) 〔経〕 Vagga名は南伝訳にならう。
217	V	309	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
218	V	310	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	
219	V	310	- K × 無							1. rāgassa bhikkhave	

11 集												
1 依止品												
1(1)	V	311	仏B○無	○	○	○	○		祇園精舎	1. evam me sutam	(1) 〔経〕PTS脚注p.311によれば、異本Sに、Evaṃ me sutam. Ekaṃ samayaṃ Bhagavā Sāvattihyaṃ viharati Jetavane Anāthapiṇḍikassa ārāme.とあるので、これを採る。	
2	V	312	-K×無							1. silavato bhikkhave		
3	V	313	-K×無							1. dusīlassa bhikkhave		
4	V	315	-K×無							1. tatra kho - Sāriputto etad avoca		
5	V	316	-K×無							1. tatra kho āyasmā Ānando bhikkhū āmantesi		
6	V	317	-K×無							1. yo so bhikkhave		
7	V	318	-K×無							1. atha kho āyasmā Ānando		
8(1)	V	319	-K×無							1. atha kho āyasmā Ānando	(1) 〔経〕世尊は「世尊の所説」という経文に見られるだけ。なお経文の区切り方に疑問があるが、今はテキストにしたがう。	
9	V	321	-K×無							1. atha kho āyasmā Ānando		
10	V	322	仏G○無			○	○		Ñātika	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
11	V	326	仏G○無			○	○		Rājagaha	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
2 憶念品												
12	V	328	仏G○無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
13	V	332	仏G○無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
14	V	334	仏G○無			○	○		Kapilavatthu	1. ekaṃ samayaṃ Bhagavā		
15	V	337	-K×無							1. atha kho āyasmā Subhūti saddhena bhikkhunā saddhiṃ		
16	V	342	-K×無							1. mettāya bhikkhave		

17	V	342	弟 G ○ 無					○	Ānanda	Beluvagāma	1. ekaṃ samayam āyasmā		
18	V	347	- K × 無								1. ekādasahi bhikkhave		
19	V	353	- K × 無								1. atha kho sambahulā bhikkhū		
20	V	354	- K × 無								1. tatra kho - Bhagavā etad avoca		
21	V	356	- K × 無								1. atha kho sambahulā bhikkhū		
22	V	357	- K × 無								1. tatra kho āyasmā Sāriputto bhikkhū āmantesi		
[広説]													
23 ⁽¹⁾	V	359	- K - 無								1. ekādasahi bhikkhave		(1) [経] 南伝「広説」(22下 p.348) 箇所に対応する。
[食品]													
24 ⁽¹⁾	V	360	- K × 有								1. rāgassa bhikkave	○ ⁽²⁾	(1) [経] 南伝「食品」(22下 p.351) 箇所に対応する。(2) [結] 集の最後の経に歓喜文があるので、それ以前の集の最後の経に歓喜文があると解釈することも可能である。

【9】後書きに代えてーデータの統計と上記統計による若干の分析

後書きに代えてデータの統計的処理とこれに基づいた若干の分析を行う。

[1] 「六事+歡喜文」タイプの4ニカーヤ別統計

「六事」と「歡喜文」を併せた、【3】に記したなかの2種目のタイプを4ニカーヤ別に集計すると次のようになる。
%は経の総数に対する割合である。

以下にはこれを「第1表」と呼ぶ。

タイプ	総数	%	DN.	%	MN.	%	SN.	%	AN.	%
仏A○有	10	0.30%	4	11.76%	6	3.95%				
仏A○無	19	0.56%	6	17.65%	7	4.61%	2	0.12%	4	0.26%
弟A○無	3	0.09%	1	2.94%			1	0.06%	1	0.06%
小計	32	0.94%	11	32.35%	13	8.55%	3	0.18%	5	0.32%
仏B○有	120	3.54%	12	35.29%	98	64.47%	8	0.48%	2	0.13%
仏B○無	187	5.52%	10	29.41%	34	22.37%	104	6.28%	39	2.52%
仏B△無	37	1.09%					37	2.23%		
弟B○有	2	0.06%			2	1.32%				
弟B○無	25	0.74%	1	2.94%	5	3.29%	11	0.66%	8	0.52%
弟B△無	5	0.15%					5	0.30%		
小計	376	11.10%	23	67.65%	139	91.45%	165	9.96%	49	3.17%
ーC○無	1	0.03%					1	0.06%		
ーC△有	10	0.30%					10	0.60%		
小計	11	0.32%					11	0.66%		

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

-D○無	2	0.06%				2	0.12%		
小計	2	0.06%				2	0.12%		
-E○無	1	0.03%				1	0.06%		
小計	1	0.03%				1	0.06%		
仏F○有	1	0.03%				1	0.06%		
仏F○無	15	0.44%				7	0.42%	8	0.52%
弟F○無	2	0.06%				2	0.12%		
小計	18	0.53%				10	0.60%	8	0.52%
仏G○有	8	0.24%				5	0.30%	3	0.19%
仏G○無	220	6.50%				100	6.04%	120	7.77%
仏G△有	3	0.09%				3	0.18%		
仏G△無	198	5.85%				197	11.90%	1	0.06%
弟G○有	2	0.06%				2	0.12%		
弟G○無	86	2.54%				68	4.11%	18	1.17%
弟G△無	56	1.65%				56	3.38%		
小計	573	16.92%				431	26.03%	142	9.19%
-H○無	1	0.03%				1	0.06%		
小計	1	0.03%				1	0.06%		
仏I○無	1	0.03%				1	0.06%		
小計	1	0.03%				1	0.06%		

パーリ「経歳」の六事と仏在処一覧

-J○有	20	0.59%				20	1.21%			
-J○無	744	21.97%				742	44.81%	2	0.13%	
-J△無	250	7.38%				250	15.10%			
小計	1,014	29.94%				1,012	61.11%	2	0.13%	
-K-無	1,358	40.09%				19	1.15%	1,339	86.67%	
小計	1,358	40.09%				19	1.15%	1,339	86.67%	
合計	3,387	100%	34	100%	152	100%	1,656	100%	1,545	100%

[2] 六事各項目についての4ニカーヤ別統計

「信」「聞」「時」「主」「処」「衆」の各項目のニカーヤ別データ数は上記〔第1表〕によっても知ることができるのであるが（例えば「信」があるものはA、B、C、D、Eタイプなのであるからこれを合計すればよい）、一々計算しなければならない不便があるから、これを統計表としてまとめておく。ただし「信」「聞」が切り離されて別々に記されることはないから、これについては一緒に扱う。

なお%は経の総数に占める割合である。「処」欄の◎は○として扱い、「主」の「仏」欄の●は○として扱った。

以下にはこれを〔第2表〕と呼ぶ。

六事		総数	%	DN.	%	MN.	%	SN.	%	AN.	%
信・聞	○	371	10.95%	34	100%	152	100%	131	7.91%	54	3.50%
	△	51	1.51%	-		-		51	3.08%	-	
	-	2,965	87.54%	-		-		1,474	89.01%	1,491	96.50%
時	○	702	20.73%	34	100%	152	100%	313	18.90%	203	13.14%
	△	309	9.12%	-		-		308	18.60%	1	0.06%
	-	2,376	70.15%	-		-		1,035	62.50%	1,341	86.80%

主	仏	○	581	17.15%	32	94.12%	145	95.39%	228	13.77%	176	11.39%
		△	238	7.03%	-	-	-	-	237	14.31%	1	0.06%
	弟	○	120	3.54%	2	5.88%	7	4.61%	84	5.07%	27	1.75%
		△	61	1.80%	-	-	-	-	61	3.68%	-	-
	-	2,387	70.48%	-	-	-	-	-	1,046	63.16%	1,341	86.80%
処	○	1,470	43.40%	34	100%	152	100%	1,079	65.16%	205	13.27%	
	△	558	16.47%	-	-	-	-	557	33.64%	1	0.06%	
	-	1,359	40.12%	-	-	-	-	20	1.21%	1,339	86.67%	
衆	○	50	1.48%	11	32.35%	13	8.55%	13	0.79%	13	0.84%	
	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	3,337	98.52%	23	67.65%	139	91.45%	1,643	99.21%	1,532	99.16%	
歡喜	○	173	5.11%	16	47.06%	106	69.74%	41	2.48%	10	0.65%	
	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	3,214	94.89%	18	52.94%	46	30.26%	1,615	97.52%	1,535	99.35%	

[3] 漢訳阿含経の「如是我聞」と「歡喜奉行」データ

参考のために漢訳阿含経の経の冒頭の「如是我聞」と、末尾の「歡喜奉行」を調査してみた。

「如是我聞」は文字通り経の冒頭部分のみを調査したものであって、「時」「主」「処」「衆」については調査していない。「如是我聞」にはもちろん「我聞如是」や「聞如是」などを含める。

末尾の「歡喜奉行」は単純にその文章中に「喜」という文字があるかどうかのみで判断した。たとえば「仏の所説を聞いて誰それは心解脱して阿羅漢果を得た」という文章には「喜」が含まれていないので「歡喜文なし」と判断した。

なお『雑阿含経』の経数は、大正藏経では通し番号 1,362 で終わっているから総数は 1,362 経ということになるが、

第455経が欠番になっており、また第52経は「鬱低迦修多羅。如増一阿含経四法中説」とし経の形をとっていないのでこれは除外した。したがって『雑阿含経』の総経数は1,360経となる。

『別訳雑阿含経』は大正蔵経の通し番号は364で終わっているが、第213経は独立した経ではなく数に入れるべきものではないと判断して総数を363経とした。

『増一阿含経』には通し番号が付されていないので品ごとに経数を調査してみると総数は472経となる。ただし「序品第1」は通常の経ではなく、第2品から第7品までは「声聞弟子中第一比丘は誰それである」というような形で名前が列挙されるだけであるからこれも通常の経ではない。これらを除外すると総数は429経である⁽¹⁾。

これを次のような表にまとめてみた。以下にはこれを「**第3表**」と呼ぶ。

文献	総数	如是我聞がないもの	如是我聞があるもの	あるものの%	歓喜奉行がないもの	歓喜奉行があるもの	あるものの%
長阿含	30	1	29	96.67%	1	29	96.67%
中阿含	222	—	222	100.00%	1	221	99.55%
雑阿含	1,360	2	1,358	99.85%	159	1,201	88.31%
別訳雑阿含	363	26	337	92.84%	84	279	76.86%
増一阿含	429	—	429	100.00%	—	429	100.00%
計	2,404	29	2,375	98.79%	245	2,159	89.81%

(1) 『増一阿含経』の品ごとの経数は次のとおりである。

品	経数	品	経数	品	経数	品	経数	品	経数
序品	1	第13品	7	第25品	10	第37品	10	第49品	10
第2品	10	第14品	10	第26品	10	第38品	12	第50品	10
第3品	10	第15品	10	第27品	10	第39品	10	第51品	10
第4品	10	第16品	10	第28品	7	第40品	10	第52品	9
第5品	5	第17品	11	第29品	10	第41品	5		
第6品	4	第18品	10	第30品	3	第42品	10		

第7品	3	第19品	11	第31品	11	第43品	10		
第8品	10	第20品	13	第32品	12	第44品	11		
第9品	10	第21品	10	第33品	10	第45品	7		
第10品	10	第22品	10	第34品	10	第46品	9		
第11品	10	第23品	10	第35品	10	第47品	10		
第12品	10	第24品	10	第36品	5	第48品	6		

[4] 上記統計による若干の分析

[4-1] 「六事」のすべてと「歓喜文」を具えたもの（「A〇有」タイプ）が「経」であると定義するとすれば、パーリにおいてはこのタイプに属する経は10経しかない（[第1表] 参照）。経の総数に占める割合は**0.30%**しかないので、実に**99.7%**が経ではないということになる。

漢訳阿含ではこのような厳密な調査をしていないので比較することはできないが、次のような数字から大体の傾向は知られる。

まず漢訳の阿含経においては「如是我聞」で始まるものは[第3表]に見られるとおり全経中の**98.79%**を占める。しかしパーリにこのことばがあるのは**12.46%**のみである（[第2表] 参照）。

また漢訳阿含においては「歓喜文」のあるものは**89.81%**を占める（[第3表] 参照）。しかも歓喜文があったのは「喜」という文字が含まれているかどうかによって判断したものであって、「仏の所説を聞いて誰それは心解脱して阿羅漢果を得た」という文章で終る経は「歓喜文なし」と判断しているから、これらも含めると割合はもっと増える。これに対してパーリにおいて「歓喜文」があるのは**5.11%**にすぎない（[第2表] 参照）。

漢訳阿含において「如是我聞」と「歓喜文」の両方が具わっているかどうかは調査していないが、歓喜文のあるものには「如是我聞」以下六事が具わっていると仮定すると(1)、全体の**90%近くは六事と歓喜文を具えた「A〇有」タイプの経とすることができる。**

経の本文たる内容（正宗分）はパーリ・ニカーヤと漢訳阿含とではよく一致する(2)が、形式上はこのような著しい相違がある。

(1) 前述のように「六事」の「信」「聞」以外の項目については調査していない。しかし「如是我聞」があるということは、「時」も「主」も「処」も意識されていると判断してよいと思われる。ただし[4-6]に述べるように「衆」を記す経は少ない。

(2) 今これを統計的に示すことはできないが、われわれのこの総合研究の最終報告書の1つである「釈尊年令にしたがって配列

した原始仏教聖典目録」には、経文の概要をもって漢パの対応関係を示すので、刊行の暁にこれをご覧いただければ一目瞭然である。

[4-2] 「歡喜文」を除外して「六事」のみに限定しても、パーリの経蔵の場合は六事すべてが具わったデータ (Aタイプ) でさえ32経にすぎず、全体の**0.94%**であり1%に満たない（[第1表] 参照）。衆のないBタイプを併せても32+376=376経しかなく**12.04%**しかない（[第1表] 参照）。

以上から、パーリの経蔵が「六事」という概念を有していなかったことは明白である。そもそも‘*evaṃ me sutam*’という文章を「信」と「聞」の2つの要素に分けて認識するなどということはありえない。これを2つに分けたのは、歴史的にみれば大乘経典は仏説ではないと感じていた大乘仏教の信奉者特有の心理が表れたものではなかろうか。

ただし「六事」を具えた経はDN.やMN.のみでなくSN.やAN.にも見出されるから（[第1表] 参照）、「六事」という概念はなかったとしても、「このように私は聞きました。ある時世尊はどこそこで、仏を上首とするサンガのメンバーたちと一緒に住され、そのときこんな教えを説かれました。そしてサンガのメンバーたちはその教えに満足し喜びました」というような文章形式が、第1結集以来の本来の経であるという認識はあったのであろう。特にAN.には形式的にこれを満たそうとした形跡が見出される。「集」の最初の経にだけは六事が置かれたり⁽¹⁾、「集」の最後尾に歡喜文が置かれたりしているからである⁽²⁾。これは漢訳の『増一阿含經』にも共通することで、『増一阿含經』においてはすべての経に「如是我聞」と「歡喜奉行」が具わっている。おそらくAN.や『増一阿含』は他のニカーヤや阿含よりも後の時代に編集されたのであろう。

(1) 第1集から第10集までの最初の経（第1経）には「衆」を除く5事が記されている（Bタイプ）。第11集の第1経にはこの記述はない。ただし[第1表]を見ればわかるように、AN.にはA、Bタイプを併せて54経あるから、集の途中の経にも6事情報が記される経があることになる。なお「処」は、第4集だけはヴァッジ国のバンダガーマであるが、他はすべて舍衛城の祇樹給孤獨園である。

(2) 第3、6、7、9、11集には集の最後尾に、いかにもこの集に含まれる経のすべてには歡喜文がありますよと示唆するような形で歡喜文が置かれている。ただし第1、2、4、5、8、10集には置かれぬ。1集-123、4集-183、187、6集-1、7集-20には集の途中であるが歡喜文がある。

[4-3] 「時」が示されるのは全体の**29.85%**である。**70.15%**にはこれが記されていないということになる（[第2表] 参照）。

「時」は大多数が「一時 (*ekam samayaṃ*)」⁽¹⁾ とのみ記されるが、中 (18経) には「仏般涅槃後」とか「成道直後」などと、「時」がいつのことであるかを具体的に示す記述がなされている。このようなものは「一覧表」の当該欄に◎を施し、備考欄にその時を記しておいた。

(1) この「一時」は伝統的に「仏在」に繋がると理解されてきたが、ジョン・ブラフ氏によって「一時」が直前の「我聞」に係る語句であったという説が提唱された以降、それに賛意を表明する研究者が多い中、オスカー・フォン・ヒンキューバー氏の強力な反論もあり、近年のインド仏教研究においては「一時」は前句と後句との両方と関連し、全体として「ある時、私はこう聞いた。（その時）世尊は……に住していた」という意味に理解する傾向が強まっている。船山徹「如是我聞」か「如是我聞一時」か—六朝隋唐の「如是我聞」解釋史への新視角『法鼓佛學學報第一期』（民國九十六年）法鼓佛教研修學院、pp.

241-275 参照。いずれの説を採用するにせよ、「一時」を「説経時」ではなくてあえて「聴経時」としてのみ理解することは不適當であろう。以上は釈尊伝研究会メンバーである岩井昌悟氏の教示による。

[4-4] 「主」はそれが「仏」であるものと「仏弟子」であるものを区別して示した。「主」が仏であるものは 819 経 24.18%で、仏弟子であるものは 181 経 5.34%である（[第2表] 参照）。「主」が無記入のものを除き、記入されているもの（1,000 経）だけの割合をいえば、仏が**81.9%**（819/1,000）、仏弟子が**18.1%**（181/1,000）になる。仏が主であるものの中には実際に仏が登場しない●で処理したものの 17 経が含まれているからこれを除外すると、仏が**81.59%**（802/983）、仏弟子が**18.41%**（181/983）となる。すなわち 2 割弱は「仏弟子説」であり、「仏説」ではない経ということになる。

「主」となっている仏弟子を掲げると次の表ようになる。なお複数の仏弟子が連記されている場合は、これらを分けて集計した。％は仏弟子の総数に対する割合である。自ずから釈尊教団の主立った仏弟子が誰であったかが知られるであろう。

人名	総数	%	DN.	%	MN.	%	SN.	%	AN.	%
Sāriputta	62	27.68					56	30.11	6	20.69
Ānanda	36	16.07	1	50.00	2	28.57	23	12.37	10	34.48
Anuruddha	23	10.27					23	12.37		
Mahāmoggallāna	22	9.82			2	28.57	19	10.22	1	3.45
Mahākoṭṭhita(1)	13	5.80					13	6.99		
Mahākaccāna(2)	8	3.57			1	14.29	4	2.15	3	10.34
Mahākassapa	5	2.23					4	2.15	1	3.45
Upasena	5	2.23					5	2.69		
Kāmaabhū	3	1.34					3	1.61		
Mahācunda	3	1.34							3	10.34
Vaṅgīsa	3	1.34					3	1.61		
Bhadda	2	0.89					2	1.08		

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

Nārada	2	0.89				1	0.54	1	3.45	
Udāyin	2	0.89				2	1.08			
Bakkula	1	0.45			1	14.29				
Candikāputta	1	0.45						1	3.45	
Godatta	1	0.45				1	0.54			
Lomasavaṅgīsa	1	0.45				1	0.54			
Musīla	1	0.45				1	0.54			
Nāgadatta	1	0.45				1	0.54			
Nandaka	1	0.45						1	3.45	
Kassapagotta	1	0.45				1	0.54			
Kumārakassapa	1	0.45	1	50.00						
Piṇḍolabhāradvāja	1	0.45				1	0.54			
Sabhiya-kaccāna	1	0.45				1	0.54			
Saviṭṭha	1	0.45				1	0.54			
Udena	1	0.45			1	14.29				
Upasena	1	0.45				1	0.54			
Upavāṇa	1	0.45				1	0.54			
Uttara	1	0.45						1	3.45	
Vajjiputtaka	1	0.45				1	0.54			
bhikkhu(3)	18	8.04				17	9.14	1	3.45	
合計	224	100%	2	100%	7	100%	186	100%	29	100%

そしてこの「仏弟子説」の経にも「信」「聞」があり、さらには「歓喜文」があるものもあるのであるから（〔第1表〕のAタイプ、Bタイプ参照）、原始仏教聖典の「経」は「仏説」も「仏弟子説」も区別されていなかったということになる。正確な調査はしていないが、これについては漢訳の阿含経も同様である（4）。パーリの **Khuddaka-nikāya** に仏弟子説の **Theragāthā** や **Therīgāthā** などが含まれるのも当然といえるわけである（5）。

- (1) 含む Mahākoṭṭhika
- (2) 含む Mahākaccāyana
- (3) aññatara bhikkhu のほか sambahulā bhikkhū, therā bhikkhū を含む
- (4) 上記 [4-1] の註 (2) 参照
- (5) 調査しているわけではないが、基本的には大乘仏教の「経」の説主が仏あるいは菩薩ではなく、声聞弟子を「主」とするものはないであろう。この点においても大乘仏教の経の概念とは大きな相違があるといわなければならない。例えば維摩居士が主人公の「維摩経」も次のように始まる。

呉月氏優婆塞支謙訳『維摩詰経』（大正 14 p.514 上）：聞如是。一時仏遊於維耶離奈氏樹園。与大比丘衆俱。比丘八千。菩薩三万二千。皆神通菩薩。一切大聖能隨俗化。……

姚秦三蔵鳩摩羅什訳『維摩詰所説経』（大正 14 p.537 上）：如是我聞。一時仏在毘耶離菴羅樹園。与大比丘衆八千人俱。菩薩三万二千。衆所知識。大智本行皆悉成就。諸仏威神之所建立。……

大唐三蔵法師玄奘奉詔訳『説無垢称経』（大正 14 p.557 下）：如是我聞。一時薄伽梵。住広嚴城菴羅衛林。与大苾芻衆八千人俱。菩薩摩訶薩三万二千。皆為一切衆望所識。大神通業修已成辦。諸仏威徳常所加持。

[4-5] 「処」情報は全体の **59.88 %** に記され、記されていないのは **40.12 %** であるから記されていない方が少ない（〔第2表〕参照）。六事のうちのこの「処」は特異な情報であったというべきであろう。なお処が記されない1,359 経のうちの1,358 経は何の情報も記されないKタイプの経であるから（残りの1 経はEタイプ）、何らかの六事情報が記される経の99.95%には「処」が記されているということになる。経蔵において「処情報」がいかに重要であったかということを物語るであろう。「処」のみが記されるJタイプが1,014 経もあることも（〔第1表〕参照）これを証明する。

要するに「信」も「聞」も、そして「時」も「衆」もいわば形式的な情報であるが、「処」情報は釈尊あるいは釈尊教団の客観的な歴史的事実を伝える実質的で重要かつ不可欠な情報であったということである。深読みすれば処情報の記されないものは、まさしく「データ経」であるということができるともかもしれない。

「処」欄に記した場所を国別に集計してみると次のようになる。国はデータ数の多い順に並べた。また市町村や精舎・園林などもデータ数の多い順に並べ、同数の場合にはアルファベット順に並べた。%は各国の地名総数に対する割合である。これによって釈尊の活動地が知られる。

これはパーリの経蔵だけを対象にしたものであるが「律蔵」も、そして漢訳も調査対象とし、さらに仏在処のみでなく仏が移動された先の「説処」も対象として調査したものに、金子芳夫編の【資料集2】「原始仏教聖典の仏在処・説処一覧」 (1) がある。より詳しくはこれをご参照いただきたい。

					DN.		MN.		SN.		AN.	
国名	属性	地名	総数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
Kosala	大都市	Sāvatti	937	46.20					935	57.15	2	0.97
		Sāketa	12	0.59					10	0.61	2	0.97
		Ayojjhā	1	0.05					1	0.06		
	市町村	Icchānaṅgala	6	0.30	1	2.94	1	0.66	1	0.06	3	1.46
		Sālā	4	0.20			2	1.32	2	0.12		
		Setaka(2)	4	0.20					4	0.24		
		Naḷakapāna	3	0.15			1	0.66			2	0.97
		Ujuññā	2	0.10	1	2.94	1	0.66				
		Ukkaṭṭhā(3)	2	0.10			1	0.66			1	0.49
		Daṇḍakappaka	1	0.05							1	0.49
		Ekasālā	1	0.05					1	0.06		
		Kāmaṇḍā	1	0.05					1	0.06		
		Kesaputta	1	0.05							1	0.49
		Manasākaṭa	1	0.05	1	2.94						
		Nagaravinda	1	0.05				1	0.66			
		Opasāda	1	0.05				1	0.66			
		Paṅkadhā	1	0.05							1	0.49
		Sālavatikā	1	0.05	1	2.94						
		Setavyā	1	0.05	1	2.94						

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

	市町村	Veḷudvāra	1	0.05					1	0.06		
		Venāgapura	1	0.05							1	0.49
	精舎	祇園精舎	285	14.05	4	11.76	70	46.05	161	9.84	50	24.27
		鹿母講堂	23	1.13	1	2.94	6	3.95	9	0.55	7	3.40
	国	Kosala	24	1.18			2	1.32	19	1.16	3	1.46
	小計		1,315	64.85	10	29.40	86	56.60	1,145	69.97	74	35.95
Magadha	大都市	Rājagaha	56	2.76	1	2.94	4	2.63	47	2.87	4	1.94
	市町村	Nālakagāmaka	18	0.89					16	0.98	2	0.97
		Nālandā(4)	10	0.49	3	8.82	1	0.66	6	0.37		
		Pāṭaliputta	7	0.35					6	0.37	1	0.49
		Kimbilā	5	0.25					2	0.12	3	1.46
		Gayā	3	0.15					2	0.12	1	0.49
		Andhakavinda	2	0.10					1	0.06	1	0.49
		Ambasaṇḍā	1	0.05	1	2.94						
		Cālikā	1	0.05							1	0.49
		Ekanāḷā	1	0.05					1	0.06		
		Khāṇumata	1	0.05	1	2.94						
		Mātulā	1	0.05	1	2.94						
		Pañcasālā	1	0.05						1	0.06	
	精舎	竹林精舎	151	7.45	1	2.94	16	10.53	127	7.76	7	3.40
	山	靈鷲山	36	1.78	4	11.76	2	1.32	15	0.92	15	7.28
	地域	Uruvelā	8	0.39					8	0.49		

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

	地域	Dakkhiṇāgiri	1	0.05						1	0.49	
	国	Magadha	1	0.05				1	0.06			
	小計		304	15.01	12	35.28	23	15.14	233	14.24	36	17.50
Vajji	大都市	Vesālī	8	0.39			1	0.66	4	0.24	3	1.46
		Mithilā	1	0.05			1	0.66				
	市町村	Nādika(5)	19	0.94	1	2.94	1	0.66	11	0.67	6	2.91
		Ukkacelā	5	0.25			1	0.66	4	0.24		
		Beluvagāmaka	3	0.15			1	0.66	1	0.06	1	0.49
		Hatthigāma	2	0.10					1	0.06	1	0.49
		Koṭigāma	2	0.10					2	0.12		
	精舎・園林	Bhaṇḍagāma	1	0.05							1	0.49
		重閣講堂	96	4.73	1	2.94	4	2.63	70	4.28	21	10.19
		Gosiṅgasāla-vanadāya	1	0.05			1	0.66				
	国	Videha	1	0.05			1	0.66				
小計		139	6.86	2	5.88	11	7.25	93	5.67	33	16.03	
Sakya・Koliya	都市	Kapilavatthu	53	2.61	1	2.94	5	3.29	37	2.26	10	4.85
	市町村	Devadaha	27	1.33			1	0.66	26	1.59		
		Haliddavasana	2	0.10			1	0.66	1	0.06		
		Sāmagāma	2	0.10			1	0.66			1	0.49
		Silāvati	2	0.10					2	0.12		

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

	市町村	Cātumā	1	0.05			1	0.66				
		Kakkarapatta	1	0.05							1	0.49
		Khomadussa	1	0.05					1	0.06		
		Medaḷumpa	1	0.05			1	0.66				
		Sajjanela	1	0.05							1	0.49
		Sakkara	1	0.05					1	0.06		
		Sāpūga	1	0.05							1	0.49
		Uttara	1	0.05					1	0.06		
		Vedhaññā	1	0.05	1	2.94						
小計		95	4.69	2	5.88	10	6.59	69	4.21	14	6.81	
Kāsi	大都市	Bārāṇasī	38	1.87			2	1.32	31	1.89	5	2.43
	市町村	Macchikāsaṅḍa	10	0.49					10	0.61		
	園林	Migadāya	7	0.35					7	0.43		
	国	Kāsi	1	0.05			1	0.66				
	小計		56	2.76			3	1.98	48	2.93	5	2.43
Vaṃsa・Bhagga	大都市	Kosambī	46	2.27	1	2.94	3	1.97	29	1.77	13	6.31
	都市	Suṃsumāragira	10	0.49			3	1.97	2	0.12	5	2.43
	小計		56	2.76	1	2.94	6	3.94	31	1.89	18	8.74
Aṅga	大都市	Campā	8	0.39	2	5.88	1	0.66	1	0.06	4	1.94
	市町村	Āpaṇa	4	0.20			3	1.97	1	0.06		
		Assapura	2	0.10			2	1.32				

パーリ「経蔵」の六事と仏在処一覧

	市町村	Bhaddiya	1	0.05							1	0.49
	小計		15	0.74	2	5.88	6	3.95	2	0.12	5	2.43
Malla	市町村	Kusinārā	6	0.30	1	2.94	1	0.66	1	0.06	3	1.46
		Uruvelakappa	4	0.20					3	0.18	1	0.49
		Pāvā	2	0.10	1	2.94					1	0.49
		Anupiya	1	0.05	1	2.94						
		Bhoganagara	1	0.05								1
	小計		14	0.70	3	8.82	1	0.66	4	0.24	6	2.93
Kuru	市町村	Kammāsadam - ma(6)	8	0.39	2	5.88	3	1.97	2	0.12	1	0.49
		Thullakoṭṭhita	1	0.05			1	0.66				
	小計		9	0.44	2	5.88	4	2.63	2	0.12	1	0.49
Ālavī	国	Ālavī	7	0.35					4	0.24	3	1.46
	小計		7	0.35					4	0.24	3	1.46
Sūrasena	都市	Madhurā(7)	3	0.15			1	0.66			2	0.97
	市町村	Verañjā	2	0.10							2	0.97
		Varaṇā	1	0.05							1	0.49
	小計		6	0.30			1	0.66			5	2.43
Avanti	国	Avanti	5	0.25					4	0.24	1	0.49
	小計		5	0.25					4	0.24	1	0.49
Ceti	市町村	Sahajāti	3	0.15							3	1.46
		Sahañcanika	1	0.05					1	0.06		

	小計		4	0.20				1	0.06	3	1.46	
その他	市町村	Kajāṅgala	2	0.10			1	0.66		1	0.49	
	地域	Mahisavatthu	1	0.05						1	0.49	
	小計		3	0.15			1	0.66		2	0.98	
	総計		2,028	100%	34	100%	152	100%	1,636	100%	206	100%

- (1) 「マガダ国篇」（「モノグラフ」第2号 2000年7月）、「祇園精舎（経蔵）篇」（「モノグラフ」第4号 2001年12月）、「祇園精舎（律蔵）篇」（「モノグラフ」第5号 2002年5月）、「コーサラ国篇」（「モノグラフ」第8号 2004年3月）、「その他国篇」（「モノグラフ」第15号 2009年10月）
- (2) Sedaka を含む（モノグラフ15号「補註15 Sumbha 国」p.655）
- (3) Ukatthā~Setavyā を含む
- (4) Rājagaha~Nālandā を含む
- (5) Nātika, Nātika を含む
- (6) Kammāssadhamma を含む
- (7) Madhurā~Veraṇā を含む

[4-6] 「衆」が記されているものは全体の**1.48%**にすぎず、他の情報に比して格段に少ない（[第2表]参照）。したがってこの「衆」情報もパーリの「経蔵」にとってはあってもなくともよい、あまり重要性のない情報であったということになる。

「衆」が記されている場合の内容を掲げると次のとおりとなる。

- 1,250人の大比丘サンガとするもの：3経
- 1,000人の大比丘サンガとするもの：1経
- 500人の大比丘サンガとするもの：15経
- 大比丘サンガとするもの：25経
- 比丘の個人名があげられるもの：5経

なお漢訳阿含経でも「衆」情報が記される経は少なく、「衆」がそれほど重要性のない情報であったことは漢・巴に共通する(1)。

- (1) ちなみに漢訳阿含の場合は次のようになる。ただし個人の場合は除く。
 - 『長阿含』は全30経のうち27経が1,250人で、500人とするのは1経のみ、合計28経である。
 - 『中阿含』は衆が記されるものは少なく、第121「請請経」（大正01 p.610上）が500人、第62「頻鞞婆羅王迎仏経」（大正01 p.497中）が1,000人、第207「箭毛経」（大正01 p.781中）が1,250人とするのみで、合計3経である。
 - 『雑阿含』も衆を記すものは少なく、第1192経（大正02 p.323上）、第1211経（p.329下）、第1212経（大正

02 p.330 上)、第1319 経 (p.362 上) が500 人とし、第914 経 (p.230 中) が1,250 人とするのみで、合計5 経。

『別訳雜阿含』も少なく、第105 経 (p.411 上)、第227 経 (p.457 上)、第228 経 (p.457 中) は500 人とし、第129 経 (p.423 中) は1,250 人とし、合計4 経。

『増一阿含』は、500 人が68 経で、1,250 人は4 経、合計**72** 経ある。

これを集計すると112 経で、全体では $112/2404=4.66\%$ となる。ただしこれには個人が対告衆であるものは含まれていない。としても漢訳の阿含経の場合も「衆」情報が記されるのは少ないといつてよいであろう。

[4-7] 歡喜文についてはすでに [4-2] においてふれた。歡喜文がある経は全体の **5.11%** で ([第2表] 参照)、六事情報がまったく記されないKタイプを除いても $173/2,029=8.53\%$ である ([第1表] 参照)。

ただし「如是我聞」があるAからEタイプに限ってみれば141 経に歡喜文があるから $141/422=33.41\%$ となって、このタイプにはかなりの割合で歡喜文も備わっているということになる ([第1表] 参照)。ただしこの大部分は多くの六事情報が記されるAあるいはBタイプであるから当然といえば当然で、「如是我聞」の「信」「聞」要素と「歡喜奉行」の2つの要素が格別に結びつきが強いということもないであろう。むしろ「処」だけしか記されないJタイプにすら歡喜文が記されるのが20 経もあるから ([第1表] 参照)、六事情報全体と歡喜文とさえ関係はないといえるであろう。

パーリにおいては歡喜文も経たることを満足させる条件とは認識されていなかったのである。

[4-8] 以上をニカーヤ別に調査すると次のようになる。

経の長さが長いDN.とMN.に含まれる経はすべてがAタイプかBタイプである ([第1表] 参照)。上述したようにAタイプ、Bタイプは「経」たる条件を具えた経ということが出来るが、このことはDN.とMN.に含まれる経はすべて '-sutta' ないしは '-suttanta' と呼ばれていることに表れている。

しかし経の長さが短いSN.やAN.におけるAタイプとBタイプは併せて、SN.は**10.14%**、AN.は**3.50%** (1) でごくわずかである ([第1表] 参照)。このことは、PTSテキストにおいてはSN.やAN.に含まれるものが '-sutta' ないしは '-suttanta' とよばれることがないことに表れているといえるかもしれない (2)。もしそうならSN.やAN.に含まれるものは '-sutta' (経) という認識をもたれていないということになる。【2】の [1] に書いたように、これらは「経」ではなく単なる「データ」として捉えられていたのかもしれない。これは「経」とは何かというきわめて基本的な問題と関連するから、詳しい検討は別の機会を期したい。

歡喜文についていえば、歡喜文がある経はDN.は**47.06%**、MN.は**69.74%**で、SN.は**2.48%**、AN.は**0.65%**にとどまる。六事情報と同じ傾向にあるわけである ([第2表] 参照)。

(1) [第1表] の%を合計してみると3.49%となるが、この誤差は小数点第3位以下を四捨五入したことによるものである。

(2) ただしミャンマー (Caṅṅha-saṅgāyana) 版、インド (Nālandā) 版、スリランカ (Sri Lanka Tripitaka Project) 版などはSN.、AN.もすべて '-sutta' とされている。もっともAN.は第2集からで、第1集には '-sutta' はつけられていない。なおタイ王室版はSN.は '-sutta' とされているが、AN.は第2集以下も '-sutta' はつけられていない。

ミャンマー版などがSN.やAN.を含めて '-sutta' とするのは、アツカターが「長部」は34 経 (catuttimsa-sutta)、
「中部」は152 経 (diyaḍḍhasatadve-sutta)、
「相應部」は7,762 経 (sattasuttasahasasattasatadvāsaṭṭhi-sutta)、
「増

支部」は9,557 経 (navasuttasahassapañcasatasattapaññāsa-sutta) として、それぞれのニカーヤに含まれるものを sutta と呼んでいることによったのかもしれない。Samantapāsādikā vol. I p.018 (南伝 65 p.23)

なお漢訳の『雑阿含』『別訳雑阿含』『増一阿含』はそれぞれが「経」としての形式を整えようとしているに拘わらず 1 つ 1 つの経には「経」が付されていず、PTS と同様の処理がなされている。ただしこれらの単訳経はすべてが「経」とされている。

[5] 以上の統計と分析の結果を簡単に整理し、最後に経の形成史を視点に問題提起を行って稿を閉じる。

[5-1] まずパーリの「経蔵」についてである。

- (1) 本「資料集」はパーリの経蔵を対象にして、「経」というものは経頭に「信」「聞」「時」「主」「処」「衆」という6つの要素を具え、末尾には「歡喜奉行」をもっているという仮定のもとに調査をしたものである。しかし調査の結果から、編集者たちはもとよりこれを後世に伝えた者たちにもこのような認識はなかったと結論せざるをえない。
- (2) しかしながら「経」は、第1結集の伝承から想像されるように、アーナンダが結集のメンバーたちに「このように私は聞きました。ある時世尊はどこそこに、仏を上首とするサンガのメンバーたちと一緒に住され、そのときこんな教えを説かれました。そしてサンガのメンバーたちはその教えに満足し喜びました」というふうに語ったことが彷彿されるような、その語り口がそのまま残されているものがある。「仏A○有」タイプの経である。六事と歡喜奉行が認識されていないにしても、ここには自然な形でそれが含まれていることになる。
- (3) しかし大部分の経はこのような形式を有していない。特にSN.とAN.に含まれる短い経にはこの傾向が顕著であり、これらはその1単位をはたして「経」と自覚していたかどうかとも検討する必要がある。
- (4) 経には「仏説」のほかに多くの「仏弟子説」の経があり、経は仏説であるという前提は成り立たない。
- (5) 経には「処」情報が記されるものが多い。経は釈尊とその弟子たちの歴史的な事績をあるがままに残そうとしたものであることが現れていると考えられる。
- (6) AN.には「経」であることを形式化しようとした試みの跡が見られる。ここに形式化というのは、六事という概念を借りていえば「信」「聞」「時」「主」「処」を満たそうとし、また「歡喜奉行」を具えようとするのである。

[5-2] 漢訳の阿含経については簡単な調査を行ったにすぎないが、これについても付言しておく。

- (1) 漢訳の阿含経は「如是我聞」で始まり「歡喜奉行」で終わる経が大部分である。形式的にはパーリの経蔵と大きな差異がある。
- (2) これは『雑阿含経』のような短い経にも形式化がかなり進んでいることを示す。特に『増一阿含経』は顕著である。しかし「衆」情報を記載するものは少ないから、その形式化は「六事」という概念に基づいてなされたわけではなく、パーリ経蔵の(2)に記したような結集伝承に基づいたものであろう。

- (3) 漢訳にも「仏弟子説」の経があり、経は仏説であるという認識はもっていなかった。
- [5-3] 以上をもとに、原始仏教聖典の経蔵の形成史的な視点から問題提起を行っておく。
- (1) 釈尊入滅直後に聖典の編集会議（結集）が行われたが、このとき「経蔵」はどのような形に編集されたのであろうか。学界ではこの時には梗概要領のようなものが確認されただけであるという説が優勢であるが、はたしてそうだったのであろうか。
 - (2) 筆者たちを含めてこの総合研究のメンバーたちは、原始仏教聖典は釈尊とその弟子たちの歴史的な事績が記録されたものと考えてこの研究を続けてきた。今回の調査によってもこれが裏付けられたと考えているが、それならなぜ「時」がおしなべて「あるとき（一時）」と処理されているのであろうか。
 - (3) パーリの経蔵と漢訳の経蔵とでは内容にほとんど差異がないに拘わらず、形成上では顕著な差異がある。いつ、どこで、どのようにしてこのような差異が生じたのであろうか。
 - (4) 原始仏教経典には六事認識はないけれども、厳密に調査したわけではないが大乗仏教経典にはこの認識があるようであるから、原始仏教経典と大乗仏教経典には大きな相違がある。大乗仏教経典の成立研究にこの調査が何らかの役に立たないであろうか。